

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700



製品を使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。  
PDF版は[こちら](#)。

## はじめにお読みください

### 各部のなまえ

- 各部のなまえ 左前側面／前面 >
- 各部のなまえ 右前側面／上面 >
- 各部のなまえ 左後側面／左後面／下面 >
- 各部のなまえ 右後側面／後面 >
- 各部のなまえ リモコン >
- リモコンの電池を交換する >

### 画面表示一覧

#### 液晶モニターの項目を選択する

#### 本機で選べる記録フォーマットとその特徴

### 準備する

## 同梱品を確認する

### 電源

- バッテリーを取り付ける >
- ACアダプターを使って充電する >
- 本機の電源を入れる >
- コンセントの電源で使うには >

### 液晶モニターとファインダーを調節する

- ファインダーを見やすく調節する >
- 液晶モニターを見やすく調節する >

### お買い上げ時の設定をする

### メモリーカード

- メモリーカードを入れる >
- 記録するメモリーカードスロットを選択する >
- 本機で使用できるメモリーカード >

## 撮る

### 動画を撮る

- 動画を撮る >
- メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する（リレー記録） >
- メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（同時記録） >

### 静止画を撮る

### ズームする

- ズームレバーでズームする >
- マニュアルレンズリングでズームする >

### フォーカスを調整する

- 手でフォーカスを調整する >
- 自動でフォーカスを調整する >
- フォーカスエリア >
- 位相差AFについて >
- AF駆動速度 >
- AF被写体追従設定 >

- 選んだ被写体を追尾してフォーカスを調節する (ロックオンAF) >
- 拡大表示をしてピントを合わせる (フォーカス拡大) >
- 画面をタッチしてピントを合わせる (スポットフォーカス) >
- 検出した顔にピントを合わせる (顔検出) >

#### 明るさを調整する

- アイリスを調節する >
- ゲインを調節する >
- ISO感度を調節する >
- シャッタースピードを調節する >
- 光量を調節する (NDフィルター) >

#### 色合いを調節する

- 自然な色合いに調節する (ホワイトバランス) >
- メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させる >

#### 音の設定をする

- 内蔵マイクで収録する >
- マルチインターフェースシュー対応マイク (別売) で収録する >
- 外部マイク (別売) で収録する >

#### 便利な機能を使う

- 暗い場所で撮る (NIGHTSHOT) >
- あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロファイル) >
- ピクチャープロファイルの内容を変更する >
- ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーする >
- ピクチャープロファイルをリセットする >
- スロー&クイックモーションで撮影する >
- スーパースローモーションで撮影する >
- ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う >
- プロキシ記録をする >
- 最後に撮影した映像を再生する (ラストシーンレビュー) >

#### ASSIGNボタンに機能を割り当てる

#### 見る

## 本機で再生する

- 動画を再生する >
- 静止画を再生する >

## 本機の設定を変更/ 確認する

- 画面表示を切り換える >
- 再生時に情報を表示する (日付/データ表示) >
- 本機の設定を確認する (ステータスチェック) >

## テレビで見る

- HDMIケーブルについて >
- 4Kテレビにつないで見る >
- ハイビジョンテレビにつないで見る >
- ハイビジョン非対応のテレビにつないで見る >

## 編集する

### 編集時のご注意

動画・静止画を保護する (プロテクト)

動画・静止画を選んで削除する

動画を分割する

## 保存する

### 動画の保存方法

#### PlayMemories Homeを使う

- パソコンへ画像を取り込んで活用する (PlayMemories Home) >
- パソコンの推奨環境 >
- PlayMemories Homeをインストールする >
- パソコンとの接続を切断する >
- ブルーレイディスクを作るには >

ブルーレイディスクレコーダーで保存する

レコーダーでディスクを作る

### Wi-Fi機能を使う

#### PlayMemories Mobileについて

スマートフォンと接続する

- NFC対応のAndroidスマートフォンやタブレットと接続する >
- QRコードを使ってスマートフォンやタブレットと接続する >
- Androidスマートフォンやタブレットと接続する (SSID/PWを入力する場合) >
- iPhoneやiPadと接続する (SSID/PWを入力する場合) >

### スマートフォンで本機を操作する

- スマートフォンやタブレットをリモコンとして使う >
- NFCを使ってスマートフォンやタブレットをリモコンとして使う (NFCワンタッチリモート対応) >

## メニュー一覧

### メニューを使う

### キーボードの使いかた

### カメラ設定メニュー

- ISO/ゲイン切換 >
- オートISOリミット >
- AGCリミット >
- WBプリセット >
- WB屋外レベル >
- WB色温度設定 >
- WB SET >
- AEシフト >
- デジタルエクステンダー >
- ズーム設定 >
- 手ブレ補正 (動画) >
- 手ブレ補正 (静止画) >
- フォーカスエリア >
- AF駆動速度 >
- AF被写体追従設定 >
- ロックオンAF >
- 顔検出 >
- SLOW & QUICK (S&Q MOTION) >
- SLOW & QUICK (SUPER SLOW MOTION) >

- オートモード設定	>
- シーンセレクション設定	>
- スポット測光フォーカス	>
- スポット測光	>
- スポットフォーカス	>
- LOW LUX	>
- 自動逆光補正	>
- NIGHTSHOT	>
- NIGHTSHOTライト	>
- カラーバー	>
- PICTURE PROFILE	>

#### 録画/出力設定メニュー

- 動画/静止画撮影モード	>
- 録画設定	>
- 画像サイズ	>
- ファイル番号	>
- ビデオ出力	>

#### 音声設定メニュー

- 音量	>
- AVCHD録音フォーマット	>
- 録音レベル	>
- INT MIC風音低減	>
- マイク選択	>
- 音声出カタイミング	>

#### 表示設定メニュー

- ヒストグラム	>
- ゼブラ	>
- ピーキング	>
- 位相差AF枠表示	>
- 位相差AFエリア表示	>

- マーカー	>
- フォーカス拡大倍率	>
- カメラデータ表示	>
- 音声レベル表示	>
- ズーム表示	>
- フォーカス表示	>
- シャッター表示	>
- 日付/データ表示	>
- ガンマ表示アシスト	>
- パネル明るさ	>
- ファインダー色温度	>
- 画面表示出力	>
TC/UB設定メニュー	
- TC/UB表示	>
- TC PRESET	>
- UB PRESET	>
- TC FORMAT	>
- TC RUN	>
- TC MAKE	>
- UB TIME REC	>
ネットワーク設定メニュー	
- スマートフォン操作	>
- Wi-Fi設定	>
- 飛行機モード	>
- ネットワークリセット	>
その他メニュー	
- STATUS CHECK	>
- カメラプロファイル	>
- S&Qボタン設定	>
- ASSIGNボタン登録	>

日時合わせ	>
エリア設定	>
サマータイム	>
日付記録	>
操作音	>
録画ランプ	>
リモコン	>
60i/50i切換	>
メディア初期化	>
管理ファイル修復	>
USB接続	>
USB LUN設定	>
通電時間	>
バージョン表示	>
キャリブレーション	>
設定リセット	>
編集メニュー	
プロテクト	>
削除	>
分割	>

## 充電、撮影時間、撮影枚数を確認する

### 充電時間

#### バッテリーごとの記録時間、再生時間

バッテリーの撮影可能時間の目安	>
バッテリーの再生可能時間の目安	>

#### メモリーカードへの記録時間、撮影枚数

記録時のご注意	>
動画の撮影可能時間の目安	>
静止画の撮影可能枚数の目安	>

#### 記録方式ごとの動画のビットレート

## プロキシー記録の記録画素数とアスペクト比

## 静止画の記録画素数とアスペクト比

## 使用上のご注意／本機について

### 使用上のご注意

- XAVC S規格について >
- AVCHD規格について >
- メモリーカードについて >
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて >

### 本機の取り扱いについて

- 本機の取り扱いについて >
- パソコンやアクセサリなどとの接続について >
- 別売りのアクセサリについて >
- 結露について >
- 本機の廃棄・譲渡に関するご注意 >
- メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意 >

### お手入れについて

- 液晶モニターのお手入れについて >
- 有機ELパネルのお手入れについて >
- 本機表面のお手入れについて >
- レンズのお手入れと保管について >

### 海外で使うには

#### 商標について

#### ライセンスに関する注意

#### ズーム倍率

#### 久しぶりに使うときは

### 故障かな？と思ったら

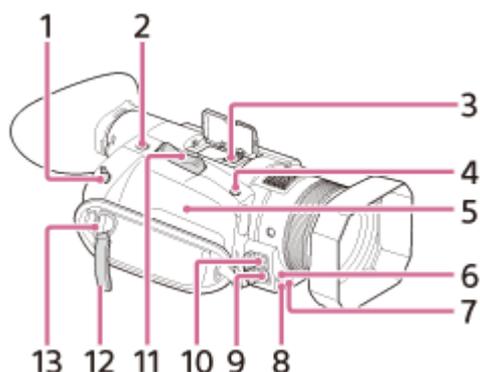
#### 困ったときにすること

#### 自己診断・警告表示

#### お知らせメッセージ



各部のなまえ 左前側面／前面



1. REMOTE端子

REMOTE端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、再生などをコントロールできるようにした端子です。

2. ASSIGN4ボタン/FOCUS MAGNIFIERボタン/PHOTOボタン（静止画撮影モード時のみ）  
3. マルチインターフェースシュー



- マルチインターフェースシュー対応アクセサリについて詳しくは専用サポートサイトでご確認ください。他社のアクセサリを取り付けた場合の動作は保証できません。  
<http://www.sony.jp/support/handycam/>
- シューアダプター（別売）を使用することで、アクティブインターフェースシュー対応のアクセサリも使用できます。
- 故障の原因になりますので、シンクロ端子が高電圧な市販フラッシュや、極性が逆の市販フラッシュを使用しないでください。

4. ASSIGN5ボタン/IRIS PUSH AUTOボタン

5.  (Nマーク)

- NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。
- NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

6. リモコン受光部

7. 録画ランプ

メモリーカードやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

8. NIGHTSHOT（ナイトショット）ライト発光部

9. マルチ/マイクロUSB端子

VIDEO OUT端子

10. MIC端子（PLUG IN POWER）

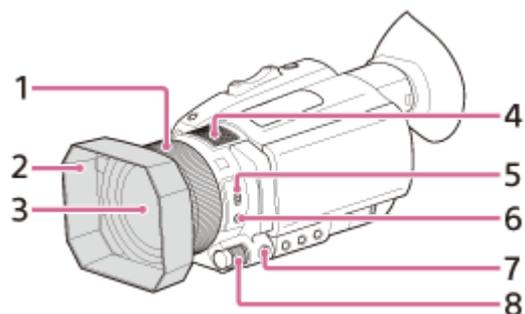
11. ズームレバー

12. ケーブルクランパー

- HDMIケーブル固定専用ですので、この部分にショルダーストラップなどを装着しないでください。

13. ショルダーストラップ取り付け部

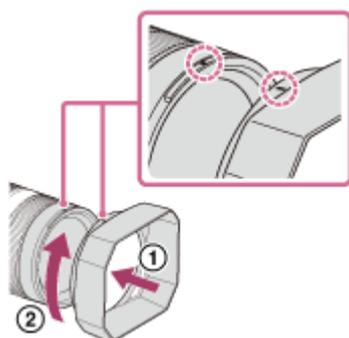
## 各部のなまえ 右前側面／上面



1. マニュアルレンズリング
2. レンズフード
3. レンズ (ZEISSレンズ搭載)
4. 内蔵マイク
5. ZOOM/FOCUSスイッチ
6. AF/MFボタン
7. MENUボタン
8. マニュアルダイヤル

### レンズフードを取り付ける

①の方向に本体とフードの印を合わせるように取り付けて、矢印②の方向にロックされるまで回します。

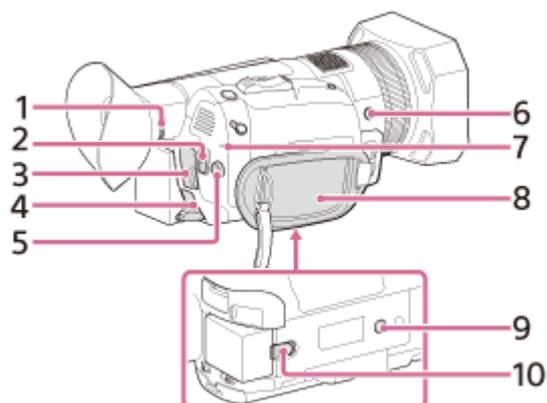


### ヒント

- 直径62ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、レンズフードを取り外してください。

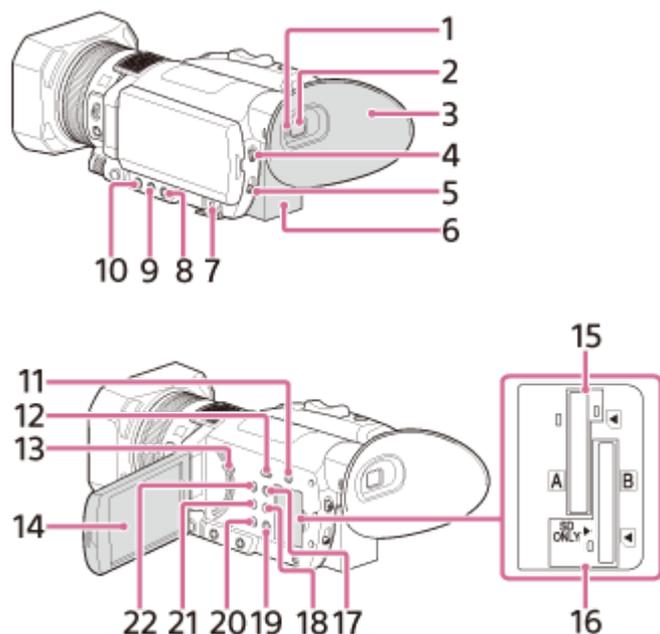
デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 各部のなまえ 左後側面／左後面／下面



1. 視度調節ダイヤル
2. START/STOPボタン
3. HDMI OUT端子
4. DC IN端子
5. ▲/▼/◀/▶/SETボタン
6. ASSIGN6ボタン
7. POWER (電源) /CHG (充電) ランプ
8. グリップベルト
9. 三脚用ネジ穴 (1/4インチ)  
1/4-20UNCのネジに対応  
三脚 (別売、ネジの長さ5.5mm以下) を取り付けます。三脚の仕様によっては、適切な方向で取り付けられない場合があります。
10. BATT (バッテリー) 取り外しレバー

各部のなまえ 右後側面/後面

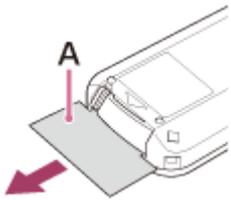


1. アイセンサー
2. ビューファインダー
3. 大型アイカップ
4. AUTO/MANUALスイッチ
5. ND FILTERスイッチ
6. バッテリー
7.  $\odot$  (ヘッドホン) 端子
8. SHUTTER SPEED (シャッタースピード) ボタン
9. ISO/GAIN (ゲイン) ボタン
10. IRIS (アイリス) ボタン
11. SLOT SELECTボタン
12. THUMBNAIL  (画像再生) ボタン
13. スピーカー
14. 液晶モニター/タッチパネル  
液晶モニターを180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するときに便利です。
15. メモリーカードスロットA/メモリーカードアクセスランプ
16. メモリーカードスロットB/メモリーカードアクセスランプ
17. DISPLAYボタン
18. ASSIGN3ボタン/PICTURE PROFILEボタン
19. ASSIGN2ボタン/STATUS CHECKボタン
20. ASSIGN1ボタン/S&Qボタン
21. WHITE BALANCE (ホワイトバランス) ボタン
22.  (電源) ボタン

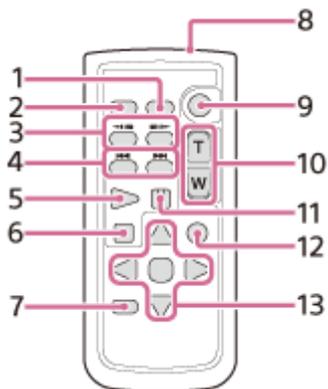
デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 各部のなまえ リモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



A : 絶縁シート



1. DATA CODEボタン
2. PHOTOボタン
3. SCAN/SLOWボタン
4. ◀◀/▶▶ (PREV/NEXT) ボタン
5. PLAYボタン
6. STOPボタン
7. DISPLAYボタン
8. リモコン発光部
9. START/STOPボタン
10. ズームレバー
11. PAUSEボタン
12. VISUAL INDEXボタン
13. ▲/▼/◀/▶/ENTERボタン

### ご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## リモコンの電池を交換する

- 1 タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- 2 +面を上にして新しい電池を入れる。
- 3 電池ケースを「カチッ」と音がするまで差し込む。



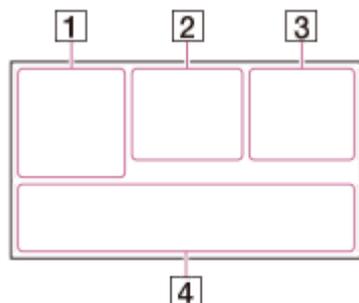
A: タブ

### ご注意

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

画面表示一覧



画面左上 (1)

- 100% バッテリー残量
- 撮影モード
- インテリジェントオート (顔認識/シーン認識/手ブレ)
- シーンセレクション
- AVCHD 1080/60i EX XAVCS 1080/60p 50 録画フォーマット (動画撮影モード)
- 16:9 14.2M 3:2 12.0M 撮影サイズ、アスペクト (静止画撮影モード)
- W T 光学ズーム
- Z99 CQ x1.2 全画素超解像ズーム
- Z99 DQ x2.3 デジタルズーム
- 同時記録/リレー記録
- 100-0001 メモリーカードの再生フォルダ

画面中央 (2)

- AE/AFロック (静止画撮影モード)
- 手ブレ警告
- メモリーカード
- REC STBY 撮影状態
- 警告
- 再生表示
- 処理中
- リレー記録
- HDMIレックコントロール
- プロキシ撮影

画面右上 (3)

- 0分 動画記録残量時間の目安
- 静止画記録先フォルダ番号
- 9999 およその静止画撮影可能枚数
- 記録/再生メディア
- 00:00:00:00 タイムコード (時 : 分 : 秒 : フレーム)
- 00 00 00 00 ユーザービット (任意の数字)

画面下 (4)

- 顔認識 [ON]
- ピーキング
- ゼブラ
- 手ブレ補正 (動画/静止画)

 手動フォーカス  
 PP1 ~ PP10 ピクチャープロフィール  
 F5.6 アイリス  
 1000/9dB ISO/ゲイン  
 100 180° シャッタースピード  
 AVCHD録音フォーマット  
 -2.0EV AEシフト  
 自動設定/手動設定  
 A B ホワイトバランス  
 LOW LUX  
 CH1 CH2 音声レベル表示  
 飛行機モード  
 NFC有効  
 デジタルエクステンダー  
 録音レベル  
 NIGHTSHOT  
 マイク選択  
 ND OFF ND1 ND2 ND3 NDフィルター  
 ASSIST S-LOG2 ASSIST S-LOG3 ASSIST HL(G)20 ASSIST HL(G)100 ガンマ表示アシスト



ヒストグラム

## 撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、（表示設定）→ [日付/データ表示] で表示したいデータを選ぶか、再生時に日付/データ表示機能が割り当てられたASSIGNボタンを押すと確認できます。

### ご注意

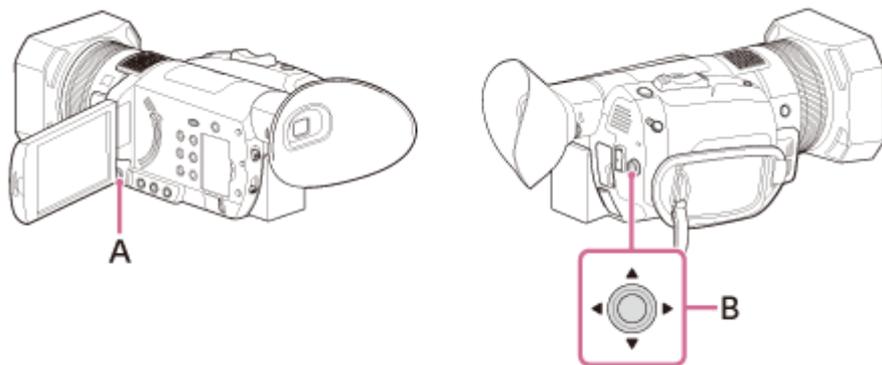
- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 液晶モニターの項目を選択する

画面に表示されるメニューを、▲（上移動）/▼（下移動）/◀（左移動）/▶（右移動）/SET（押して決定）ボタンを使用して設定できます。

一部の設定は直接液晶モニターをタッチして操作します（スポット測光フォーカスやキャリブレーション、ほか）。



A : MENUボタン

B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 本機で選べる記録フォーマットとその特徴

本機はXAVC S 4K、XAVC S HDとAVCHDに対応しています。XAVC S 4Kは従来ハイビジョン（HD）と比較して4倍の高画質です。

### XAVC S 4K

画素数：

3,840×2,160画素

ビットレート：

100Mbps、60Mbps

特徴：

4Kで記録。4Kテレビをお持ちでないかたも、将来のためにこちらで撮ることをおすすめします。

### XAVC S HD

画素数：

1,920×1,080画素

ビットレート：

100Mbps、60Mbps、50Mbps、25Mbps、16Mbps（S&Q MOTION録画時は50Mbps、25Mbps）

特徴：

AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。

### AVCHD

画素数：

1,920×1,080画素

ビットレート：

最大24Mbps

特徴：

パソコン以外の機器でも保存ができます。

#### ヒント

- ビットレートとは、一定時間あたりの記録データ量です。

#### 関連項目

- [録画設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 同梱品を確かめる

箱を開けたら、同梱品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。  
( ) 内は個数。

本機 (1)

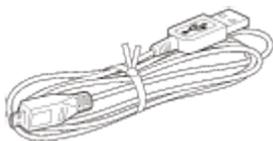
ACアダプター (1)



電源コード (1)



USBケーブル (1)



ワイヤレスリモコン (1)

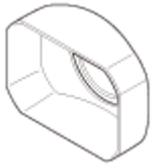


- ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。
- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

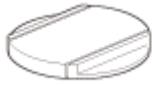
大型アイカップ (1)



レンズフード (1)



レンズキャップ（本体に装着）（1）



リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70A（1）



- 充電時など、本機をコンセントにつないで使うときには、必ずバッテリーを取り付けてください。

取扱説明書（1）

保証書（1）

---

関連項目

- [各部のなまえ](#) [リモコン](#)

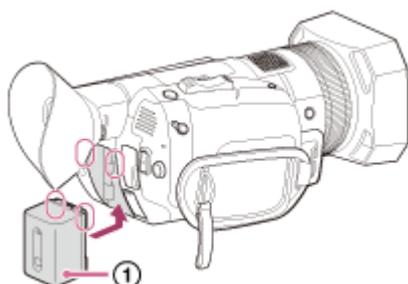
デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## バッテリーを取り付ける

本機にバッテリーを取り付けます。

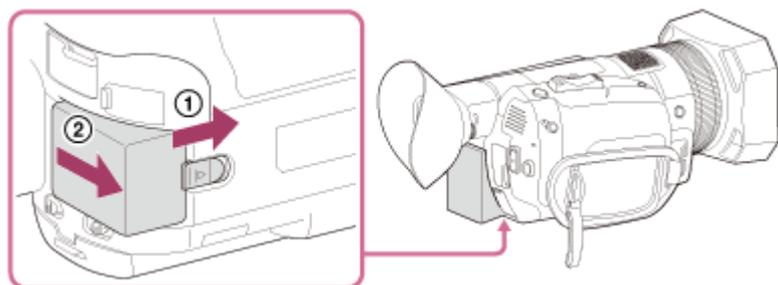
① 液晶モニターを閉じ、ファインダーを収納して、バッテリー (①) を取り付ける。

- 本体のくぼみとバッテリーの突起部を合わせ、押しながら上げてください。



バッテリーを取り外すには

電源を切った状態で、BATT (バッテリー) 取り外しレバーをずらしながら (①) バッテリーを取り外す (②)。



### ご注意

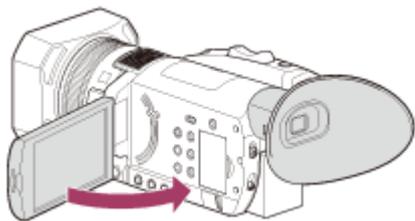
- インフォリチウムバッテリーVシリーズ以外は使えません。

## ACアダプターを使って充電する

付属のACアダプターを使って充電します。あらかじめ、バッテリーは取り付けてください。

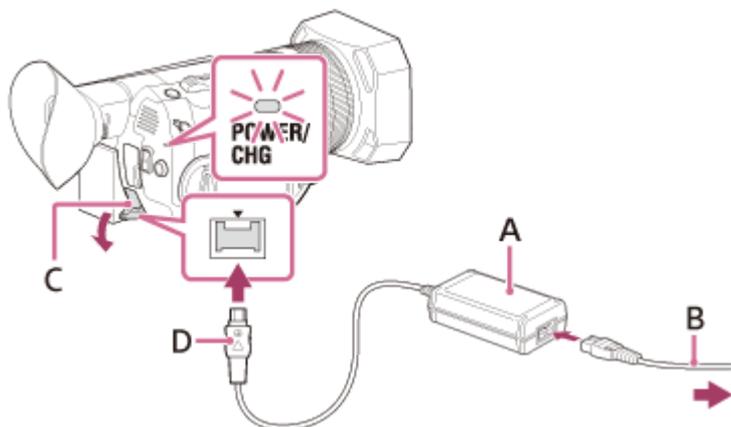
### 1 液晶モニターを閉じる。

- ファインダーを引き出している場合は、押し戻してください。



### 2 ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。

- POWER（電源）/ CHG（充電）ランプがオレンジ色に点灯します。
- POWER（電源）/ CHG（充電）ランプが消灯したら充電完了です（満充電）。ACアダプターを本機のDC IN端子から取り外してください。



- A : ACアダプター  
B : 電源コード（コンセントへ）  
C : DC IN端子  
D : DCプラグ（▲ マークを合わせる）

### ご注意

- ACアダプターの取り扱いについて、以下の点にご注意ください。
  - ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
  - ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
  - ACアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

### ヒント

- 10℃～30℃での充電をおすすめします。

---

#### 関連項目

- [充電時間](#)
- [バッテリーの撮影可能時間の目安](#)
- [バッテリーの再生可能時間の目安](#)
- [海外で使うには](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

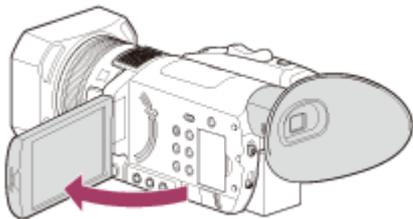
デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 本機の電源を入れる

本機の電源を入れます。

### 1 液晶モニターを開いて電源を入れる。

- (電源) ボタンの操作や、ファインダーを引き出しても電源を入られます。

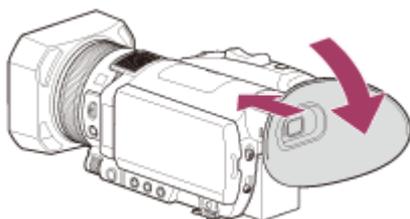


## 電源を切る

液晶モニターを閉じる。

ファインダーが引き出されている場合は下記のイラストのように収納してください。

- (電源) ボタンの操作でも電源を切れます。



## 電源の入/切について

液晶モニターとファインダーの状態によって本機の電源の入/切が変わります。

液晶モニター：開いている状態

ファインダーの状態にかかわらず、電源 入

液晶モニター：閉じている状態

ファインダーが収納された状態 電源 切

ファインダーが引き出された状態 電源 入

### ご注意

- 液晶モニターが閉じていても、ファインダーが引き出されていると電源は切れません。電源を切るときは、ファインダーが元の位置に押し込まれていることを確認してください。
- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。
- 動画の記録中やUSB接続中は液晶モニターを閉じ、ファインダーを押し戻しても、電源は切れません。
- バッテリーの消耗を防ぐため、こまめに液晶モニター、ファインダーを閉じるなどして本機の電源を切ることをおすすめします。



デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## コンセントの電源で使うには

---

ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ります。

- 1 「[ACアダプターを使って充電する](#)」の方法で、本機とコンセントを接続したまま操作する。
  - ACアダプター使用時にバッテリーを取り付けていても充電されませんが、残量は減りません。

---

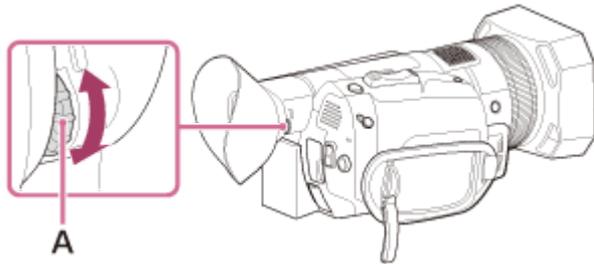
### 関連項目

- [ACアダプターを使って充電する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ファインダーを見やすく調節する

ファインダーで見るときは、ファインダーを引き出してファインダーに目を近づけてください。  
ファインダーを引き出し、液晶モニターを開いた状態でファインダーに目を近づけると、液晶モニター表示からファインダー表示に切り換わります。  
ファインダーの画面表示がぼやけているときは、ファインダー横の視度調節ダイヤルで調節してください。

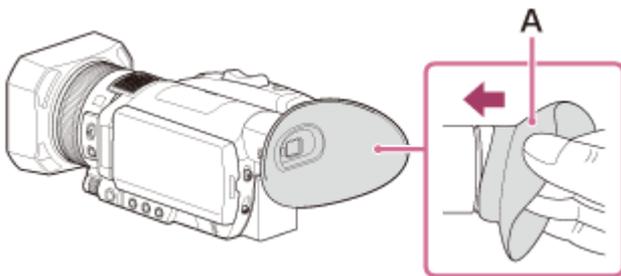


A : 視度調節ダイヤル

- 画像がはっきり見えるように動かします。

### ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体のアイカップの溝に合わせて取り付けます。大型アイカップは左右どちらの向きでも取り付けられます。



A : 大型アイカップ (付属)

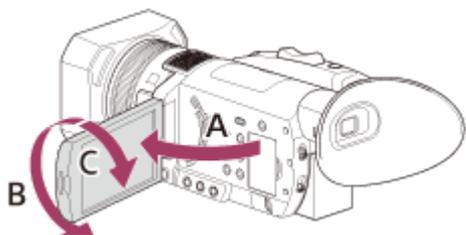
### ご注意

- 別売のバッテリーNP-FV100Aを装着したままファインダーを収納すると、大型アイカップとバッテリーがやや干渉しますが、機能に問題はありません。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 液晶モニターを見やすく調節する

液晶モニターは下図の範囲で回転させられるので、撮影者以外が映像を確認することもできます。  
液晶モニターを180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するときに便利です。



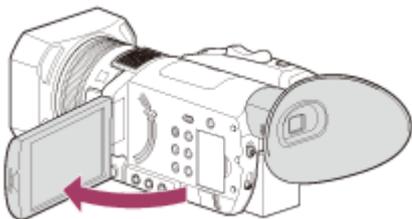
- A : 90°開く
- B : 最大180°まで
- C : 最大90°まで

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

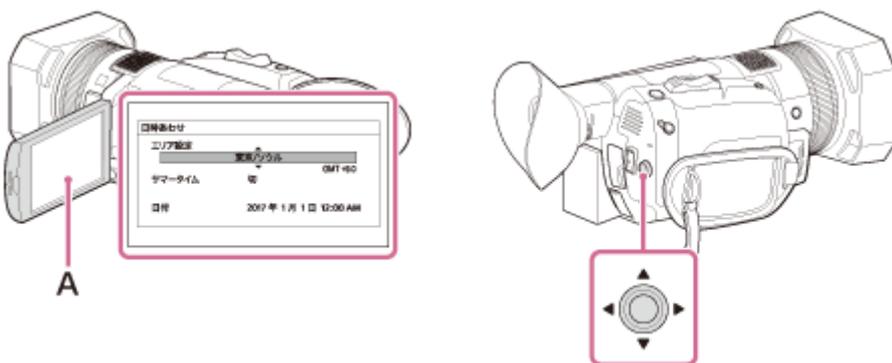
## お買い上げ時の設定をする

お買い上げ後、初めてお使いになるときは、日時の設定をします。  
本機の各設定は ▲/▼/◀/▶/SETボタンを使って行います。

- 1 本機の電源を入れる。



- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンでエリア、サマータイム、日時を選び、それぞれ設定後にSETボタンを押して決定する。



A: 液晶モニター

- [サマータイム] を [入] にすると、時計が1時間進みます。
- [年] は2037年まで設定できます。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

### ヒント

- 日時は自動的に記録され、再生時に表示できます。表示させるには、再生中にMENUボタンを押す →  (表示設定) → [日付/データ表示] → [日付時刻データ] を選びます。

### 関連項目

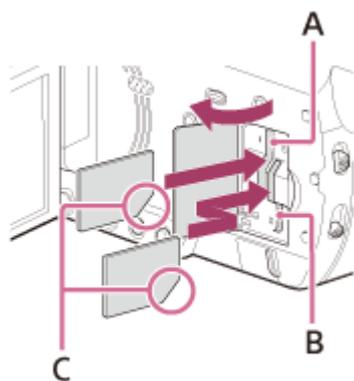
- [日付/データ表示](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## メモリーカードを入れる

本機にメモリーカードを入れます。

- 1 カバーを開き、メモリーカードを「カチッ」というまで押し込む。



- A : メモリーカードスロットA  
B : メモリーカードスロットB  
C : 切り欠き部を図の向きに入れる

### ご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- メモリーカードのスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。
- メモリーカードスロットAは、メモリースティック、SDカードの両方に対応しています。メモリーカードスロットBはSDカードのみ対応しています。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。
- メモリーカードはまっすぐに正しい向きで挿入しないと本機で認識されません。
- [管理ファイル準備中 しばらくおまちください] が表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。
- [管理ファイルが不正な状態です このメディアは修復しないと使えません] と表示されたときは、管理ファイル修復を行ってください。

### ヒント

- メモリーカードを取り出すには、カバーを開き、メモリーカードを軽く1回押してください。

### 関連項目

- [本機で使用できるメモリーカード](#)
- [動画の撮影可能時間の目安](#)
- [静止画の撮影可能枚数の目安](#)

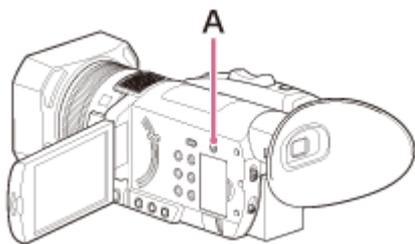
- 記録するメモリーカードスロットを選択する
- メディア初期化

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 記録するメモリーカードスロットを選択する

SLOT SELECTボタンを押して記録するスロットを切り換えます。選んだスロットは画面上で確認できます。



A : SLOT SELECTボタン

### ご注意

- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選べます。
- メモリーカードへの動画の記録中に、SLOT SELECTボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。

### ヒント

- メモリーカードが1枚だけ挿入されているときは、メモリーカードが挿入されているスロットが自動的に選ばれます（動画撮影モード時のみ）。静止画撮影モードの場合はSLOT SELECTボタンを押してメモリーカードが挿入されているスロットに切り換えてください。

### 関連項目

- [本機で使用できるメモリーカード](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 本機で使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは次のとおりです。

以下の一覧を参考にし、使用するメモリーカードを選んでください。

このヘルプガイドでは、使用できるメモリーカードについてメモリースティック、SDカードと表現しています。

### SDカード

記録方式		対応メモリーカード
静止画		SD/SDHC/SDXCメモリーカード
AVCHD		SD/SDHC/SDXCメモリーカード (Class4以上またはU1以上)
XAVC S	4K 60Mbps* HD 60Mbps* HD 50Mbps以下*	SDHC/SDXCメモリーカード (Class10以上またはU1以上)
	4K 100Mbps* HD 100Mbps	SDHC/SDXCメモリーカード (U3)
	S&Q MOTION	
	SUPER SLOW MOTION	SDHC/SDXCメモリーカード (Class10以上またはU1以上)

\* プロキシ同時記録時を含む

### メモリースティック

記録方式	対応メモリーカード
静止画	メモリースティックPROデュオ/メモリースティック PRO-HGデュオ
AVCHD	メモリースティックPROデュオ (Mark2) /メモリースティックPRO-HGデュオ
XAVC S	—

#### ご注意

- SDHCメモリーカードに XAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。本機で再生する場合は、連続で再生されず、PlayMemories Homeで結合することで、1つのファイルとして扱えます。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- メモリースティックマイクロ、microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

#### 関連項目

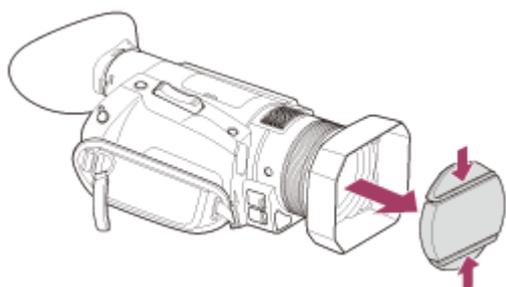
- [動画の撮影可能時間の目安](#)
- [静止画の撮影可能枚数の目安](#)



## 動画を撮る

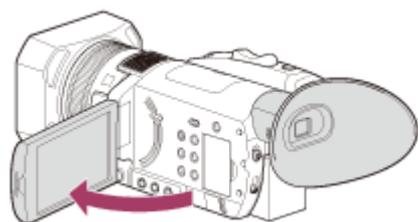
動画を撮影します。  
お買い上げ時は、動画はXAVC S 4Kでメモリーカードに記録されます。

- 1 両端のノブを押しながらレンズキャップを取り外す。



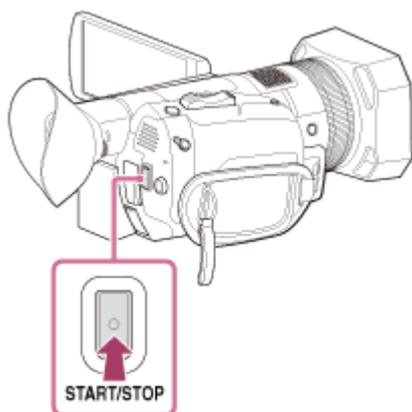
- 2 液晶モニターを開いて、電源を入れる。

- (電源) ボタンの操作や、ファインダーを引き出しても電源を入れられます。



- 3 START/STOPボタンを押して動画撮影を始める。

- 撮影中は録画ランプが点灯します。
- 撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押してください。



### ご注意

- 1度の動画撮影で可能な連続撮影時間は約13時間です。
- AVCHD動画の場合、ファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。

- 動画記録と映像の外部出力（HDMI出力）を同時に行っている場合、[NIGHTSHOTライト] は [切] に固定されます。また [XAVC S 4K] 100Mbpsまたは [XAVC S 4K] 60Mbps動画記録と映像の外部出力（HDMI出力）を同時に行っている場合、[パネル明るさ] も [ノーマル] に固定されます。
- アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 本機の液晶モニターは記録エリア全体を表示できるため、フルピクセル表示機能のないテレビに接続した場合、画面の上下左右が若干切れて表示されることがあります。[マーカー] → [セーフティゾーン] を [80%] または [90%] にして、表示される外側の枠を目安に撮影することをおすすめします。
- メニューの設定や、ピクチャープロファイルの設定、AUTO/MANUALスイッチを使った設定は液晶モニターを閉じて電源を切ると保存されます。保存処理中はPOWER（電源）/CHG（充電）ランプが点滅します。
- 液晶モニターに被写体が映っていることを確認してから、撮影を開始してください。

## ヒント

- 録画ランプが点灯しないように設定できます。MENUボタン→（その他）→ [録画ランプ] で [切] を選んでください。

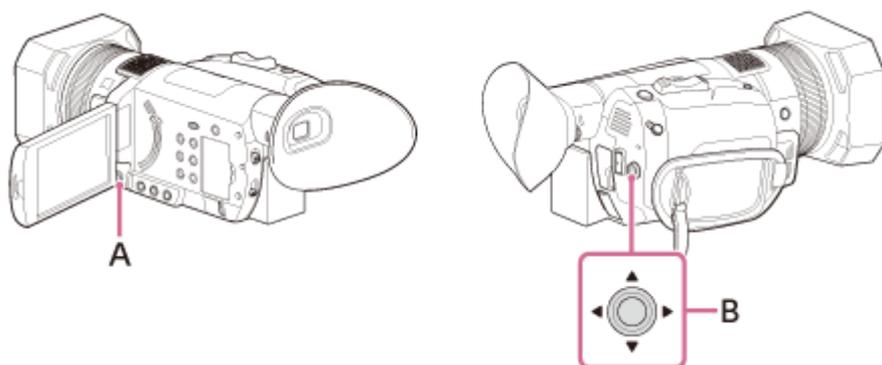
## 関連項目

- [動画の撮影可能時間の目安](#)
- [記録するメモリーカードスロットを選択する](#)
- [マーカー](#)
- [録画ランプ](#)
- [動画/静止画撮影モード](#)

## メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する（リレー記録）

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA（またはメモリーカードB）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り換わります（動画撮影モードのみ）。

撮影前に以下の設定をしてください。

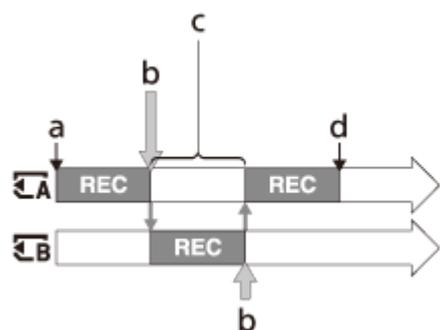


A MENUボタン

B ▲/▼/◀/▶/SETボタン

1 MENUボタンを押す。

2 ▲/▼/◀/▶/SET ボタンで、（録画/出力設定）→ [録画設定] → [同時/リレー記録] → [リレー記録] を選ぶ。



a : 録画開始

b : 残量少

c : 記録可能なメモリーカードを入れる

d : 録画終了

REC : 録画中

### ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、アクセスランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、[A → B] または [B → A] が表示されます。メモリーカードスロットが切り換わると消えます。

- 1度の動画撮影で可能な連続撮影時間は約13時間です。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェアPlayMemories Homeを使用してください。

---

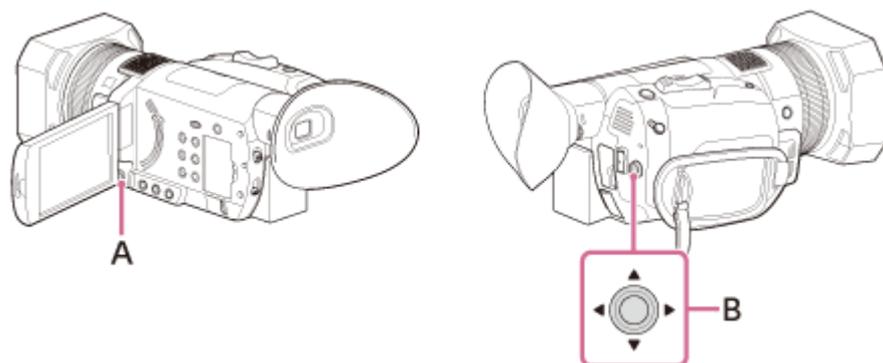
#### 関連項目

- [メモリーカードを入れる](#)
- [記録するメモリーカードスロットを選択する](#)
- [本機で使用できるメモリーカード](#)
- [パソコンへ画像を取り込んで活用する \(PlayMemories Home\)](#)
- [録画設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（同時記録）

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。  
撮影前に以下の設定をしてください（動画撮影モードのみ）。



A MENUボタン

B ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、（録画/出力設定）→ [録画設定] → [同時/リレー記録] → [同時記録] を選ぶ。

### ご注意

- メモリーカードAとメモリーカードBに違う種類のメモリーカードを使用している場合は、同時記録できません。

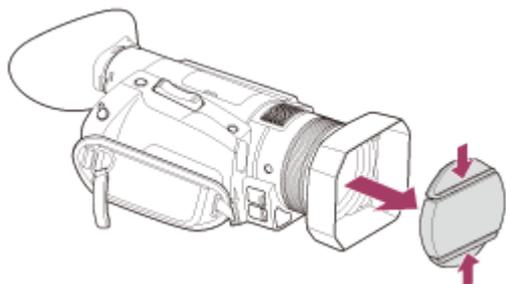
### 関連項目

- [メモリーカードを入れる](#)
- [記録するメモリーカードスロットを選択する](#)
- [本機で使用できるメモリーカード](#)
- [録画設定](#)

## 静止画を撮る

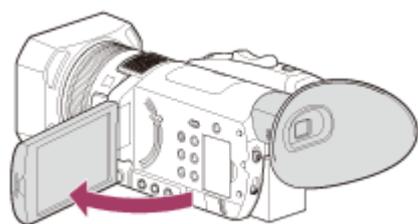
静止画を撮影します。

- 1 両端のノブを押しながらレンズキャップを取り外す。

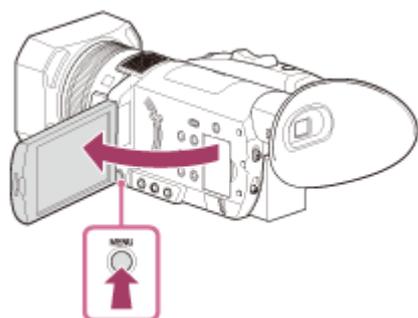


- 2 液晶モニターを開いて、電源を入れる。

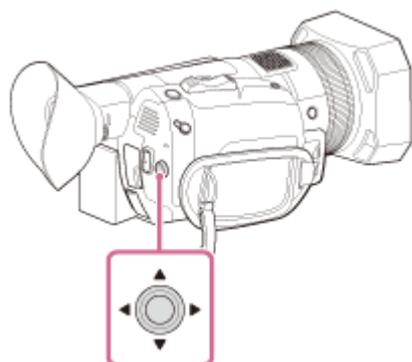
- (電源) ボタンの操作や、ファインダーを引き出しても電源を入れます。



- 3 MENUボタンを押す。

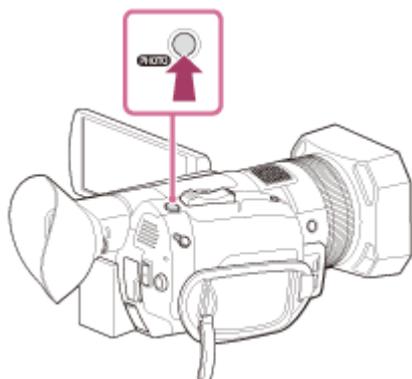


- 4 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで  (録画/出力設定) → [/  撮影モード] → [静止画] を選ぶ。



5 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、深く押す。

- ピントが合うと、AE/AFロック表示が点灯し、ISOの表示がAUTOの場合は数値が表示されます。



**ご注意**

- 本機は動画撮影モード時の静止画撮影には対応していません。
- アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

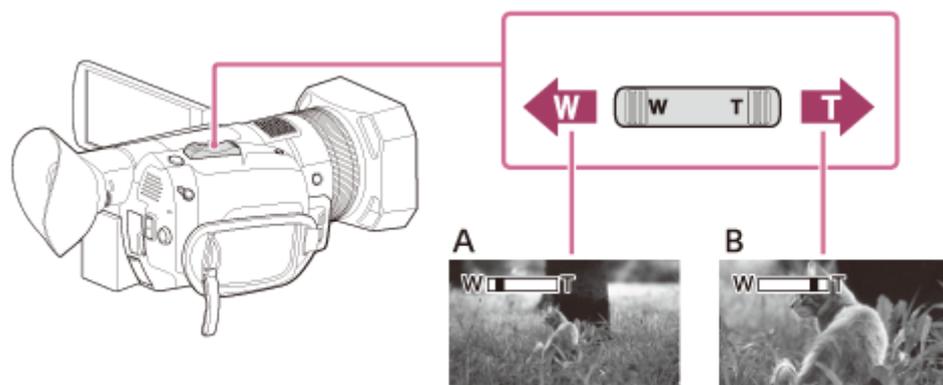
関連項目

- [動画/静止画撮影モード](#)
- [画像サイズ](#)
- [静止画の撮影可能枚数の目安](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ズームレバーでズームする

ズームレバーを軽く押すとゆっくり、さらに押すと速くズームします。



A : 広角 Wide (ワイド)  
B : 望遠 Telephoto (テレフォト)

### ヒント

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約1m以上です。
- 被写体との距離が1m以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- ズームレバーから指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーの操作音が記録されることがあります。
- ズームレバーのズーム駆動速度を速くすることもできます。MENUボタン →  (カメラ設定) → [ズーム設定] から [高速ズーム駆動] を選んでください。

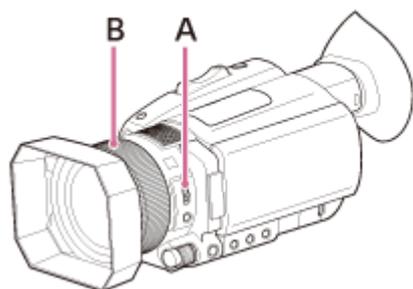
### 関連項目

- [ズーム設定](#)
- [ズーム表示](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## マニュアルレンズリングでズームする

ZOOM/FOCUSスイッチをZOOM側に切り換えて、マニュアルレンズリングを回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。



A : ZOOM/FOCUSスイッチ  
B : マニュアルレンズリング

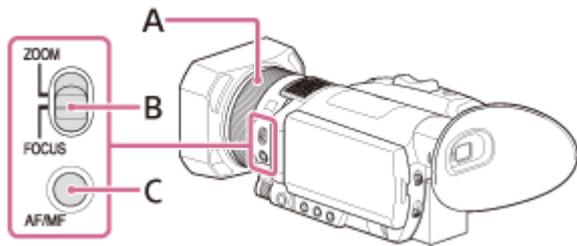
### ご注意

- マニュアルレンズリングは適度な速さで回してください。速すぎると、マニュアルレンズリングの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 手動でフォーカスを調整する

手動でピント合わせができます。



A : マニュアルレンズリング  
B : ZOOM/FOCUSスイッチ  
C : AF/MFボタン

- 1 撮影またはスタンバイ中に、AF/MFボタンを押して、フォーカスを手動にする。
  - が表示されます。
- 2 ZOOM/FOCUSスイッチをFOCUS側にセットし、マニュアルレンズリングを回す。
  - FOCUS側：マニュアルレンズリングを回すと、手動でフォーカスを調整することができます。
  - ZOOM側：マニュアルレンズリングを回すと、ズームを調節することができます。

は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき  に変わり、それ以上近くに合わせられないとき  に変わります。

### ヒント

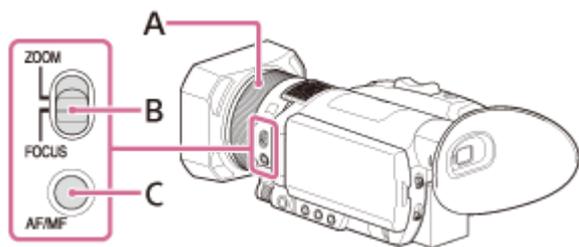
- 撮影待機画面から  /  /  /  / SETボタンを使って直接設定変更することもできます（ダイレクトメニュー）。

### 関連項目

- [フォーカス表示](#)
- [ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う](#)

## 自動でフォーカスを調整する

撮影状況に応じて、自動でピント合わせができます。



- A : マニュアルレンズリング  
B : ZOOM/FOCUSスイッチ  
C : AF/MFボタン

- 1 AF/MFボタンを押して、フォーカスを自動にする。
  - が消え自動調整（オートフォーカス）になります。
  - 位相差AFが有効な場合は、画面に位相差AF枠が表示されます（[位相差AF枠表示] が[入]の場合）。ピントを合わせようとしている場所は白枠で表示され、ピントが合うと緑色の枠になります。

### ご注意

- SUPER SLOW MOTION撮影時はオートフォーカス機能が使えませんが、ピントは手動で合わせてください。

### ヒント

- 次のとき、フォーカス距離情報（ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します）を約3秒間表示します。
  - AF/MFボタンを押して、フォーカスを手動にして を表示させたとき
  - 表示中にマニュアルレンズリングを回したとき
- フォーカス距離情報はメートル表示とフィート表示で切り換えられます。MENUボタン→ （表示設定）→ [フォーカス表示] で選んでください。
- 動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせの位置を変更できます。
- 動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせの速度を選べます。
- 動画撮影時、オートフォーカスの追従感度を選べます。
- 位相差AFが有効時に画面に表示される位相差AF枠の表示/非表示を切り換えることができます。

### 関連項目

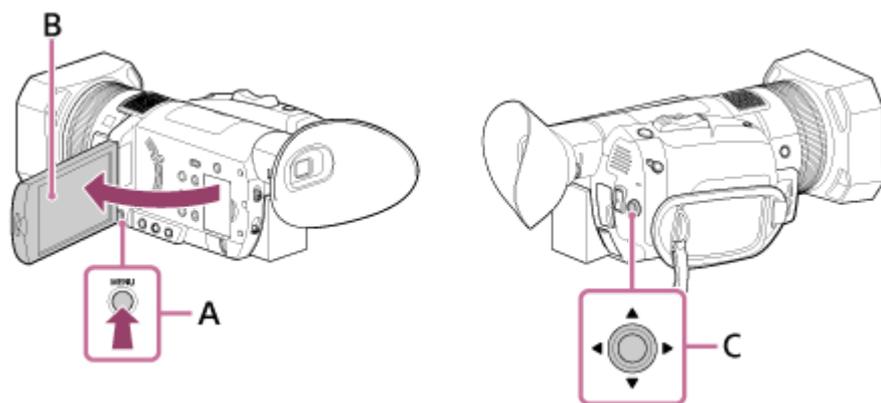
- [手動でフォーカスを調整する](#)
- [フォーカス表示](#)
- [フォーカスエリア](#)
- [AF駆動速度](#)
- [AF被写体追従設定](#)



デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## フォーカスエリア

フォーカスが自動のときに、ピント合わせの位置を変更します（動画撮影モードのみ）。  
あらかじめ構図や被写体の動く範囲が決まっている場合や意図した被写体にピントが合いにくいときなどに使います。



A : MENUボタン  
B : モニター  
C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、（カメラ設定）→ [フォーカスエリア] を選ぶ。

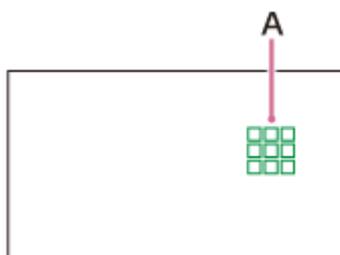
### メニューの詳細

ワイド :

モニター全体を基準に、自動ピント合わせをする。

位相差AF枠が表示されているときは、タッチでピントを合わせたい被写体を指定することができます。

- タッチ操作ができるのは、[ロックオンAF] が [切] の場合のみです。
- [顔検出] が [入] の場合はフォーカスエリア枠が表示されず、タッチ操作ができません。



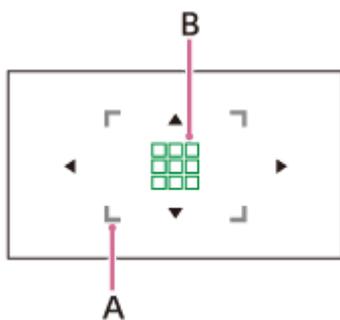
A : 位相差AF枠

ピントを合わせようとしているエリアが白色の枠で表示され、ピントが合うと緑色になります。

ゾーン :

エリア選択画面が表示されるので、タッチもしくは ▲/▼/◀/▶/SETボタンでピントを合わせたいゾーンの位置を選ぶと、その中で自動でピントを合わせる。

ゾーンは上下左右それぞれ3段階（9マス）に分けられています。



A : フォーカスエリア

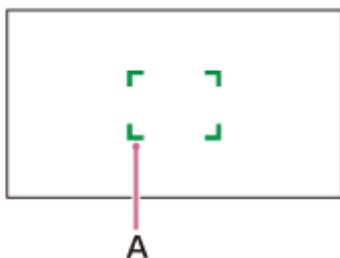
オートフォーカスが動作する範囲を示しています。

B : 位相差AF枠

ピントを合わせようとしているエリアが白色の枠で表示され、ピントが合うと緑色になります。

中央 :

モニター中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。



A : フォーカス枠

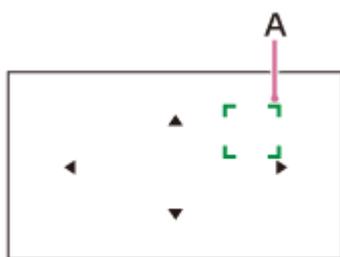
オートフォーカスが動作する範囲を示しています。

ピントを合わせようとしている場合はフォーカス枠が灰色の枠で表示され、ピントが合うと緑色の枠で表示されます。

フレキシブルスポット :

エリア選択画面が表示されるので、タッチもしくは▲/▼/◀/▶/SETボタンで好きなところにフォーカス枠を移動して自動でピントを合わせる。

小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせることができます。



A : フォーカス枠

オートフォーカスが動作する範囲を示しています。

ピントを合わせようとしている場合はフォーカス枠が灰色の枠で表示され、ピントが合うと緑色の枠で表示されます。

### ご注意

- 以下の場合、【フォーカスエリア】は【ワイド】に固定されます。
  - 全画素超解像度ズーム時、デジタルズーム時
  - 【オートモード設定】が【インテリジェントオート】または【シーンセレクション】設定時
  - ロックオンAF時
- SUPER SLOW MOTION撮影時は【フォーカスエリア】設定は無効になります。
- 光学ズーム以外のズーム使用時は、【フォーカスエリア】の設定は無効になり、フォーカスエリア枠は点線で表示されます。

### ヒント

- 動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせの速度を選べます。

- 動画撮影時、オートフォーカスの追従感度を選べます。
- [フォーカスエリア] は、ASSIGNボタンに割り当てることができます。
- [フォーカス位置] をASSIGNボタンに割り当てると、[フォーカスエリア] が [ゾーン] か [フレキシブルスポット] の場合は、ASSIGNボタンを押すだけでエリア選択画面を直接表示することができます。
- 位相差AFエリアや位相差AF枠の表示を入/切できます。

---

#### 関連項目

- [自動でフォーカスを調整する](#)
- [位相差AFについて](#)
- [AF駆動速度](#)
- [AF被写体追従設定](#)
- [位相差AF枠表示](#)
- [位相差AFエリア表示](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 位相差AFについて

使用するオートフォーカスエリア内に位相差AF測距点があると、位相差AFとコントラストAFをかけたオートフォーカスになります。

### ご注意

- 以下の場合は位相差AFを使用できません。コントラストAFのみになります。
  - 静止画撮影モード
  - [記録方式] が [XAVC S HD] で [録画フォーマット] が120p/100pのとき
  - [S&Q MOTION] で [ハイレームレート] を選択している場合
  - [NIGHTSHOT] が [入] のとき
  - 絞り値がF8.0より大きいとき
- SUPER SLOW MOTION撮影時はオートフォーカス機能が使えません。

### ヒント

- 屋外など明るいシーンにおいて、F8.0以上になる場合にはNDフィルタの使用をおすすめします。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## AF駆動速度

動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせの速度を選べます。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [AF駆動速度] を選ぶ。

### メニューの詳細

1 (低速) ~ 7 (高速) :

オートフォーカスの駆動速度を設定する。

低速にするとフォーカスの過剰な移動を低減します。被写体の移り変わり時になめらかにピント送りし、印象的な映像表現が可能です。動きがほぼ一定、またはあまり動きのないシーンの撮影に効果的です。

高速にすると素早いAFが可能になり、動きの速い被写体を撮影するときにピントを合わせ続けます。スポーツの撮影など動きの速い被写体の撮影を行うときに効果的です。数値を大きく設定すると、ピントの追従がより素早くなります。

### ご注意

- 以下の機能を使用中、AF駆動速度設定は使用できません。
  - [NIGHTSHOT] が [入] のとき
  - [記録方式] が [XAVC S HD] で [録画フォーマット] が 120p/100p のとき
  - [S&Q MOTION] で [ハイフレームレート] を選択している場合
- SUPER SLOW MOTION撮影時はオートフォーカス機能が使えません。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

## AF被写体追従設定

動画撮影時、オートフォーカスの追従範囲や乗り移り感度を設定できます。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [AF被写体追従設定] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

#### AF追従範囲[奥行] :

奥行き方向への被写体を追従する範囲を設定する。

- 1 [狭い] ~5 [広い] : 奥行き方向に動きの大きな被写体を撮影するときは広く、動きの少ない被写体を撮影するときは狭く設定する。  
広く設定すると、撮影者からの距離が異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。設定を大きくすると異なる被写体により素早く反応します。  
狭く設定すると、撮影したい被写体の前を別の被写体が横切るような条件下で、希望の被写体にピントを合わせ続けることができます。狙った被写体を撮り続けるときなどに効果的です。

#### AF乗り移り感度 :

被写体が切り換わった場合や、フォーカスエリア外に外れて追従できなくなったときに、別の被写体にフォーカスを切り換える時間を設定する。

- 1 [粘る] ~5 [敏感] : 1つの被写体だけを撮影したいときは粘る側に、複数の被写体を撮影したいときは敏感側に設定する。  
敏感側に設定すると、被写体が切り換わったときに、他の被写体に次々にピントを合わせることができます。設定値を大きくすると、より素早く別の被写体に反応します。  
粘る側に設定すると、被写体を見失ってフォーカスエリアを外れることがあっても敏感に反応しないため、希望の被写体にピントを合わせ続けることができます。狙った被写体を撮り続けるときなどに効果的です。

### AF追従範囲[奥行]/AF乗り移り感度の設定例

- 鉄道/レース  
手前には何も存在せず、動きが規則的でスピードがある被写体を追従したいとき。  
AF追従範囲[奥行] : 4/AF乗り移り感度 : 5
- スポーツ/野生動物  
速くて不規則な動きの特定の被写体を粘り強く追いつけたいとき。  
AF追従範囲[奥行] : 4/AF乗り移り感度 : 2
- 風景/マクロ撮影  
被写体の動きは少ないがシーンチェンジが多く、次々テンポよく合わせたいとき。  
AF追従範囲[奥行] : 1/AF乗り移り感度 : 5
- パーティー/祭り  
手前に主要被写体でない人物が映っている場合や、動きの速くない、特定の被写体を粘り強く追いつけたいとき。  
AF追従範囲[奥行] : 1/AF乗り移り感度 : 1

### ご注意

- 以下の機能を使用中、AF被写体追従感度は使用できません。
  - [NIGHTSHOT] が [入] のとき
  - [記録方式] が [XAVC S HD] で [録画フォーマット] が 120p/100p のとき
  - [S&Q MOTION] で [ハイフレームレート] を選択している場合
- SUPER SLOW MOTION撮影時はオートフォーカス機能が使えません。

## ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

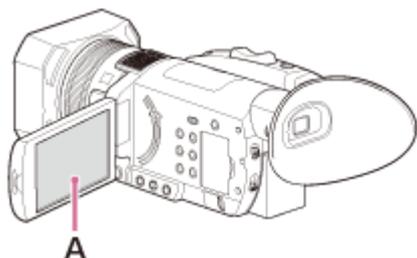
---

## 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

## 選んだ被写体を追尾してフォーカスを調節する（ロックオンAF）

選んだ被写体を追尾して、フォーカスが調節されます。



A : 液晶モニター

### 1 撮影時に追尾したい被写体をタッチする。

- 解除するには、 を選ぶ。



### ご注意

- ロックオンAF機能は、[ロックオンAF] が [切] のときは無効です。
- 以下のときは、ロックオンAF機能がうまく働かないことがあります。
  - 動きが速すぎる被写体
  - 小さすぎる、または大きすぎる被写体
  - 被写体と背景が同系色の場合
  - 暗いシーン
  - 明るさが変わるシーン
- 以下のときは、ロックオンAF機能は動きません。
  - 全画素超解像ズーム時、デジタルズーム時
  - [デジタルエクステンダー] 使用時
  - AF/MFボタンでマニュアルフォーカス設定時（ が表示されます）
  - カラーバーが入の時
  - [記録方式] が [XAVC S HD] で [録画フォーマット] が 120p/100p のとき
  - [記録方式] が [XAVC S 4K] で [PROXY設定] が [入] の時
  - [記録方式] が [XAVC S 4K] で [4K記録中出力] が [外部出力] の時
  - [S&Q MOTION] で [ハイフレームレート] が [入] のとき
  - [SUPER SLOW MOTION] 撮影時
- 追尾している被写体を見失って一定時間経過後は追尾を再開できないことがあります。

### ヒント

- ロックオンAF時、フォーカスエリアは [ワイド] になります。

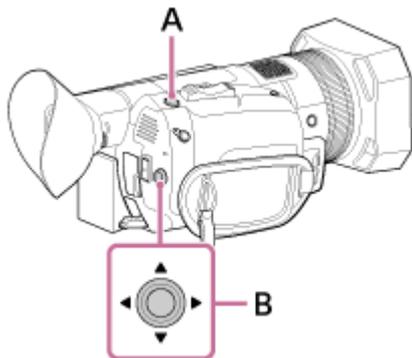
- ロックオンAF
- フォーカスエリア

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 拡大表示をしてピントを合わせる（フォーカス拡大）

選択された領域の画面を拡大して表示します。ピントが合っているかを確認するときに便利です。



A : FOCUS MAGNIFIERボタン（お買い上げ時はASSIGN4ボタンに [FOCUS MAGNIFIER] が割り当てられています。）

B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

### 1 FOCUS MAGNIFIERボタンを押す。

- 画面中央が拡大されます。
- 押すたびに設定が切り換わります。



A : 拡大表示位置

本機の ▲/▼/◀/▶ ボタンで拡大表示の位置を変更できます。SETボタンを押すと、拡大表示位置が中央に戻ります。

### ご注意

- 画面を拡大表示していても、記録される画像は拡大されません。

### ヒント

- [フォーカス拡大倍率] で拡大する倍率を切り換えられます。

### 関連項目

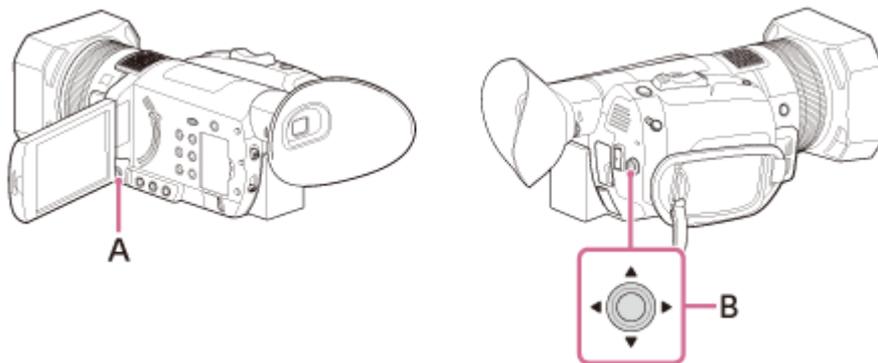
- [フォーカス拡大倍率](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)



デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 画面をタッチしてピントを合わせる（スポットフォーカス）

画面をタッチしたポイントにフォーカスを合わせます。



A : MENUボタン

B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 AUTO/MANU ALスイッチを「MANU AL」にし、AF/MFボタンを押してフォーカスを手動（MF）に設定する。
  - が表示されます。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、（カメラ設定） → [スポットフォーカス] を選ぶ。
- 4 フォーカスを合わせたいポイントの液晶モニターをタッチする。

### スポットフォーカスを止める

MENUボタンを押します。

#### ご注意

- [スポットフォーカス] は、フォーカスが手動のときのみ行えます。
- SUPER SLOW MOTION撮影時はスポットフォーカス機能が使えません。

#### ヒント

- [スポットフォーカス] は、ASSIGNボタンに割り当てることができます。

#### 関連項目

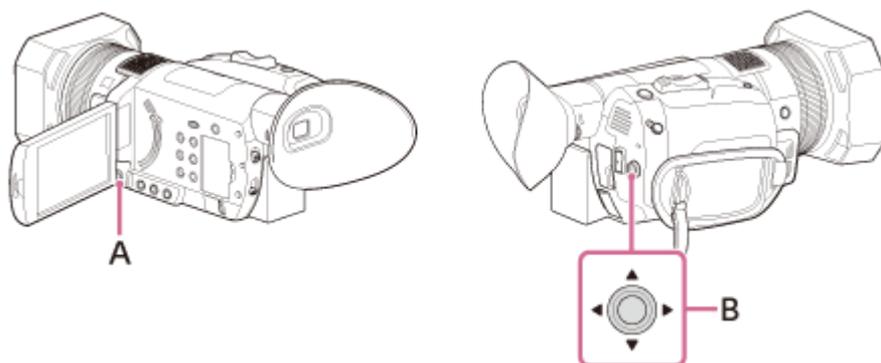
- [スポットフォーカス](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)



デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 検出した顔にピントを合わせる（顔検出）

人物の顔を検出して、その顔にピントを合わせられます（お買い上げ時の設定は [入] ）。フォーカスが自動のときに使用できます。

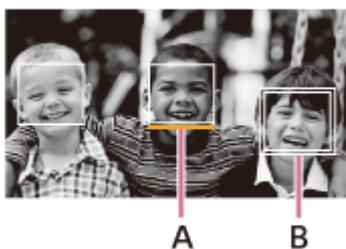


A : MENUボタン

B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、（カメラ設定）→ [顔検出] → [入] を選ぶ。
  - 顔を検出すると、枠\* が表示されます。

\* 顔を検出すると灰色の顔検出枠が表示され、オートフォーカスできる状態になると顔検出枠が白色になります。[位相差AF枠] が [入] の場合や、PHOTOボタンを半押しした場合、ピントが合うと顔検出枠が緑色になります。
- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、選択カーソル（オレンジ色の下線）を移動して、優先する顔を選び、押して決定する。



A : 選択カーソル（オレンジ）

B : 優先顔枠（二重）

優先されている顔枠が二重枠に変わります。

## 優先顔を止める

▲/▼/◀/▶/SETボタンで優先設定している顔枠（二重枠）に選択カーソル（オレンジ色の下線）を合わせて、押して決定します。

ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては顔部分を検出できないことや正しい効果が得られない場合があります。この場合は「顔検出」を「切」にしてください。
- 「ロックオンAF」が「入」の場合、選択カーソルは表示されず、優先する顔は選べません。
- 全画素超解像度ズーム中、デジタルズーム中、NIGHTSHOT中は、顔検出が無効になります。

## ヒント

- 設定されているフォーカスエリアの中の顔のみ、ピントが合います。
- 「フォーカスエリア」が「ワイド」のときに「顔検出」を「入」にすると、フォーカスエリア枠は非表示になります。
- 「顔検出」は、ASSIGNボタンに割り当てることができます。
- 顔検出をしやすいするためには以下のような状況で撮影してください。
  - 適度に明るい場所で撮影する
  - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
  - 顔をカメラ正面に向ける

---

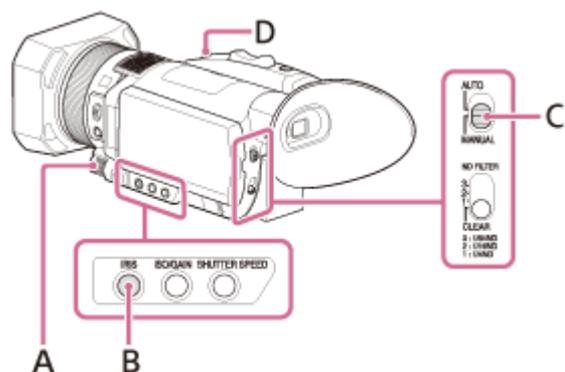
## 関連項目

- [顔検出](#)
- [フォーカスエリア](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## アイリスを調節する

背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

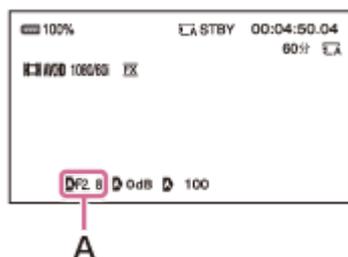


- A : マニュアルダイヤル  
B : IRISボタン  
C : AUTO/MANUALスイッチ  
D : IRIS PUSH AUTOボタン (お買い上げ時はASSIGN5ボタンに [IRIS PUSH AUTO] が割り当てられています。)

1 AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

2 IRIS (アイリス) ボタンを押す。

- アイリス値の横から **A** または **E** が消え、アイリス値が反転します。



A : アイリス値

3 マニュアルダイヤルを回して調整し、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

- 絞りを開く (アイリス値を小さくする) と光量が増えます。絞りを閉じる (アイリス値を大きくする) と、光量が減ります。

### 一時的に自動調整にする

IRIS PUSH AUTOボタンを押し続けます。  
押している間だけ、自動で調整されます。

### 自動調整にする

アイリス値が反転表示している状態からIRIS (アイリス) ボタンを押します。  
アイリス値が消えるか、もしくはアイリス値の横に **A** が表示されます。AEを固定している場合は **E** が表示されます。

### ご注意

- AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、ISO感度、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。

### ヒント

- 撮影待機画面から▲/▼/◀/▶/SETボタンを使って直接設定変更することもできます（ダイレクトメニュー）。

---

---

### 関連項目

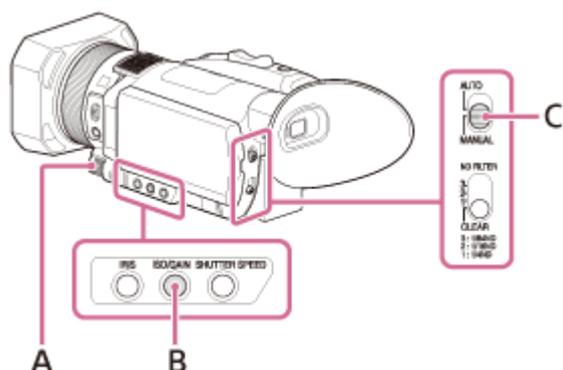
- [ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

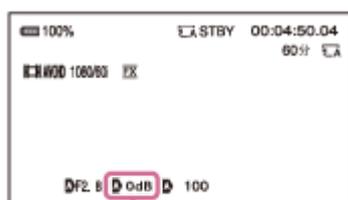
## ゲインを調節する

動画撮影時にAGC（オートゲインコントロール）によって、値を上げたくないときに使います。



A : マニュアルダイヤル  
B : ISO/GAINボタン  
C : AUTO/MANUALスイッチ

- 1 動画撮影モードであることを確認する。
- 2 AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。
- 3 ISO/GAIN（ISO/ゲイン）ボタンを押す。
  - ゲイン値の横から **A** または **B** が消え、ゲイン値が反転します。



A : ゲイン値

- 4 マニュアルダイヤルを回して調整し、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

## 自動調整にする

ゲイン値が反転表示している状態からISO/GAIN（ISO/ゲイン）ボタンを押します。  
ゲイン値が消える、またはゲイン値の横に **A** が表示されます。AEを固定している場合は **B** が表示されます。

### ご注意

- AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、ISO感度、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。
- 静止画撮影モード時はISO感度の調整画面になります。

## ヒント

- 撮影待機画面から ▲/▼/◀/▶/SETボタンを使って直接設定変更することもできます（ダイレクトメニュー）。

---

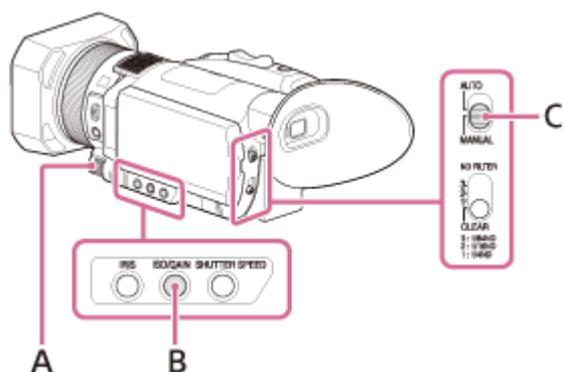
## 関連項目

- [ISO/ゲイン切換](#)
- [AGCリミット](#)
- [ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

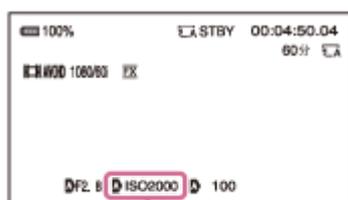
## ISO感度を調節する

オートISOリミットによって、値を上げたくないときに使います。



A : マニュアルダイヤル  
B : ISO/GAINボタン  
C : AUTO/MANUALスイッチ

- 1 「ISO/ゲイン切換」を [ISO] にする。
- 2 AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。
- 3 ISO/GAIN (ISO/ゲイン) ボタンを押す。
  - ISO値の横から **A** または **B** が消え、ISO値が反転します。



A : ISO値

- 4 マニュアルダイヤルを回して調整し、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

## 自動調整にする

ISO値が反転表示している状態からISO/GAIN (ISO/ゲイン) ボタンを押します。

ISO値が消える、またはISO値の横に **A** が表示されます。AEを固定している場合は **B** が表示されます。

### ご注意

- AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、ISO感度、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調整はできません。
- 動画撮影モード時はISO/ゲインどちらでも表示できます。
- 動画撮影モード時でもISO調整をすることができます。

## ヒント

- 撮影待機画面から▲/▼/◀/▶/SETボタンを使って直接設定変更することもできます（ダイレクトメニュー）。

## 関連項目

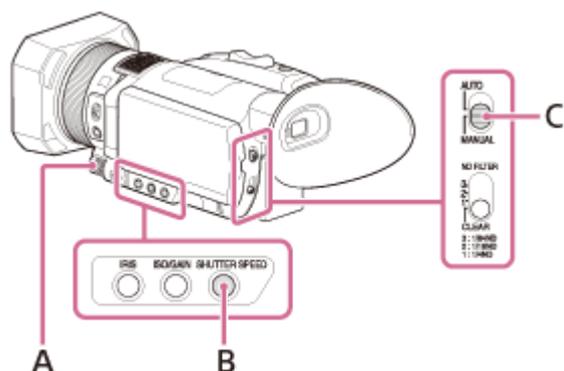
- [ISO/ゲイン切換](#)
- [オートISOリミット](#)
- [ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

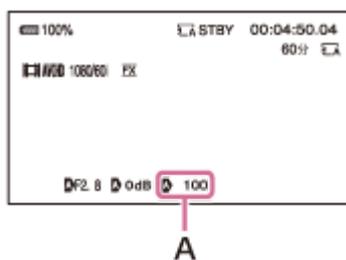
## シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。



A : マニュアルダイヤル  
B : SHUTTER SPEEDボタン  
C : AUTO/MANUALスイッチ

- 1 AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。
- 2 SHUTTER SPEED（シャッタースピード）ボタンを押す。
  - シャッタースピード値の横から **A** または **E** が消え、シャッタースピード値が反転します。



A : シャッタースピード値

- 3 マニュアルダイヤルを回して調整し、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。
  - 例えば、1/100秒のときは [100] と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。
  - （その他）→ [60i/50i 切換] の設定によって選べる設定値が変わります。  
[60i] を選んでいるとき：  
1/8～1/10000（ただし、24p撮影時は1/6～1/10000）から選べます。  
[50i] を選んでいるとき：  
1/6～1/10000から選べます。

### 自動調整にする

シャッタースピード値が反転表示している状態からSHUTTER SPEED（シャッタースピード）ボタンを押します。シャッタースピード値が消える、またはシャッタースピード値の横に **A** が表示されます。AEを固定している場合は **E** が表示されます。

## ご注意

- AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、ISO感度、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。

## ヒント

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変わったりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。
- シャッタースピード表示は [シャッター表示] で秒表示と角度表示を切り換えられます。
- 撮影待機画面から ▲ / ▼ / ◀ / ▶ SETボタンを使って直接設定変更することもできます (ダイレクトメニュー)。

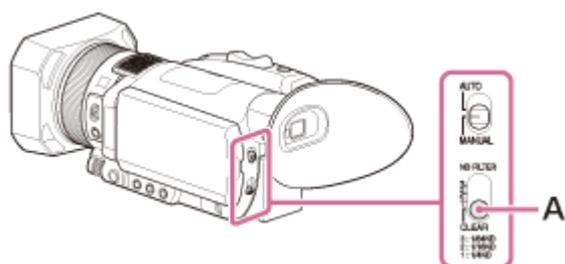
---

## 関連項目

- [60i/50i切換](#)
- [シャッター表示](#)
- [ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う](#)

## 光量を調節する（NDフィルター）

撮影状況が明るすぎるときは、ND FILTER（NDフィルター）スイッチを使うと被写体を鮮明に撮影できます。NDフィルター1は光量を約1/4に、NDフィルター2は約1/16に、NDフィルター3は約1/64に減少させるようにそれぞれ設定されています。



A : ND FILTER（NDフィルター）スイッチ

アイリスを自動調節しているとき、**ND1**が点滅したときは、NDフィルター1に、**ND2**が点滅したときはNDフィルター2に、**ND3**が点滅したときはNDフィルター3にします。

NDフィルター表示が点滅から点灯に変わります。

**ND OFF**が点滅したときは、ND FILTER（NDフィルター）スイッチを「CLEAR」にしてください。NDフィルター表示が消えます。

### ご注意

- 撮影中にND FILTER（NDフィルター）スイッチを切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルターの点滅表示が出ません。
- **ND**が点滅した時は、ND FILTER（NDフィルター）スイッチの位置が正しく設定されているか確認してください。
- 晴天下の撮影など、明るいシーンでシャッタースピードが速くなると映像がパラパラすることがあります。適切なNDフィルターを使用して光量を調整してください。

### ヒント

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります（ビデオカメラでは一般的に起こる現象です）。ND FILTER（NDフィルター）スイッチを使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

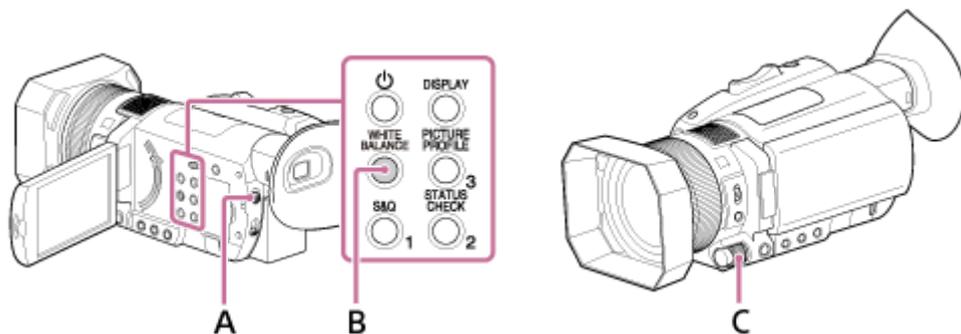
## 自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）

撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

ホワイトバランスはA、Bまたはプリセットを選ぶことができます。

A (  A ) または B (  B ) を選ぶと、あらかじめ記憶させた調整値を選べます。

プリセットを選ぶと、あらかじめ  (カメラ設定) の [WBプリセット] で選んだ [屋外]、[屋内]、[WB色温度] のいずれかで設定できます。



A : AUTO/MANUALスイッチ

B : WHITE BALANCEボタン

C : マニュアルダイヤル

- 1 AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。
- 2 WHITE BALANCE（ホワイトバランス）ボタンを押す。
  - オート状態（非表示）からマニュアル状態に切り換わり、ホワイトバランス選択値が反転します。WBプリセットで設定した値、 A、 Bのいずれかが表示されます。
- 3 マニュアルダイヤルを回してA、B、プリセットのいずれかを選ぶ。
  - A/Bの設定値：  
A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。
  - PRESET の設定値：  
 (カメラ設定) → [WBプリセット] で好みの設定を選びます。

### プリセットの設定値について

#### ☀屋外：

- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下

#### 💡屋内：

- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下
- ナトリウムランプや水銀灯の下

WB色温度：

-  (カメラ設定) → [WB色温度設定] で、2300K～15000Kの範囲でお好みの色温度を設定できます（お買い上げ時の設定は6500K）。

自動調整に戻す

WHITE BALANCE（ホワイトバランス）ボタンを押します。

#### ご注意

- AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にすると、他の手動調節（アイリス、ゲイン、ISO、シャッタースピード）も解除されま

す。

#### ヒント

- ASSIGNボタンに [WB SET] を割り当てている場合、「[メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させる](#)」の手順4～7の代わりに撮影画面でASSIGNボタンを押すと、調整値が記憶されます。
- 撮影待機画面から ▲/▼/◀/▶/SETボタンを使って直接設定変更することもできます（ダイレクトメニュー）。

---

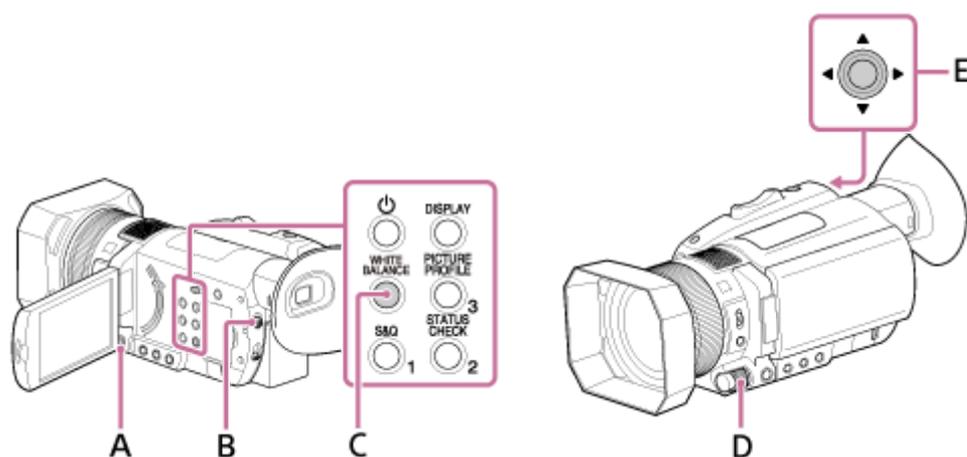
#### 関連項目

- [メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させる](#)
- [WBプリセット](#)
- [WB屋外レベル](#)
- [WB色温度設定](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)
- [ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させる

好みに合わせたホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値をメモリーA/Bに記憶させることで、撮影時にあらかじめ調整した値で撮影することができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。



A : MENUボタン  
B : AUTO/MANUALスイッチ  
C : WHITE BALANCEボタン  
D : マニュアルダイヤル  
E : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。
- 2 WHITE BALANCE（ホワイトバランス）ボタンを押してホワイトバランス値を反転表示させる。
- 3 マニュアルダイヤルを回してA (  A) またはB (  B) を選ぶ。
- 4 MENUボタンを押す。
- 5 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで  (カメラ設定) → [WB SET] を選ぶ。
- 6 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱいに映す。
- 7 SETボタンを押す。
  - AまたはBに調整値が記憶されます。
  - 取り込まれた色温度が3秒ほど表示されます。

### ご注意

- AまたはBを選んでいるときにホワイトバランスの調整ができなかったときは、AまたはBが遅い点滅に変わります。白い紙などで適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは1/60 (1/50) 付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。

---

---

関連項目

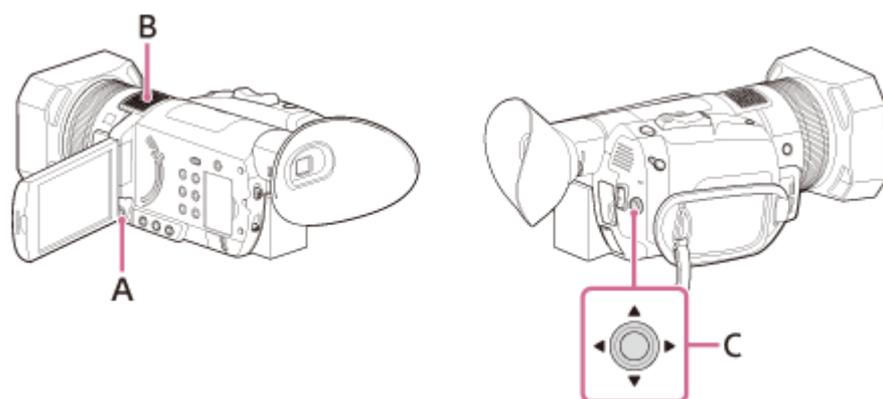
- [自然な色合いに調節する \(ホワイトバランス\)](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 内蔵マイクで収録する

本体内蔵マイクを用いて、ステレオ音声を収録できます。



A : MENUボタン  
B : 内蔵マイク  
C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、♪（音声設定）→ [マイク選択] → [INT MIC] を選ぶ。

### ヒント

- 風切り音を低減するには、MENUボタン→♪（音声設定）→ [INT MIC風音低減] を [入] にしてください。
- 録音レベルは自動で調節されます。MENUボタン→♪（音声設定）→ [録音レベル] → [録音モード] → [マニュアル] を選ぶと、手動で録音レベルを調節できます。

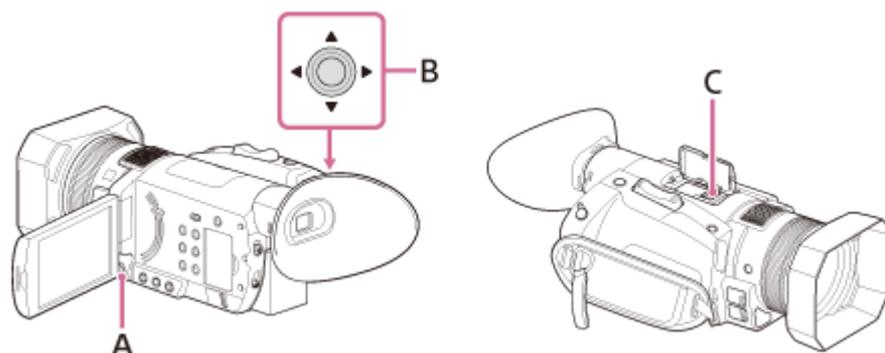
### 関連項目

- [マイク選択](#)
- [INT MIC風音低減](#)
- [録音レベル](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## マルチインターフェースシュー対応マイク（別売）で収録する

マルチインターフェースシュー対応マイク（別売）で、ステレオ音声を収録できます。



A : MENUボタン

B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

C : マルチインターフェースシュー

- 1 マルチインターフェースシュー対応マイク（別売）をマルチインターフェースシュー端子につなぐ。
  - 接続方法について詳しくは、マルチインターフェースシュー対応マイクの取扱説明書をご覧ください。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、♪（音声設定）→ [マイク選択] → [MI SHOE MI C] を選ぶ。

### ヒント

- 録音レベルは自動で調節されます。マルチインターフェースシューに装着した専用マイクを使用しているときは、録音レベルは調節できません。

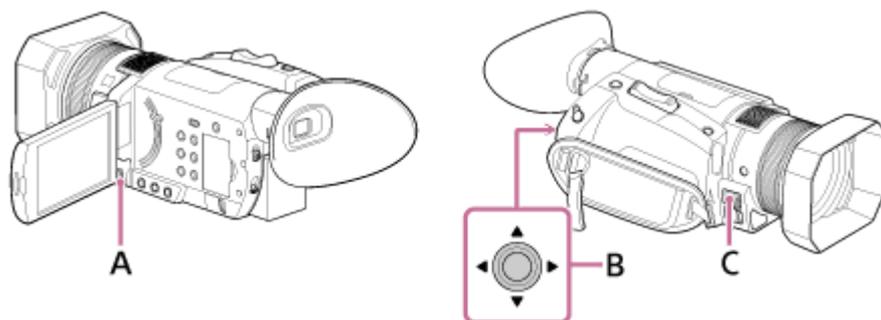
### 関連項目

- [マイク選択](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 外部マイク（別売）で収録する

外部マイク（別売）で、ステレオ音声を収録できます。



A : MENUボタン

B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

C : MIC端子（PLUG IN POWER）

- 1 外部マイク（別売）をMIC端子（PLUG IN POWER）につなぐ。
  - 接続方法について詳しくは、外部マイクの取扱説明書をご覧ください。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、🎵（音声設定）→ [マイク選択] → [STEREO MINI MIC] を選ぶ。

### ヒント

- 録音レベルは自動で調節されます。MENUボタン→🎵（音声設定）→ [録音レベル] → [録音モード] → [マニュアル] を選ぶと、手動で録音レベルを調節できます。

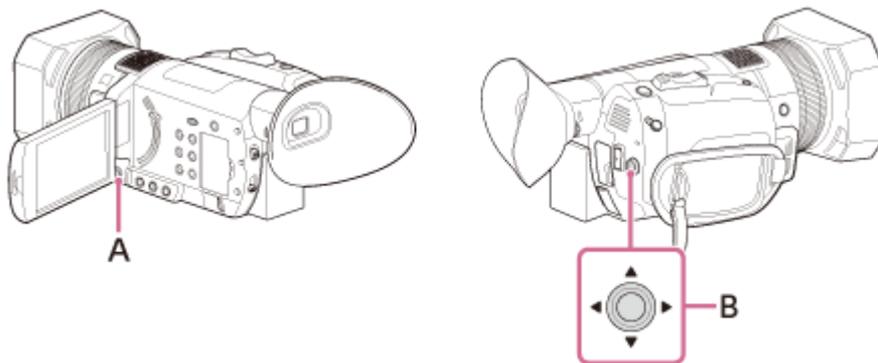
### 関連項目

- [マイク選択](#)
- [録音レベル](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 暗い場所で撮る（NIGHTSHOT）

赤外線ライトを発光して真っ暗な場所でも撮影できます。



A : MENUボタン

B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、（カメラ設定）→ [NIGHTSHOT] → [入] を選ぶ。
  -  が表示されます。

### ご注意

- AUTO/MANUALスイッチが「AUTO」の時のみ使用可能です。
- NIGHTSHOTは赤外線を利用するため、NIGHTSHOT（ナイトショット）ライト発光部を指などで覆わないでください。
- レンズフードは、赤外線発光の妨げとなるため、取り外してください。
- ライトが届く範囲は、約3mです。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

### ヒント

- [NIGHTSHOT] は、ASSIGNボタンに割り当てることができます。

### 関連項目

- [各部のなまえ](#) 左前側面／前面
- [NIGHTSHOT](#)
- [NIGHTSHOTライト](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

## あらかじめ設定した画質で撮る（ピクチャープロファイル）

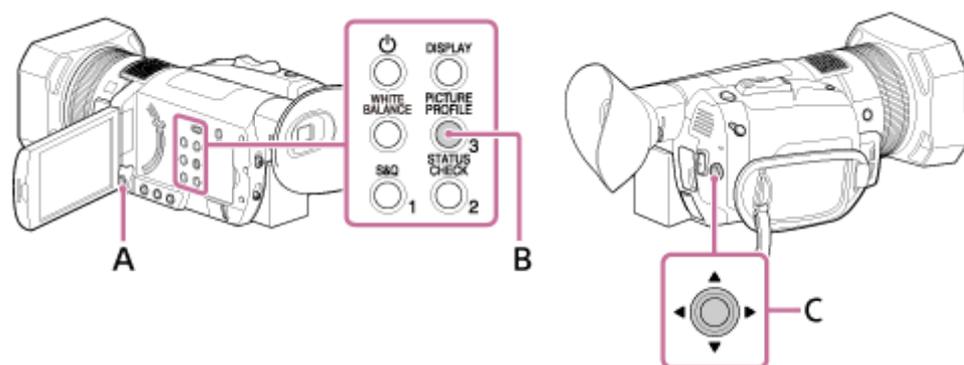
撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できます。

〔ピクチャープロファイル〕の各項目についてさらに詳しい使いかたは、以下のURLをご覧ください（機種によって設定できる内容や設定方法が異なる場合があります）。

<http://helppguide.sony.net/di/pp/v1/ja/index.html>

撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、**PP1** から **PP10** に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。お好みのピクチャープロファイルを選んで撮影できます。



A : MENUボタン

B : PICTURE PROFILEボタン（お買い上げ時はASSIGN3ボタンに〔PICTURE PROFILE〕が割り当てられています。）

C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 スタンバイ中にPICTURE PROFILEボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、お好みのピクチャープロファイルを選ぶ。
  - ピクチャープロファイルはあらかじめ以下に設定されています。
    - 切：  
ピクチャープロファイルを使用しない
    - PP1：  
〔スタンダード〕ガンマを用いた設定例
    - PP2：  
〔STILL〕ガンマを用いた一眼動画カメラのような色合いの設定例
    - PP3：  
〔ITU-709〕ガンマを用いた自然な色合いの設定例
    - PP4：  
〔ITU709マトリックス〕カラーモードを用いた設定例
    - PP5：  
〔CINE1〕ガンマを用いた設定例
    - PP6：  
〔CINE2〕ガンマを用いた設定例
    - PP7：  
〔S-LOG2〕ガンマと〔S-GAMUT〕カラーモードで撮影するときの推奨設定
    - PP8：  
〔S-LOG3〕ガンマと〔S-GAMUT3.CINE〕カラーモードで撮影するときの推奨設定
    - PP9：  
〔S-LOG3〕ガンマと〔S-GAMUT3〕カラーモードで撮影するときの推奨設定
    - PP10：

- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、[決定] を選ぶ。
  - 選んだピクチャープロファイルの設定で撮影できます。

## ピクチャープロファイル撮影をやめる

手順2で [切] を選びます。

## HDR撮影について

本機はピクチャープロファイルでHLG/HLG1～3のガンマを選択することにより、HDR撮影を行うことができます。ピクチャープロファイルのPP10にHDR撮影の設定例がプリセットされておりHLG (Hybrid Log-Gamma) 対応のテレビで再生することにより、従来よりも広いレンジの明るさが再現可能になります。これにより、いままで白とびや黒つぶれでうまく再現できなかったシーンも撮影可能になります。HLGは、国際規格Recommendation ITU-R BT.2100で定義されるハイダイナミックレンジテレビ方式のひとつです。

### ご注意

- HDRで撮影した映像をテレビで表示する場合は、HDR (HLG) 対応ソニー製テレビと本機をUSB接続してご覧ください。HDMIでテレビと接続する場合は、適切に表示するためにテレビの画質設定を手動で変更する必要があります。テレビの画質設定は、ガンマをHLGに対応する設定、カラーモードはBT.2020、709に対応する設定にしてください。

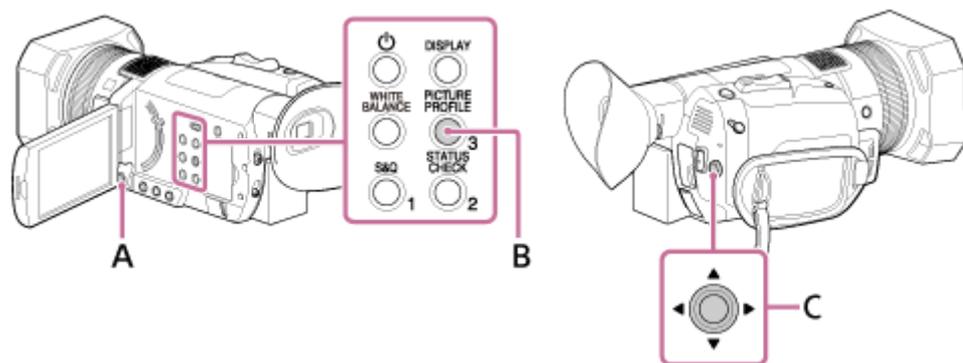
## 関連項目

- [ピクチャープロファイルの内容を変更する](#)
- [ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーする](#)
- [ピクチャープロファイルをリセットする](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ピクチャープロファイルの内容を変更する

あらかじめ登録されている **PP1** から **PP10** の設定内容を変更できます。



A : MENUボタン

B : PICTURE PROFILEボタン（お買い上げ時はASSIGN3ボタンに [PICTURE PROFILE] が割り当てられています。）

C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 PICTURE PROFILEボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで設定を変更するピクチャープロファイル番号を選ぶ。
- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで [設定変更] を選ぶ。
- 4 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで調節したい項目を選ぶ。
- 5 ▲/▼/◀/▶/SETボタンでお好みの設定を選ぶ。
- 6 手順4、5を繰り返して他の項目を調節する。
- 7 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで [戻る] を選ぶ。
- 8 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで [決定] を選ぶ。
  - ピクチャープロファイルの表示が出ます。

### ピクチャープロファイルの設定項目について

以下の設定項目を変更できます。

ブラックレベル：  
黒レベルを設定する。

- -15～+15

ガンマ：  
ガンマカーブを選ぶ。

- スタンダード：動画用の標準ガンマカーブ
- STILL：一眼動画カメラのようなガンマカーブ
- CINE1：暗部のコントラストをなだらかにし、かつ明部の諧調変化をはっきりさせて、落ち着いた調子の映像にする（HG4609G33相当）。
- CINE2：[CINE1] とほぼ同様の効果が得られるが、編集などにおいてビデオ信号100%以内で扱いたいときは、こちらを選択する（HG4600G30相当）。
- CINE3：[CINE1]、[CINE2] より明部と暗部のコントラストを強め、かつ黒側の諧調変化をはっきりさせる。
- CINE4：[CINE3] よりさらに暗部のコントラストを強める。[スタンダード] より暗部のコントラストは弱く、明部のコントラストは強い。
- ITU709：ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン：4.5
- ITU709 (800%)：[S-LOG2]、[S-LOG3] 撮影前提のシーン確認用ガンマカーブ
- S-LOG2：[S-LOG2] のガンマカーブ。撮影後映像処理を前提とした設定。
- S-LOG3：[S-LOG3] のガンマカーブ。撮影後映像処理を前提とした、よりフィルムに似た特性のガンマカーブ。
- HLG：HDR撮影用のガンマカーブ。ITU-R BT.2100相当の特性。
- HLG1：HDR撮影用のガンマカーブ。ノイズ低減を優先したモード。ただし、撮影できるダイナミックレンジは[HLG2]、[HLG3] より狭くなります。
- HLG2：HDR撮影用のガンマカーブ。ダイナミックレンジとノイズのバランスを考慮した設定。
- HLG3：HDR撮影用のガンマカーブ。[HLG2] よりも広いダイナミックレンジで撮影したい場合の設定。ただし、ノイズレベルが上がります。  
[HLG1]、[HLG2]、[HLG3] は同じ特性のガンマカーブで、ダイナミックレンジとノイズのバランスを変更したものです。それぞれ出力ビデオレベルの最大値が異なり、[HLG1]：87%、[HLG2]：95%、[HLG3]：100%程度になります。

ブラックガンマ：

低輝度部のガンマ補正をする。

ガンマで[HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]を選択しているとき、ブラックガンマは無効になります。

- 範囲：補正範囲を選ぶ。  
高/中/低
- レベル：補正の強さを設定する。  
-7（ブラックコンプレッス最大）～+7（ブラックストレッチ最大）

ニー：

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白とびを防ぐためビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

[ガンマ]で[CINE1]、[CINE2]、[CINE3]、[CINE4]、[STILL]、[ITU709(800%)]、[S-LOG2]、[S-LOG3]、[HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]を選択しているときは、[モード]を[オート]にしていると[ニー]は無効になります。[モード]を[マニュアル]にすると[ニー]の機能を使用できます。

- モード：自動/手動設定を選ぶ。
  - オート：ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。
  - マニュアル：ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
- オート設定：[オート]を選んだ場合の設定
  - マックスポイント：ニーポイントの最大値を設定する。  
90.0%～100.0%
  - 感度：感度を設定する。  
高/中/低
- マニュアル設定：[マニュアル]を選んだ場合の設定
  - ポイント：ニーポイントを設定する。  
75.0%～105.0%
  - スロープ：ニースロープの傾きを設定する。  
-5（傾きが小さい）～+5（傾きが大きい）

+5に設定すると、[ニー]は無効になります。

#### カラーモード：

発色のタイプやレベルを設定する。

ガンマで[HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]を選択しているとき、カラーモードは[BT.2020]、[709]のみが選択可能です。

[BT.2020] 選択時、カラーバーは正しく出力されません。

- スタンダード：[ガンマ]が[スタンダード]のときに適した色合い。
- STILL：[ガンマ]が[STILL]のときに適した色合い。
- CINEMA：[ガンマ]が[CINE1]のときに適したフィルム調の色合い。
- PRO：[ガンマ]が[ITU-709]のときに適した自然な色合い。
- ITU709マトリクス：ITU709相当。
- 白黒：彩度を0にし、白黒で撮影する。
- S-GAMUT/3200K、S-GAMUT/ 4300K、S-GAMUT/5500K：[ガンマ]が[S-LOG2]の時に使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。
- S-GAMUT3.CINE/3200K、S-GAMUT3.CINE/ 4300K、S-GAMUT3.CINE/5500K：[ガンマ]が[S-LOG3]の時に使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。デジタルシネマの色域に調整しやすい色域での撮影が可能。
- S-GAMUT3/3200K、S-GAMUT3/ 4300K、S-GAMUT3/5500K：[ガンマ]が[S-LOG3]の時に使用する、撮影後の映像処理を前提とした設定。広い色域での撮影が可能。
- BT.2020：[ガンマ]が[HLG]、[HLG1]、[HLG2]、[HLG3]のときの標準的な色合い。
- 709：[GAMMA]で[HLG] [HLG1] [HLG2] [HLG3]を選択して、HDTV方式(BT.709)の色で記録するときの色合い。

#### 彩度：

色の濃さを設定する。

- -32（薄くなる）～+32（濃くなる）

#### 色相：

色相を設定する。

- -7（緑がかる）～+7（赤みがかる）

#### 色の深さ：

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がありません。

+側にすると暗くなり、色が深く見えます。-側にすると明るくなり、色が浅く見えます。

[彩度]を-32（モノトーン）にしたときにも有効です。

- R：-7（赤が浅くなる）～+7（赤が深くなる）
- G：-7（緑が浅くなる）～+7（緑が深くなる）
- B：-7（青が浅くなる）～+7（青が深くなる）
- C：-7（シアンが浅くなる）～+7（シアンが深くなる）
- M：-7（マゼンタが浅くなる）～+7（マゼンタが深くなる）
- Y：-7（黄が浅くなる）～+7（黄が深くなる）

#### カラーコレクション：

色補正を設定する。

- タイプ：カラーコレクションタイプを選ぶ。
  - 切：カラーコレクションを行わない。
  - 色補正：メモリーに設定されている色を補正する。  
メモリー以外の色（[色選択]の設定で白黒で表示される部分）は補正されません。

- 色選択：メモリー設定されている色のみカラーで表示する。  
他の部分は白黒になります。エフェクトとして利用したり、メモリーに設定するときの確認をしたりするのに便利です。
- メモリー選択：有効にするメモリーを選ぶ。
  - 1：メモリー1の設定のみ有効にする。
  - 2：メモリー2の設定のみ有効にする。
  - 1&2：メモリー1、2ともに有効にする。
- メモリー1色設定：メモリー1の色を設定する。
  - 色相：色相を選ぶ。  
0（紫）～8（赤）～16（黄）～24（緑）～31（青）
  - 色相範囲：色相の範囲を選ぶ。  
0（選択色なし）、1（狭い：単色のみ選ぶ）～31（広い：色相の近い他の色も選ぶ）
  - 彩度：彩度を選ぶ。  
0（薄い色から濃い色まで選ぶ）～31（濃い色のみ選ぶ）
  - ワンプッシュセット：センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて【色相】を自動で選ぶ。  
【彩度】は0にリセットされます。
- メモリー1色補正：メモリー1の色を補正する。
  - 色相：メモリー1で選んだ色の色相を補正する。  
-15～+15（0の場合、補正されません。）
  - 彩度：メモリー1で選んだ色の彩度を補正する。  
-15～+15（0の場合、補正されません。）
- メモリー2色設定：メモリー2の色を設定する。
  - 色相：色相を選ぶ。  
0（紫）～8（赤）～16（黄）～24（緑）～31（青）
  - 色相範囲：色相の範囲を選ぶ。  
0（選択色なし）、1（狭い：単色のみ選ぶ）～31（広い：色相の近い他の色も選ぶ）
  - 彩度：彩度を選ぶ。  
0（薄い色から濃い色まで選ぶ）～31（濃い色のみ選ぶ）
  - ワンプッシュセット：センターマーカーの中心部に映した被写体に合わせて【色相】を自動で選ぶ。  
【彩度】は0にリセットされます。
- メモリー2色補正：メモリー2の色を補正する。
  - 色相：メモリー2で選んだ色の色相を補正する。  
-15～+15（0の場合、補正されません。）
  - 彩度：メモリー2で選んだ色の彩度を補正する。  
-15～+15（0の場合、補正されません。）

#### WBシフト：

ホワイトバランスシフトを設定する。

フィルターのタイプによって、調節できる項目が異なります。

- フィルタータイプ：ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選ぶ。
  - LB-CC：フィルムタイプ（色温度変換と色補正をする）
  - R-B：ビデオタイプ（RとBのレベルを補正する）
- LB【色温度】：色温度変換の設定をする。  
-9（青みがかかる）～+9（赤みがかかる）
- CC【MG/GR】：色補正の設定をする。  
-9（緑がかかる）～+9（マゼンタがかかる）
- Rゲイン：Rのレベルを設定する。  
-9（Rのレベルが下がる）～+9（Rのレベルが上がる）
- Bゲイン：Bのレベルを設定する。  
-9（Bのレベルが下がる）～+9（Bのレベルが上がる）

ディテール：  
ディテールを設定する。

- レベル： [ディテール] の強さを設定する。  
-7~+7
- マニュアル設定：
  - 入/切： [ディテール] の手動詳細設定を入/切する。  
[入] にすると、 [ディテール] の手動詳細設定を行います（自動最適化は行いません）。
  - V/Hバランス： 垂直（V）ディテール/水平（H）ディテールのバランスを設定する。  
-2（垂直（V）が強い） ~ +2（水平（H）が強い）
  - B/Wバランス： 下側（B）ディテール/上側（W）ディテールのバランスを選ぶ。  
タイプ1（下側（B）が強い） ~ タイプ5（上側（W）が強い）
  - リミット： [ディテール] のリミットレベルを設定する。  
0（リミットレベルが低い（リミットされやすい）） ~ 7（リミットレベルが高い（リミットされにくい））
  - クリस्पニング： クリस्पニングレベルを設定する。  
0（クリस्पニングレベルが浅い） ~ 7（クリस्पニングレベルが深い）
  - 高輝度ディテール： 高輝度部分のディテールレベルを設定する。  
0~4

コピー：  
他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

リセット：  
ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

#### ヒント

- メモリー1、メモリー2を同じ設定にすると、補正効果は2倍になります。
- [カラーコレクション] の設定は電源を切っても保持されますが、時間、天気、場所などにより変化するような色に効果を加える場合は、使用時に再度設定し直すことをおすすめします。
- ホワイトバランス値、ピクチャープロファイルの [WBシフト]、[彩度]、[色相] の設定を変更すると、色設定や補正される色合いが変化します。 [カラーコレクション] の設定時と使用時で上記設定が変わってしまったときは、 [カラーコレクション] の設定を見直してください。
- ホワイトバランスをオートに設定していると、被写体にあわせて自動でホワイトバランスが変化しますので、ホワイトバランスは手動で設定することをおすすめします。

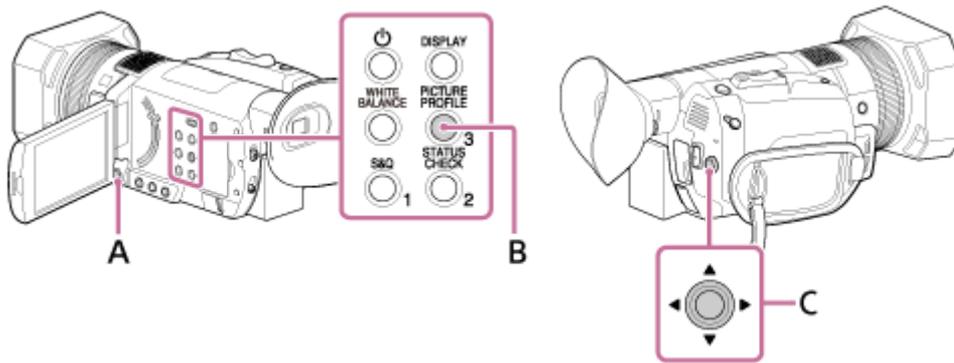
#### 関連項目

- [あらかじめ設定した画質で撮る（ピクチャープロファイル）](#)
- [ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーする](#)
- [ピクチャープロファイルをリセットする](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーする

ピクチャープロファイルをコピーしてから設定を変更することができます。同じような設定を登録するとき便利です。



A : MENUボタン

B : PICTURE PROFILEボタン（お買い上げ時はASSIGN3ボタンに [PICTURE PROFILE] が割り当てられています。）

C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 PICTURE PROFILEボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンでコピー元のピクチャープロファイル番号を選ぶ。
- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで [設定変更] → [コピー] を選ぶ。
- 4 ▲/▼/◀/▶/SETボタンでコピー先のピクチャープロファイル番号を選ぶ。
- 5 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで [はい] → [戻る] → [決定] を選ぶ。

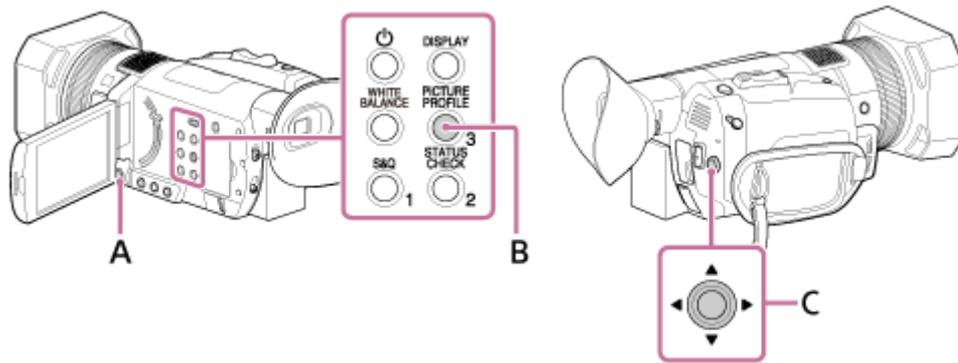
### 関連項目

- [あらかじめ設定した画質で撮る（ピクチャープロファイル）](#)
- [ピクチャープロファイルの内容を変更する](#)
- [ピクチャープロファイルをリセットする](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ピクチャープロファイルをリセットする

設定を変更したピクチャープロファイルを番号ごとにリセットできます。すべての設定を一度にリセットすることはできません。



A : MENUボタン

B : PICTURE PROFILEボタン（お買い上げ時はASSIGN3ボタンに [PICTURE PROFILE] が割り当てられています。）

C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 PICTURE PROFILEボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押してお買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選ぶ。
- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して [設定変更] → [リセット] → [はい] → [戻る] → [決定] を選ぶ。

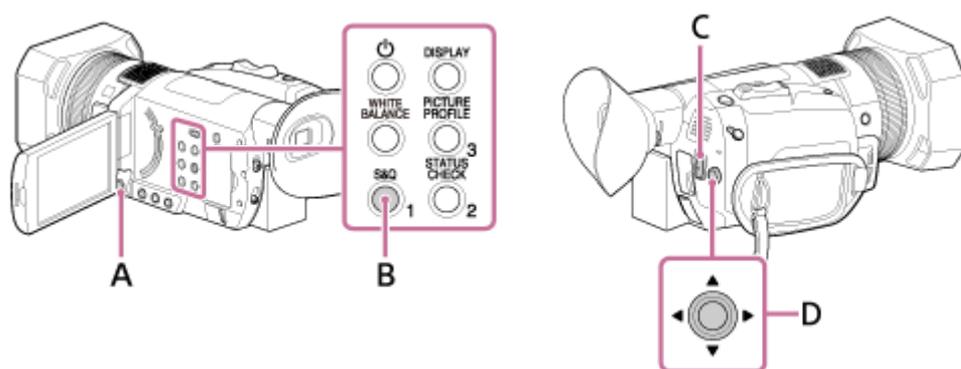
### 関連項目

- [あらかじめ設定した画質で撮る（ピクチャープロファイル）](#)
- [ピクチャープロファイルの内容を変更する](#)
- [ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーする](#)
- [自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## スロー&クイックモーションで撮影する

再生するフレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常で撮影した映像を低速再生、高速再生する場合よりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます（XAVC S 4K、XAVC S HDのみ）。



- A : MENUボタン  
B : S&Qボタン  
C : START/STOPボタン  
D : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

### スロー&クイックモーション撮影前の準備

MENUボタン→（カメラ設定）→ [SLOW & QUICK] → [S&Q MOTION] で、録画フォーマットとフレームレートを設定します。

### スロー&クイックモーションで撮影する

- 1 S&Qボタンを押して画面に [S&Q MOTION] を表示させる。
  - スロー&クイックモーション撮影モードになります。
  - ▲/▼/◀/▶/SETボタンで （カメラ設定）→ [SLOW & QUICK] → [S&Q MOTION] → [実行] を選んで、スロー&クイックモーション撮影モードにすることもできます。
- 2 START/STOPボタンを押す。
  - スロー&クイックモーションでの記録が始まります。

### スロー&クイックモーション記録を停止する

START/STOPボタンを押します。

### フレームレートの設定を変更する

S&Qボタンを約1秒間長押しして、▲/▼/◀/▶/SETボタンで設定値を変更し、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定します。

### スロー&クイックモーションを解除する

スタンバイ中に、S&QボタンまたはMENUボタンを押します。

ご注意

- 使用可能なメモリーカードは、記録方式によって異なります。
- クイックモーション撮影の場合、START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります（最大30秒程度）。液晶モニターの表示が [REC] で点滅している間は本体を操作せず、[STBY] に切り換わるまでお待ちください。
- 本機では、撮影を停止したあとも再生時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。遅いフレームレートで撮影していた場合は、START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。
- スロー&クイックモーション撮影中は、フレームレートの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードは [REC RUN] で記録されます。
- 本機の電源を切った場合も、スロー&クイックモーションは自動的に解除されます。ただしフレームレートの設定値は保持されます。
- スロー&クイックモーション撮影中は、音声の記録はできません。
- メモリーカードAとメモリーカードBへの同時記録はできません。
- [記録方式] が [AVCHD] の場合、[S&Q MOTION] は使用できません。
- AUTO/MANUALスイッチが「AUTO」のとき、[S&Q MOTION] は使用できません。

---

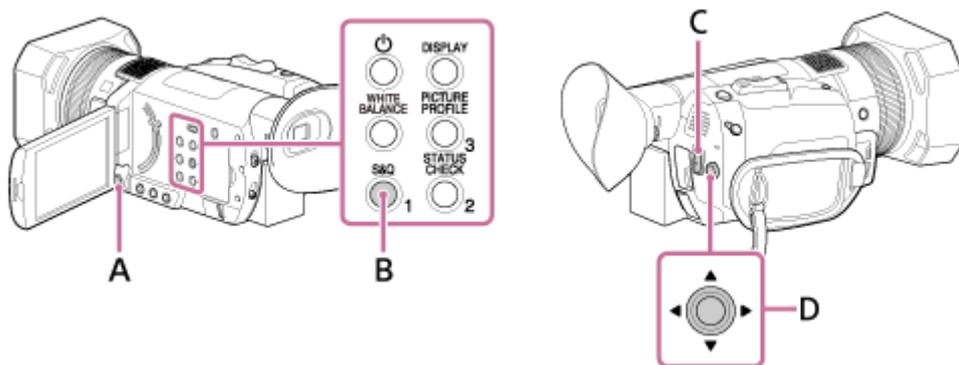
#### 関連項目

- [本機で使用できるメモリーカード](#)
- [メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（同時記録）](#)
- [SLOW & QUICK \(S&Q MOTION\)](#)
- [TC RUN](#)
- [S&Qボタン設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## スーパースローモーションで撮影する

再生フレームレートよりはるかに高いフレームレートで撮影することによって、通常で撮影した映像を低速再生するよりも、滑らかなスーパースローモーション映像が得られます（XAVC S HDのみ）。



- A : MENUボタン  
B : S&Qボタン  
C : START/STOPボタン  
D : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

### スーパースローモーション撮影前の準備

MENUボタン → (カメラ設定) → [SLOW & QUICK] → [SUPER SLOW MOTION] で、録画フォーマット、フレームレート、録画タイミングを設定します。

### スーパースローモーションで撮影する

- 1 S&Qボタンを押して画面に [SUPER SLOW MOTION] を表示させる。
  - スーパースローモーション撮影モードになります。
  - ▲/▼/◀/▶/SETボタンで (カメラ設定) → [SLOW & QUICK] → [SUPER SLOW MOTION] → [実行] を選んで、スーパースローモーション撮影モードにすることもできます。
- 2 START/STOPボタンを押す。
  - スーパースローモーションでの記録が始まります。

### 録画時間を手動で決めたいときは

[録画タイミング] を [START TRIGGER] にしているとき、START/STOPボタンを押して、お好みのタイミングで撮影を止めます。

### 撮影に失敗したときは

記録中の画面で [キャンセル] を選んで記録を中止します。  
録画は中止され、撮影内容は保存されません。撮影をすぐにやり直したいときに便利です。

### フレームレートの変更

S&Qボタンを約1秒間長押しして、▲/▼/◀/▶/SETボタンで設定値を変更し、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定します。

## スーパースローモーションを解除する

スタンバイ中にS&QボタンまたはMENUボタンを押します。

### ご注意

- 使用可能なメモリーカードは、記録方式によって異なります。
- スーパースローモーション撮影の場合、START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります（最大3分程度）。液晶モニターの表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に切り換わるまでお待ちください。
- 本機では、撮影を停止したあとも撮影時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。
- スーパースローモーション撮影は、フルオートモードがオフのときのみ行えます。また、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、フォーカスが手動に固定されます。
- [フレームレート]で[960]（[1000]）を選んだ場合、表示、記録される映像が約1.35倍テレシフトします。
- [フレームレート]で[480]、[960]（[500]、[1000]）を選んだ場合、通常撮影時より画質は劣化します。
- ゲインやシャッタースピードの操作をしたり、ホワイトバランスを変更すると、液晶モニター上の映像は変化しますが、記録した映像には撮影終了時点のカメラ設定が反映されます。
- フレームレートの設定を変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- タイムコードは[REC RUN]で記録されます。
- 本機の電源を切った場合も、スーパースローモーションは自動的に解除されます。ただしフレームレートの設定値は保持されます。
- フリッカー補正が効きません。
- 音声は記録できません。
- オートフォーカス機能が使えません。
- シャッタースピードはフレームレートより低速の値は選べません。
- [記録方式]が[XAVC S 4K]、[AVCHD]の場合、[SUPER SLOW MOTION]は使用できません。
- AUTO/MANUALスイッチが「AUTO」のとき、[SUPER SLOW MOTION]は使用できません。

---

### 関連項目

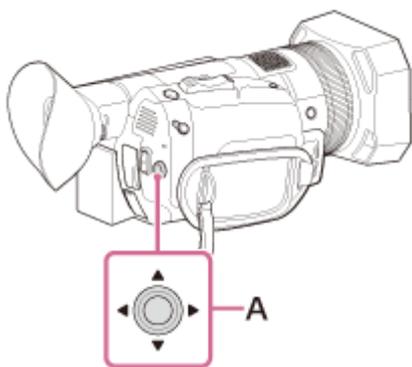
- [本機で利用できるメモリーカード](#)
- [SLOW & QUICK \(SUPER SLOW MOTION\)](#)
- [TC RUN](#)
- [S&Qボタン設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う

画面に表示されている撮影時の設定項目は、▲/▼/◀/▶/SETボタンの操作で直接設定変更ができます。設定できる項目は以下のとおりです。

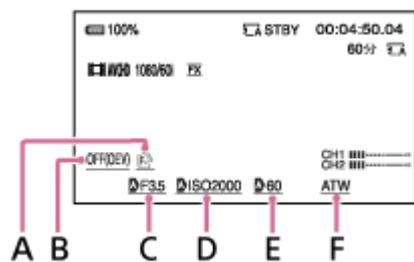
- フォーカス値
- AEシフトのレベル値
- アイリス値
- ISO感度/ゲイン
- シャッタースピード値
- ホワイトバランス値



A : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

### 1 ダイレクトメニューが割り当てられたASSIGNボタンを押す。

- ダイレクトメニューモードに入り、液晶モニター下部の項目にカーソル（下線）が表示されます。
  - オレンジ色のカーソルは選ばれている項目
  - 白いカーソルは選択できる項目



A : フォーカス値  
B : AEシフトのレベル値  
C : アイリス値  
D : ISO感度/ゲイン  
E : シャッタースピード値  
F : ホワイトバランス値

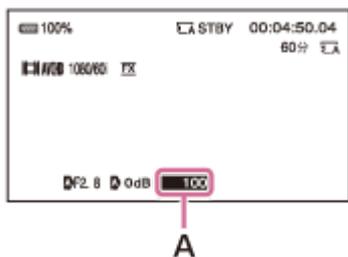
- ASSIGNボタンへの機能割り当ての操作について詳しくは「[ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)」をご覧ください。

### 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを左右に動かしてオレンジ色のカーソルを設定対象の項目に移動する。

3 設定対象の項目に **A**（自動）が設定されているときは、▲/▼/◀/▶/SETボタンを上下に動かして **A** を消す。

4 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して決定する。

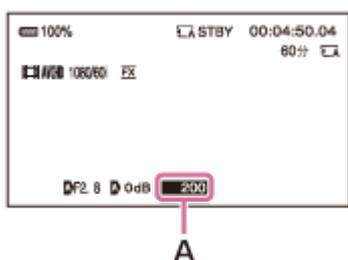
- 設定値が白黒の反転表示になり、数値の変更ができる状態になります。以下の例では、シャッタースピードの値を変更します。



A : シャッタースピード値

5 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを上下に動かして、希望の数値を表示させる。

- マニュアルダイヤルの操作でも数値を変更できます。



A : 変更されたシャッタースピード値

6 続けて他の項目を設定するには、▲/▼/◀/▶/SETボタンを左右に動かし、オレンジカーソルを設定対象の項目に移動させて手順3~5を繰り返す。

7 希望の数値をすべて表示させたら、▲/▼/◀/▶/SETボタンを押す。

- 設定値が変更され、ダイレクトメニューモードを抜けます。

### ご注意

- 以下の機能（操作ボタン/ASSIGNボタンによる操作を含む）を使用中、ダイレクトメニューは使用できません。
  - メニュー表示中
  - 再生モード中
  - S&Q MOTION
  - SUPER SLOW MOTION
  - フォーカス拡大 (FOCUS MAGNIFIER)
  - スポット測光フォーカス
  - スポット測光
  - スポットフォーカス
  - フォーカスエリア設定
  - 音量調節中
  - スマートフォン操作
- ダイレクトメニューの表示中に設定項目（アイリス値やフォーカス値など）がボタンやスイッチで変更された場合、ダイレクトメニューが終了することがあります。

### ヒント

- ホワイトバランスがオートの場合は [ATW] と表示されます。
- フォーカスがオートフォーカスの場合は [AF] と表示されます。
- ASSIGNボタンに割り当てることができます。

---

#### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)
- [AEシフト](#)
- [手動でフォーカスを調整する](#)
- [アイリスを調節する](#)
- [ゲインを調節する](#)
- [ISO感度を調節する](#)
- [シャッタースピードを調節する](#)
- [自然な色合いに調節する \(ホワイトバランス\)](#)

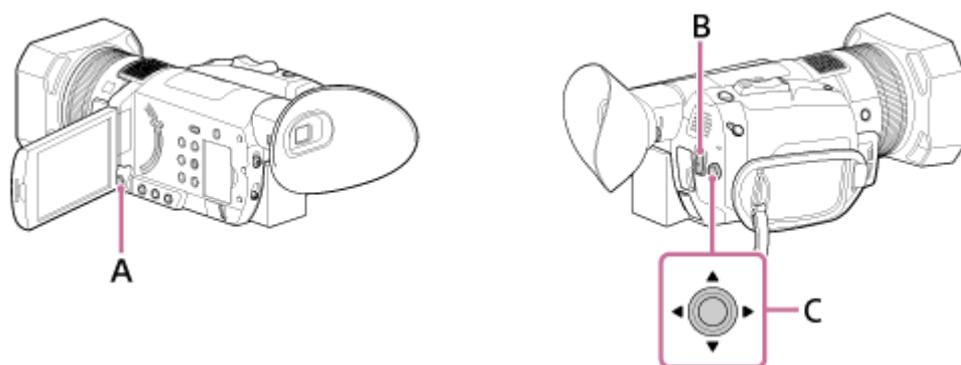
デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## プロキシ記録をする

本機は高ビットレートのオリジナルファイルの動画を記録しながら、低ビットレートのプロキシファイルを同時に記録できます。

高ビットレートの動画よりファイルサイズが小さいので、データ転送に適しています。

プロキシ記録ができるのは【記録方式】が【XAVC S 4K】または【XAVC S HD】のときのみです。



A : MENUボタン  
B : START/STOPボタン  
C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、 (録画/出力設定) → [録画設定] → [PRO XY設定] → [入] を選ぶ。
  - 撮影画面に **Px** が表示されます。
  - MENUボタン → (録画/出力設定) → [録画設定] → [PROXY設定] → [サイズ] でプロキシ記録の画サイズを選ぶことができます。
- 3 START/STOPボタンを押して記録を開始する。

### プロキシ記録について

- プロキシファイルは本機で再生できません。オリジナルファイルのサムネイルに **Px** が表示されます。
- オリジナルファイルを削除/プロテクトすると、プロキシファイルも削除/プロテクトされます。
- プロキシ記録時は、SDXCメモリーカード (UHS-I U3) のご使用をおすすめします。

### プロキシ記録対応フォーマットについて

記録されるオリジナルファイルの動画とプロキシファイルの映像のサイズは以下となります。

[60i/50i切換]	オリジナルファイル		プロキシファイル	
	[記録方式]	[録画フォーマット]	画サイズ : 1280×720	画サイズ : 640×360
60i	XAVC S 4K	3840x2160/30p	1280x720/30p 9Mbps	640x360/30p 3Mbps
		3840x2160/24p	1280x720/24p 9Mbps	640x360/24p 3Mbps
	XAVC S HD	1920x1080/60p	1280x720/60p 9Mbps	640x360/60p 3Mbps
		1920x1080/30p	1280x720/30p 9Mbps	640x360/30p 3Mbps

		1920x1080/24p	1280x720/24p 9Mbps	640x360/24p 3Mbps
50i	XAVC S 4K	3840x2160/25p	1280x720/25p 9Mbps	640x360/25p 3Mbps
	XAVC S HD	1920x1080/50p	1280x720/50p 9Mbps	640x360/50p 3Mbps
		1920x1080/25p	1280x720/25p 9Mbps	640x360/25p 3Mbps

### ご注意

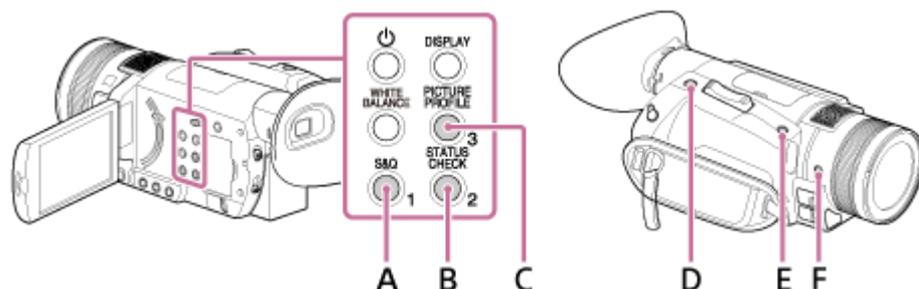
- XAVC S動画のファイル数が上限（600）に達した場合、本機ではプロキシ記録できません。
- プロキシ記録時は以下の機能が使えません。
  - S&Q MOTION
  - SUPER SLOW MOTION
  - カラーバー
  - [記録方式] が [XAVC S HD] で [録画フォーマット] が120p/100pの場合
  - [録画設定] の [同時/リレー記録] が [同時記録] もしくは [リレー記録]、[ビデオ出力] の [出力選択] が [外部出力] の場合

### 関連項目

- [動画を撮る](#)
- [カラーバー](#)
- [録画設定](#)
- [日付記録](#)
- [SLOW & QUICK \(S&Q MOTION\)](#)

## 最後に撮影した映像を再生する（ラストシーンレビュー）

直前に撮影したシーンを画面で確認できます。この機能はASSIGNボタンに割り当てることで使用できるようになります。



- A : ASSIGN1ボタン
- B : ASSIGN2ボタン
- C : ASSIGN3ボタン
- D : ASSIGN4ボタン
- E : ASSIGN5ボタン
- F : ASSIGN6ボタン

- 1 ASSIGN1～6ボタンのいずれかに「ラストシーンレビュー」を割り当てる。
  - ASSIGNボタンへの機能割り当ての操作について詳しくは「[ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)」をご覧ください。
- 2 撮影を停止したら、「ラストシーンレビュー」を割り当てたASSIGNボタンを押す。
  - 最後のシーンの先頭から再生が始まります。終わりまで再生すると終了し、スタンバイに戻ります。

レビューを中断するには

再生中に「ラストシーンレビュー」を割り当てたASSIGNボタンを押します。  
レビューが中断し、スタンバイに戻ります。

### ご注意

- 録画後に編集やメモリーカードの抜き差しなどの操作を行った場合、ラストシーンレビューが正しく実行されない場合があります。
- [SUPER SLOW MOTION] 撮影時は、ラストシーンレビューが実行できません。

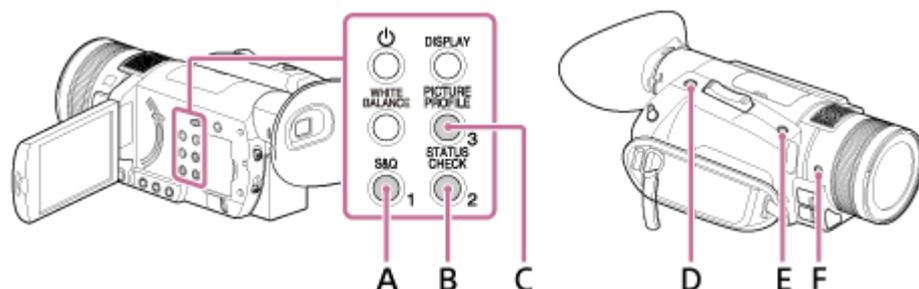
### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ASSIGNボタンに機能を割り当てる

ASSIGN1～6ボタンにお好みの機能を登録できます。  
各機能については、「メニューを使う」をご覧ください。



- A : ASSIGN1ボタン
- B : ASSIGN2ボタン
- C : ASSIGN3ボタン
- D : ASSIGN4ボタン
- E : ASSIGN5ボタン
- F : ASSIGN6ボタン

お買い上げ時にASSIGNボタンに割り当てられている機能

- ASSIGN1 : S&Q MOTION
- ASSIGN2 : STATUS CHECK
- ASSIGN3 : PICTURE PROFILE
- ASSIGN4 : FOCUS MAGNIFIER
- ASSIGN5 : IRIS PUSH AUTO
- ASSIGN6 : — (機能なし)

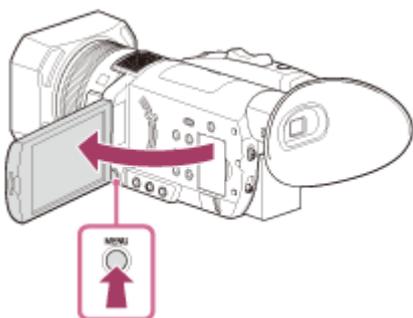
ASSIGN ボタンに割り当てられる機能

- — (機能なし)
- LOW LUX
- FOCUS MAGNIFIER (フォーカス拡大)
- ラストシーンレビュー
- WHITE BALANCE (ホワイトバランス)
- WBプリセット
- WB SET
- AEシフト
- デジタルエクステンダー
- 手ブレ補正
- フォーカスエリア
- フォーカス位置
- AF駆動速度
- AF追従範囲[奥行]
- AF乗り移り感度
- 顔検出
- S&Q MOTION
- オートモード設定
- シーンセレクション設定
- NIGHTSHOT
- IRIS PUSH AUTO
- スポット測光フォーカス
- スポット測光

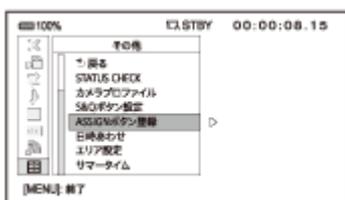
- スポットフォーカス
- カラーバー
- ダイレクト
- MENU
- PICTURE PROFILE
- 音量
- ヒストグラム
- ゼブラ
- ピーキング
- 位相差AF枠表示
- マーカー
- カメラデータ表示
- 音声レベル表示
- 日付/データ表示
- ガンマ表示アシスト
- TC/UB表示
- スマートフォン接続
- STATUS CHECK
- 録画ランプ
- THUMBNAIL
-  /  撮影モード

## ASSIGNボタンに機能を割り当てる

- 1 MENUボタンを押す。



- 2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ / SETボタンで、 (その他) → [ASSIGNボタン登録] を選ぶ。



- 3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ / SETボタンで設定したいASSIGNボタンを選び、押して決定する。

- 4 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ / SETボタンで割り当てる機能を選び、押して決定する。

- 5 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ / SETボタンで [決定] を選び、押すと機能が割り当てられる。

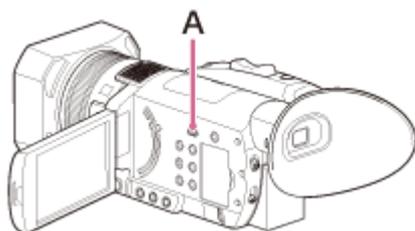
### ご注意

- 静止画撮影モードの場合、ASSIGN4ボタンは静止画のシャッター専用ボタンになります。



## 動画を再生する

動画を本機で再生します。



A : THUMBNAIL  (画像再生) ボタン

- 1 液晶モニターを開く。
- 2 THUMBNAIL  (画像再生) ボタンを押す。

- 数秒後にサムネイル画面が表示されます。



- A : メモリーカード
- B : 前へ
- C : 次へ
- D : 選ばれている動画の情報
- E : 再生モード
- F : 動画のサムネイル (DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます)

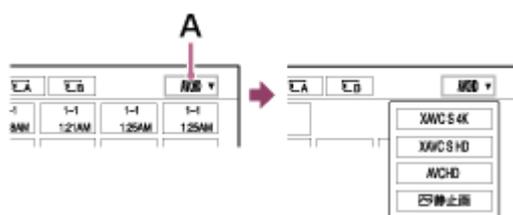
- 3 再生したいメモリーカードをタッチする。

 A : メモリーカードA  
 B : メモリーカードB

- ▲/▼/◀/▶/SETボタンでも再生したいメモリーカードを選べます。

- 4 再生モードをタッチして、表示される再生モードから記録方式を選ぶ。

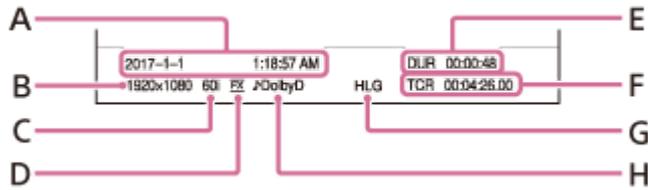
- 選んだ記録方式で録画された動画が表示されます。



A：再生モード

5 再生したい動画のサムネイルを2度タッチする。

- ▲/▼/◀/▶/SETボタンで選んでも再生できます。
- サムネイルを1度タッチすると画面の下部分にタッチした動画の情報が表示されます。



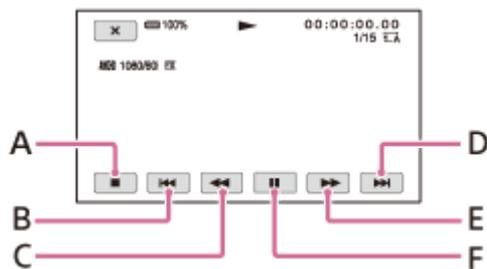
A：撮影開始日時  
B：動画の解像度  
C：フレームレート  
D：録画モード  
E：動画記録時間

F：記録開始タイムコード（タイムコードが記録されていないメモリーカードや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたメモリーカードを再生すると、タイムコードが正常に表示されません）  
G：HLG（Hybrid Log-Gamma）記録（ガンマの設定がHLGで記録されている場合にのみ表示されます）  
H：DOLBY DIGITAL記録（音声ドルビーデジタル方式で記録されている場合にのみ表示されます）

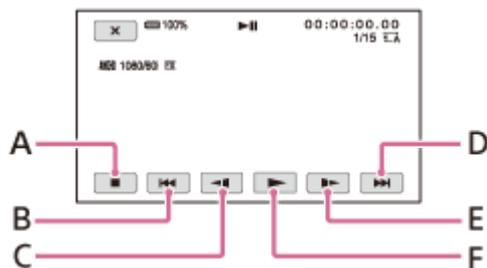
- 最後に再生・撮影した動画に▶▶▶が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。

6 動画が再生される。

- 再生中



- 一時停止中



A：止める  
B：前へ  
C：早戻し（再生中）/スロー（一時停止中）  
D：次へ  
E：早送り（再生中）/スロー（一時停止中）  
F：再生/一時停止

音量を調節する

MENUボタン→🎵（音声設定）→[音量]で調節します。

## 撮影モードに戻す

THUMBNAIL  (画像再生) ボタンを押します。

### ご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- 撮影したHDR映像を本機以外の機器で再生・表示するには、周辺機器がHDR対応であることだけでなく、設定も適切に行われる必要があります。  
XAVC S記録の場合には、HDRの再生や表示に必要な色域やガンマなどのメタデータ（付加情報）が映像ファイルに記録されません。再生や表示に使用する機器がこれらのメタデータに対応している場合は自動的に適切な設定で表示されますが、対応していない場合は手動での設定などが必要になります。  
また、本機のAVCHD記録はHDRメタデータに対応していません。HDRを適切に再生・表示するためには、手動で設定するか、編集時にメタデータを付加するなどの対応が必要になります。

### ヒント

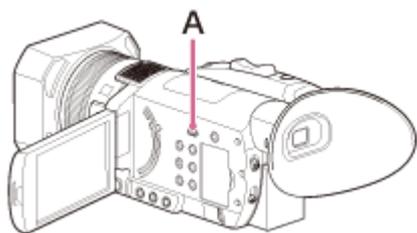
- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、サムネイル画面に戻ります。
- 一時停止中に  /  をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、 /  をタッチする回数によって、より高倍速に再生されます。

### 関連項目

- [音量](#)
- [動画を撮る](#)
- [録画設定](#)

## 静止画を再生する

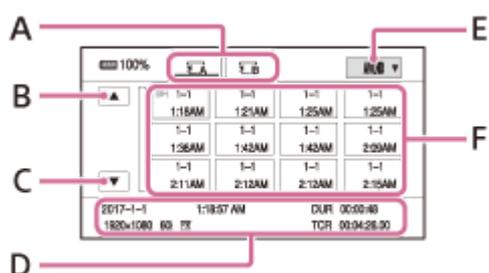
静止画を本機で再生します。



A : THUMBNAIL  (画像再生) ボタン

- 1 液晶モニターを開く。
- 2 THUMBNAIL  (画像再生) ボタンを押す。

- 数秒後にサムネイル画面が表示されます。



- A : メモリーカード
- B : 前へ
- C : 次へ
- D : 選ばれている動画の情報
- E : 再生モード
- F : 動画のサムネイル (DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます)

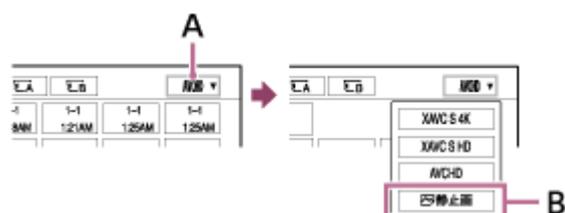
- 3 再生したいメモリーカードをタッチする。

 A : メモリーカードA  
 B : メモリーカードB

- ▲/▼/◀/▶/SETボタンでも再生したいメモリーカードを選べます。

- 4 再生モードをタッチして、表示される再生モードで  静止画 を選ぶ。

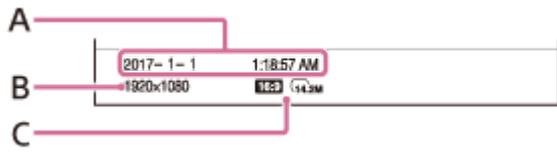
- 撮影した静止画が表示されます。



- A : 再生モード
- B :  静止画

5 再生したい静止画のサムネイルを2度タッチする。

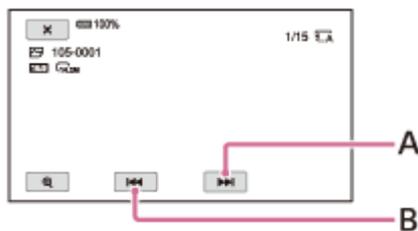
- ▲/▼/◀/▶/SETボタンで選んでも再生できます。
- サムネイルを1度タッチすると画面の下部にタッチした静止画の情報が表示されます。



- A : 撮影日時
- B : 静止画の解像度
- C : 画像サイズ

6 静止画が再生される。

- 以下の画面が表示されます。



- A : 次へ
- B : 前へ

### 拡大して見る

静止画表示時に  (再生ズーム) をタッチします。  
 ズーム調整は  /  で行います。ズームレバーでも操作できます。  
 拡大した画像をタッチすると、タッチした位置を中心に表示します。

### 撮影モードに戻す

THUMBAIL  (画像再生) ボタンを押します。

#### ご注意

- 本機で記録した静止画は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した静止画は本機で再生できない場合があります。

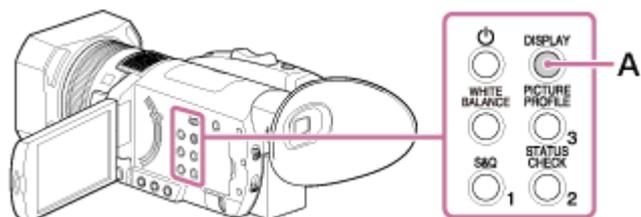
### 関連項目

- [静止画を撮る](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。



A : DISPLAYボタン

- 1 DISPLAYボタンを押す。
  - 押すたびに、非表示⇔表示と切り換わります。  
撮影モードのときは、詳細表示→簡易表示→非表示の順に切り換わります。

### ヒント

- テレビにつないで見るときは、MENUボタン→ (カメラ設定) → [画像表示出力] → [全出力] に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます。

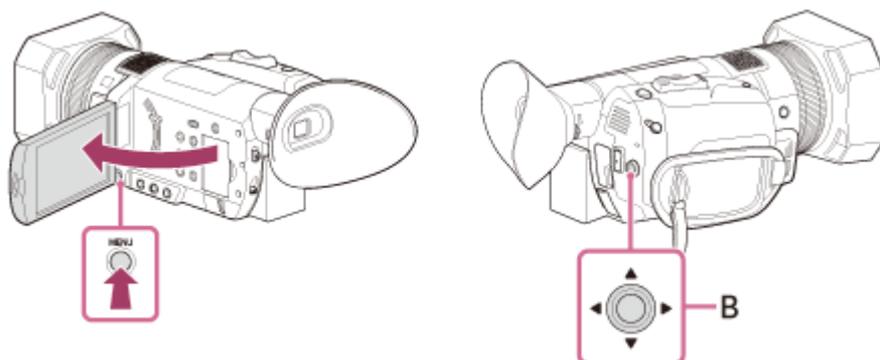
### 関連項目

- [画面表示出力](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 再生時に情報を表示する（日付/データ表示）

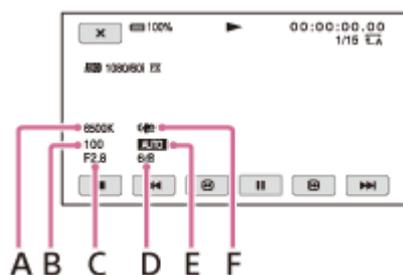
撮影時に自動的に記録された情報（日時やカメラデータ）を再生時に表示できます。



A : MENUボタン

B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで （表示設定） → [日付/データ表示] で表示したいデータを選ぶ。
  - 再生または一時停止中に [日付/データ表示] 機能が割り当てられたASSIGNボタンを押してもデータを表示できます。
  - ASSIGNボタンを使った場合は、押すたびに、日付時刻表示→カメラデータ→表示なしの順に切り換わりま



- A : ホワイトバランス（ [WBプリセット] → [WB色温度] で撮影した画像を再生すると、 **PWB** が表示されます。）
- B : シャッタースピード
- C : アイリス
- D : ゲイン
- E : 明るさ調節（アイリス、ゲイン、シャッタースピードを自動調整で撮影すると **AUTO**、手動調整で撮影すると **MANUAL** と表示されます。）
- F : 手ブレ補正

### ご注意

- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示されないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。

---

#### 関連項目

- [日付/データ表示](#)
- [WBプリセット](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

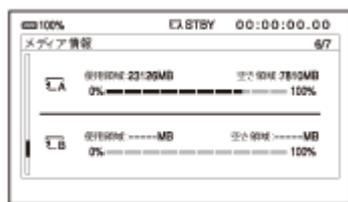
4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

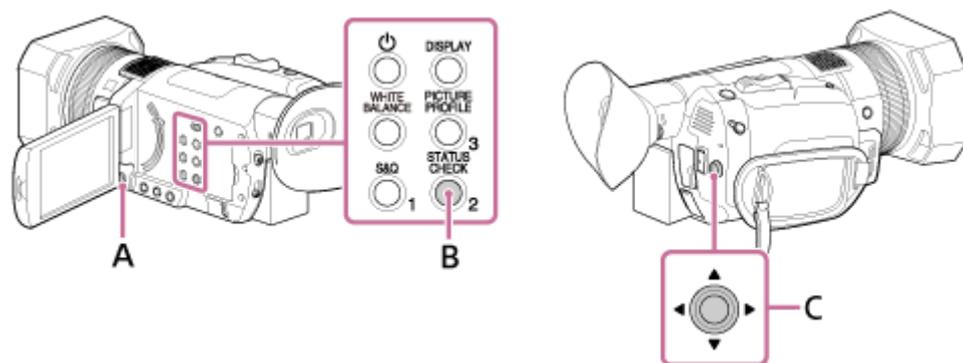
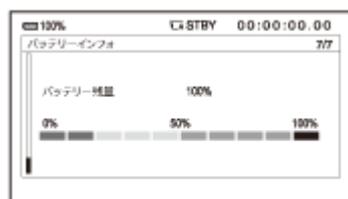
## 本機の設定を確認する（ステータスチェック）

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- 音声に関する設定
- 出力に関する設定
- ASSIGNボタンに割り当てた機能
- カメラに関する設定
- メモリーカード情報  
使用領域と空き領域の目安を確認できます。



- バッテリーに関する情報  
装着しているバッテリー残量を確認できます。



A : MENUボタン

B : STATUS CHECKボタン（お買い上げ時はASSIGN2 ボタンに [STATUS CHECK] が割り当てられています。）

C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 STATUS CHECKボタンを押す。
  - MENUボタン→（その他）→ [STATUS CHECK] でもステータスチェック画面を表示できます。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで表示する項目を選ぶ。
  - オーディオ→出力→ASSIGN→カメラ→メディア情報→バッテリーインフォの順に切り換わります。
  - 起動時の条件、動画/静止画撮影モードによって、表示されないものもあります。

情報表示を消す

STATUS CHECKボタンを押す。

---

---

関連項目

- [STATUS CHECK](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## HDMIケーブルについて

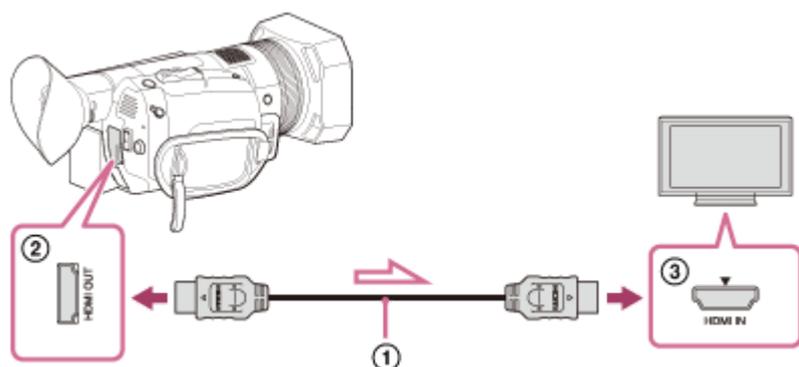
---

- HDMIケーブルは、HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、本機のHDMI OUT端子から出力できません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。
- HDMI (High Definition Multimedia Interface) とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。
- 本機はブラビアリンクに対応していません。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 4Kテレビにつないで見る

動画フォーマット [XAVC S 4K] で撮影した動画を、HDMI端子搭載のテレビにつないで高解像度の画質で再生します。



- ① HDMIケーブル（別売）（①）を使って、本機のHDMI OUT端子（②）とテレビのHDMI入力端子（③）をつなぐ。
- ② テレビの入力端子を切り換える。
- ③ 本機で動画を再生する。

### [オート] でうまく再生できない場合

初期設定はテレビに応じて自動で調整される [オート] になっています。 [オート] でうまく再生できない場合は、手順2の次に （録画/出力設定）→ [ビデオ出力] → [HDMI] で以下の中から出力解像度を選択します。以下の解像度以外を選択した場合、ハイビジョン画質で再生します。

- 60iの場合
  - [2160p/1080p/480i]
  - [2160p/720p/480i]
  - [2160p/1080i/480i]
- 50iの場合
  - [2160p/1080p/576i]
  - [2160p/720p/576i]
  - [2160p/1080i/576i]

### ご注意

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。
- テレビにつないで見るときは、ACアダプター（付属）を使って、電源をコンセントにつないでください。
- 静止画の再生は4K画質に対応していません。
- 本機はブラビアリンクに対応しておりません。
- HDRで撮影した映像をテレビで表示する場合は、HDR（HLG）対応ソニー製テレビと本機をUSB接続してご覧ください。HDMIでテレビと接続する場合は、適切に表示するためにテレビの画質設定を手動で変更する必要があります。テレビの画質設定は、ガンマをHLGに対応する設定、カラーモードはBT.2020、709に対応する設定にしてください。

---

---

#### 関連項目

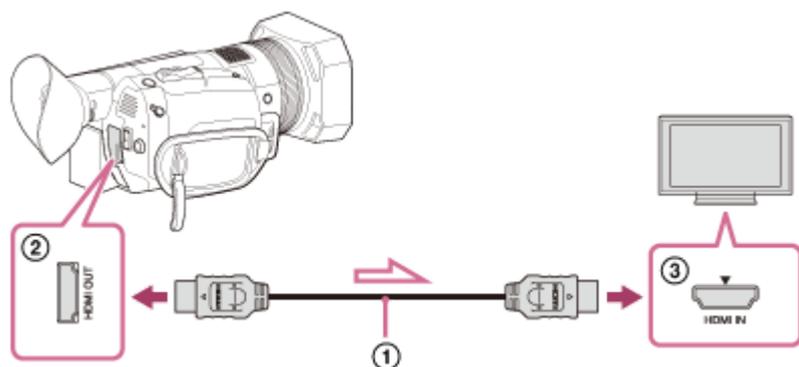
- [コンセントの電源で使うには](#)
- [ビデオ出力](#)
- [録画設定](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ハイビジョンテレビにつないで見る

撮影した画像をHDMI端子搭載のテレビにつないで高画質で再生します。



- ① HDMIケーブル（別売）（①）を使って、本機のHDMI OUT端子（②）とテレビのHDMI 入力端子（③）をつなぐ。
- ② テレビの入力端子を切り換える。
- ③ 本機で画像を再生する。

### 【オート】でうまく再生できない場合

初期設定はテレビに応じて自動で調整される【オート】になっています。【オート】でうまく再生できない場合は、手順2の次に （録画/出力設定）→【ビデオ出力】→【HDMI】で以下の中から出力解像度を選択します。

- XAVC S 4K動画（60iの場合）

- [1080p/480i]
- [720p/480i]
- [1080i/480i]

- XAVC S HD、AVCHD動画（60iの場合）

- [2160p/1080p/480i]
- [2160p/720p/480i]
- [2160p/1080i/480i]
- [1080p/480i]
- [720p/480i]
- [1080i/480i]

- XAVC S 4K動画（50iの場合）

- [1080p/576i]
- [720p/576i]
- [1080i/576i]

- XAVC S HD、AVCHD動画（50iの場合）

- [2160p/1080p/576i]
- [2160p/720p/576i]
- [2160p/1080i/576i]

- [1080p/576i]
- [720p/576i]
- [1080i/576i]

#### ご注意

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。
- テレビにつないで見るときは、ACアダプター（付属）を使って、電源をコンセントにつないでください。
- HDMI入力端子が無いテレビの場合、AVケーブル（別売）をご使用ください。標準画質で出力されます。
- 本機はブラビアリンクに対応していません。

---

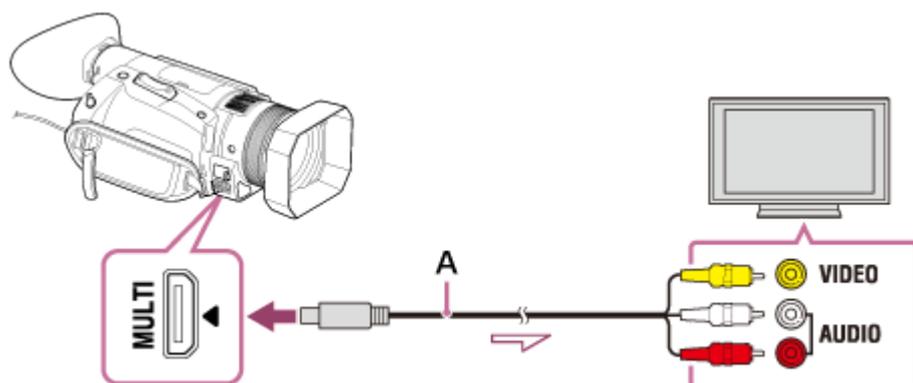
#### 関連項目

- [コンセントの電源で使うには](#)
- [ビデオ出力](#)
- [録画設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ハイビジョン非対応のテレビにつないで見る

AVケーブル（別売）でテレビと接続して再生します。



A: AVケーブル（別売）

- 1 AVケーブル（別売）を使って、本機のマルチ/マイクロUSB端子とテレビのVIDEO/AUDIO端子をつなぐ。
- 2 テレビの入力端子を切り換える。
- 3 本機で画像を再生する。

### ご注意

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。
- テレビにつないで見るときは、ACアダプターを使って、電源をコンセントにつないでください。
- テレビの画面サイズに合わせて、MENUボタン→ （録画/出力設定）→ [ビデオ出力] → [ダウンコンバートタイプ] を設定してください。

### 関連項目

- [コンセントの電源で使うには](#)
- [ビデオ出力](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 編集時のご注意

- 
- 本機では、簡易的な編集ができます。さらに編集する場合には、ソフトウェアPlayMemories Homeをインストールしてお使いください。
  - いったん削除した画像は元に戻せません。大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください。
  - 削除、分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
  - メモリーカードに記録した画像の削除、分割中はメモリーカードを抜かないでください。

---

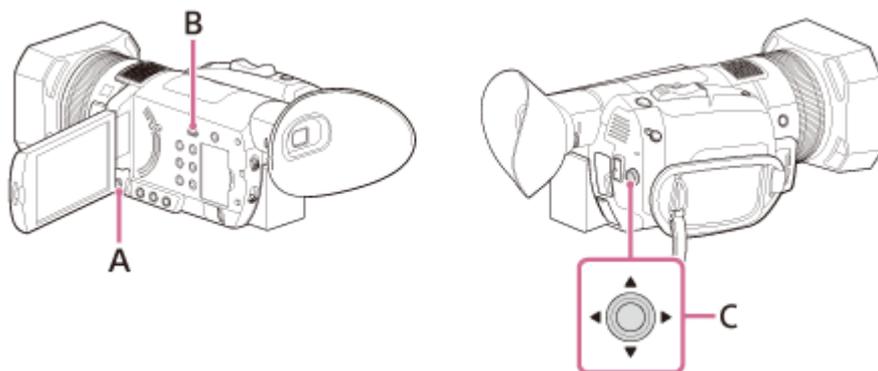
## 関連項目

- [パソコンへ画像を取り込んで活用する \(PlayMemories Home\)](#)
- [動画・静止画を保護する \(プロテクト\)](#)
- [動画・静止画を選んで削除する](#)
- [動画を分割する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 動画・静止画を保護する（プロテクト）

動画・静止画を誤って削除してしまうことを防げます。



A : MENUボタン  
B : THUMBNAIL  (画像再生) ボタン  
C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 THUMBNAIL  ボタンを押す。
  - サムネイル画面が表示されます。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで  (編集) → [プロテクト] を選ぶ。
- 4 プロテクトしたい動画・静止画をタッチする。
  - 画像に  マークが表示されます。



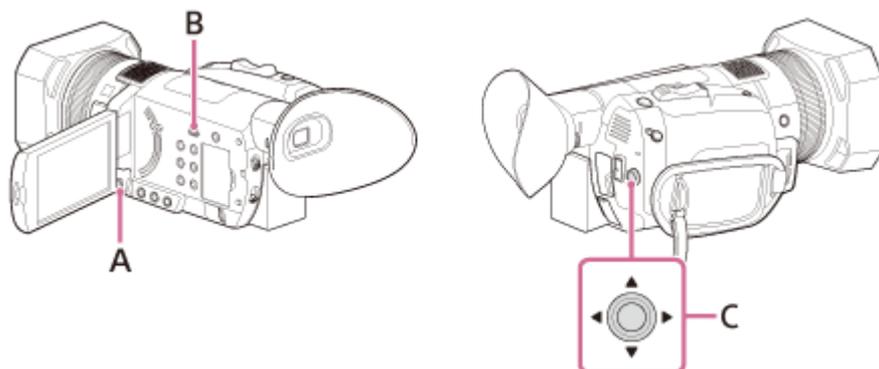
- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。  で選択画面に戻ります。
  - 1度に100個までの画像を選べます。
- 5  を押した後、画面の指示に従って  をタッチする。

### プロテクトを解除する

手順4でマークがついている動画・静止画をタッチして  マークを消します。

## 動画・静止画を選んで削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分のメモリーカードの容量を元に戻せます。



A : MENUボタン  
B : THUMBNAIL  (画像再生) ボタン  
C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 THUMBNAIL  (画像再生) ボタンを押す。
  - サムネイル画面が表示されます。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで  (編集) → [削除] を選ぶ。
- 4 削除する動画・静止画をタッチする。
  - 画像に  マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。  で選択画面に戻ります。
  - 1度に100個までの画像を選べます。
  - プロテクトされている画像にはサムネイルの右上に  が表示されます。
  - プロテクトされている画像にはチェックボックスは表示されません。
- 5  を押した後、画面の指示に従って  をタッチする。

### ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター、削除対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。

- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください。
- 大切な動画・静止画は、あらかじめパソコンなどに保存してください。

## ヒント

- メモリーカードに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します。

---

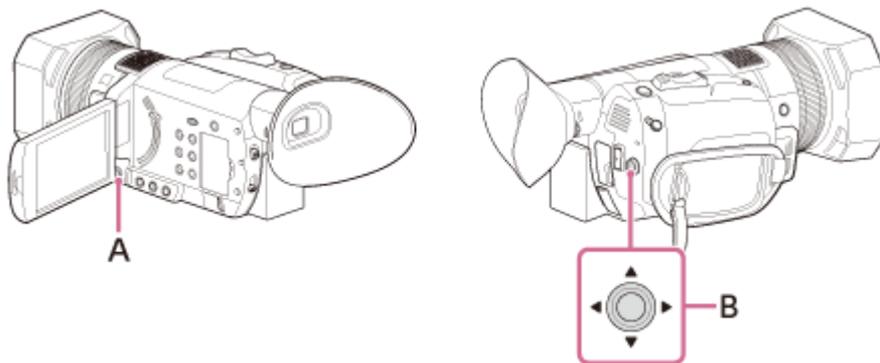
## 関連項目

- [動画・静止画を保護する（プロテクト）](#)
- [動画の保存方法](#)
- [メディア初期化](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

## 動画を分割する

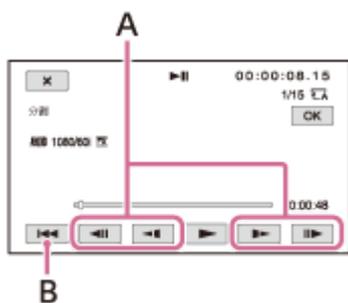
指定した場面で動画を分割できます。



A : MENUボタン

B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 動画の再生中にMENUボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで  (編集) → [分割] を選ぶ。
- 3 分割したい場面で  をタッチする。



A :  で場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする

B : 選んだ動画の先頭に戻る

- 4  →  をタッチする。

### ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター、分割対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、 で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。
- XAVC S動画は分割できません。

---

関連項目

- [動画を再生する](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 動画の保存方法

---

記録フォーマットごとの保存方法について説明します。  
動画をパソコンに保存する際はPlayMemories Homeをご使用ください。

### XAVC S 4K

保存方法：  
ソフトウェアPlayMemories Homeでパソコンに保存/ブルーレイディスクレコーダーに保存など（\*）  
保存フォーマット：  
XAVC S 4K

### XAVC S HD

保存方法：  
ソフトウェアPlayMemories Homeでパソコンに保存/ブルーレイディスクレコーダーに保存など（\*）  
保存フォーマット：  
XAVC S HD

### AVCHD

保存方法：  
ソフトウェアPlayMemories Homeでパソコンに保存/ブルーレイディスクレコーダーに保存など（\*）  
保存フォーマット：  
AVCHD

\* 最新の保存環境については、下記ウェブサイトをご確認ください。  
<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>

### ヒント

- AVケーブル（別売）とレコーダーをつないで保存することもできます。画質は標準画質になります。

---

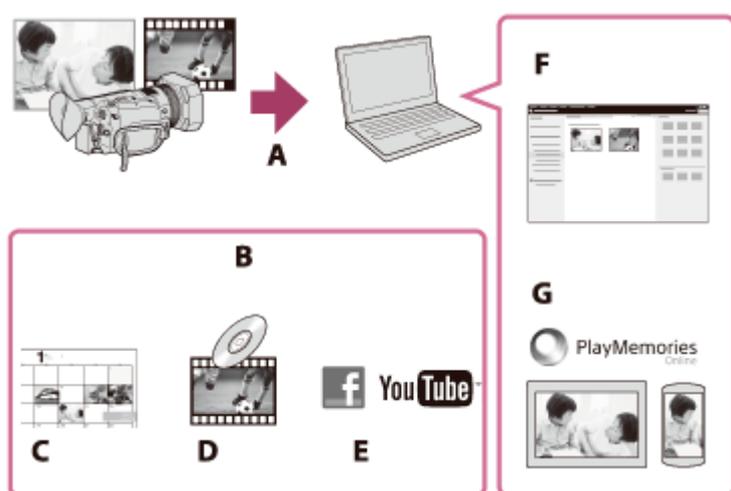
### 関連項目

- [PlayMemories Homeをインストールする](#)
- [ブルーレイディスクレコーダーで保存する](#)
- [レコーダーでディスクを作る](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## パソコンへ画像を取り込んで活用する (PlayMemories Home)

PlayMemories Homeを使うと、撮影した動画、静止画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。XAVC S動画、AVCHD動画をパソコンに取り込む場合はPlayMemories Homeが必要です。PlayMemories Homeを使用しないと、ファイルが正しく取り込まれない場合がありますのでご注意ください。



- A: 本機から画像をPCに取り込み
- B: Windowsは以下の機能も使えます。
- C: カレンダー表示
- D: 動画ディスクを作成
- E: ネットワークサービスにアップロード
- F: 取り込んだ画像を再生する
- G: PlayMemories Onlineで画像をシェア

### PlayMemories Homeをインストールする

PlayMemories Homeは、以下のURLよりインストールできます。  
<http://www.sony.net/pm/>

#### 関連項目

- [パソコンの推奨環境](#)
- [PlayMemories Homeをインストールする](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## パソコンの推奨環境

---

ソフトウェアのパソコン環境は以下のURLよりご確認ください。  
<http://www.sony.net/pcenv/>

## PlayMemories Homeをインストールする

パソコンにPlayMemories Homeをインストールして、撮影した画像を活用できます。

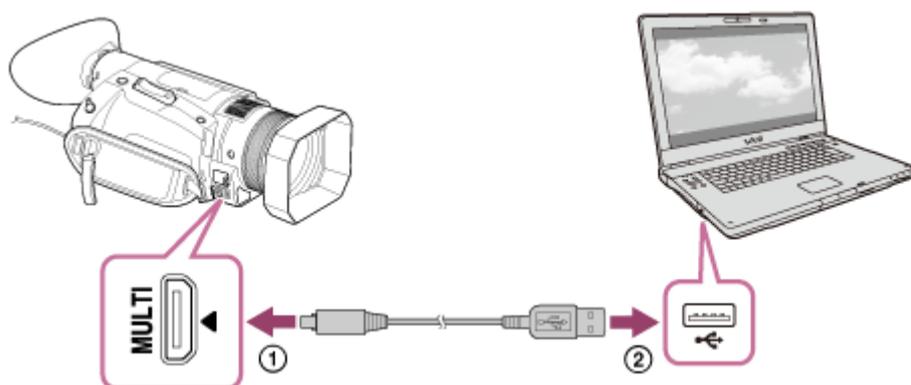
- 1 パソコンのインターネットブラウザで以下のダウンロードサイトにアクセスして、PlayMemories Homeをインストールする。

<http://www.sony.net/pm/>

- 画面の指示に従ってインストールを進めてください。
- インストールが完了すると、PlayMemories Homeが起動します。
- 2011年以前の機種に付属のソフトウェアPMB（Picture Motion Browser）がインストールされている場合、PlayMemories Homeが上書きインストールされます。PMBの後継ソフトウェアPlayMemories Homeをご使用ください。

- 2 本機とパソコンをマイクロUSBケーブルで接続する。

- PlayMemories Homeに機能が追加される場合があります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを一度接続してください。



- ①：マルチ/マイクロUSB端子と接続する  
②：パソコンのUSB端子と接続する

### ご注意

- パソコンにはコンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- パソコンの再起動が必要な場合があります。再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
- 使用環境によっては、DirectXが引き続きインストールされることがあります。

### ヒント

- PlayMemories Homeについて詳しくはPlayMemories Homeのヘルプ、またはPlayMemories Homeサポートページ (<http://www.sony.co.jp/pmh-sj/>) をご覧ください。



デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## パソコンとの接続を切断する

USB接続された本機とパソコンの接続を切断します。

- 1 タスクトレイの  をクリックし、  をクリックする。
- 2 表示されたメッセージをクリックする。
- 3 本機のモニターで  → [はい] を選んで、ケーブルを抜く。

### ご注意

- Mac使用時は、あらかじめメモリーカード、またはドライブのアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。
- Windows7、Windows8.1、Windows10使用時は、切断アイコンが出ない場合があります。その場合は上の手順は行わずに切断できます。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ブルーレイディスクを作るには

---

パソコンに取り込んだAVCHD動画から、ブルーレイディスクを作成できます。

作成するには専用のアドオンソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、以下のURLをご覧ください。

<http://support.d-imaging.sony.co.jp/BDUJ/>

- お使いのパソコンがブルーレイディスク作成に対応している必要があります。
- ディスクは、BD-R（書き換え不可）、BD-RE（書き換え可）が使えます。追加記録はできません。
- XAVC S動画はブルーレイディスクに保存できません。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

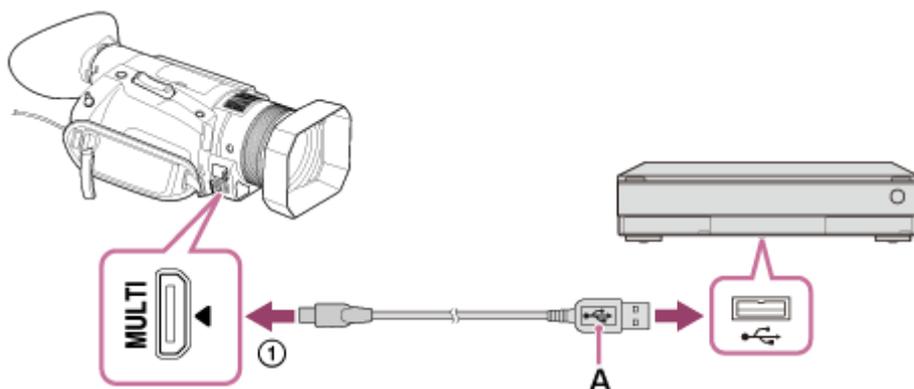
## ブルーレイディスクレコーダーで保存する

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにダビングしたり、ディスクを作成したりできます。

### ご注意

- ACアダプターを接続することをおすすめします。

- 1 本機にACアダプターを接続してから本機の電源を入れ、本機とブルーレイディスクレコーダーをUSBケーブルでつなぐ。



A: マイクロUSBケーブル（付属）

①: マルチ/マイクロUSB端子と接続する

- [USB接続] 画面が表示されます。  
[USB接続] 画面が表示されないときは、MENUボタン→（その他）→ [USB接続] を選んで表示させてください。

- 2 画像を取り込む。

- 具体的な取り込み方法に関してはブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

### ご注意

- お使いのブルーレイディスクレコーダーの機種によって、本機とUSBケーブルで接続して画像を取り込んだり、再生できない場合があります。詳しくは下記ホームページのサポート情報で他製品との接続情報をご確認ください。また、ブルーレイディスクレコーダーとの接続についても、下記ホームページのサポート情報をご覧ください。  
(<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>)
- ディスクに保存する方法については、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーによってボタンの有無、操作方法や使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーにUSB端子がないときは、AVケーブル（別売）で接続してください。

### 関連項目

- [コンセントの電源で使うには](#)



デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

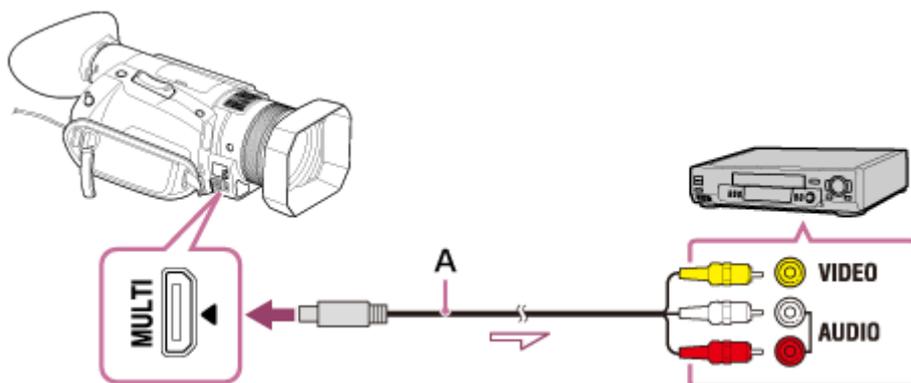
## レコーダーでディスクを作る

本機の画像を他のディスクやビデオカセットへコピーできます。本機をディスクレコーダーなどにAVケーブル（別売）でつなぎます。

### ご注意

- ACアダプターを本機に接続し、コンセントにつないでください。
- 相手機器の取扱説明書もご覧ください。

- 1 録画機器に記録用ディスクなどをセットする。
  - 入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。
- 2 本機と録画機器をAVケーブル（別売）でつなぐ。
  - 接続先機器の入力端子につないでください。



A: AVケーブル（別売）

- 3 本機で再生を始め、録画機器で録画を始める。
- 4 ダビングが終わったら、録画機器と本機を停止する。

### ご注意

- テレビなどの表示機器の画面サイズに合わせて、MENUボタン→（録画/出力設定）→ [ビデオ出力] → [ダウンコンバートタイプ] を設定してください。
- HDMIケーブルを使ってダビングはできません。
- アナログダビングのため、画質が劣化する場合があります。
- 標準画質でコピーされます。
- 他機がモノラル（ひとつの音声入力・出力）の場合は、AVケーブル（別売）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつないでください。

### ヒント

- つないだ機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、MENUボタン→（表示設定）→ [画面表示出力] → [パネル] を選びます。
- 日時やカメラデータをコピーしたいときは、日付/データ表示機能が割り当てられたASSIGNボタンを押して、お好みの表示に設定してください。さらに、MENUボタン→（表示設定）→ [画面表示出力] → [全出力] を選んでください。

---

#### 関連項目

- [コンセントの電源で使うには](#)
- [日付/データ表示](#)
- [ビデオ出力](#)
- [画面表示出力](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## PlayMemories Mobileについて

「スマートフォン操作」を行うにはスマートフォン対応アプリPlayMemories Mobileが必要です。お使いのスマートフォンのアプリケーションストアからインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。PlayMemories Mobileの詳細は、PlayMemories Mobileのサポートページ (<http://www.sony.net/pmm/>) をご覧ください。

### ご注意

- PlayMemories Mobileは、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。

### 関連項目

- [スマートフォン操作](#)

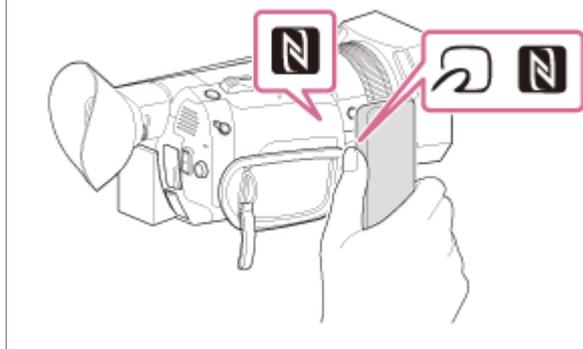
## NFC対応のAndroidスマートフォンやタブレットと接続する

NFC対応のAndroidスマートフォンやタブレットを使うと、簡単に本機と接続できます。

### ご注意

- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。

- 1 お使いのスマートフォンにPlayMemories Mobileをインストールする。
  - すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 2 本機を撮影画面にする。
  - 画面に **N** が表示されているときのみNFC機能を使用できます。
- 3 本機の **N** とスマートフォンの **N** または  をタッチして、接続する。
  - 本機の画面に **N** が表示されていることを確認してください。
  - スマートフォンでPlayMemories Mobileが起動するまで（1～2秒）動かさずにタッチし続けてください。



本機が撮影モードのとき  
[スマートフォン操作] が起動する。

### ご注意

- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- NFC（Near Field Communication）は近距離無線通信技術の国際標準規格です。
- NFCでうまく接続できない場合は「[Androidスマートフォンやタブレットと接続する（SSID/PWを入力する場合）](#)」の方法で接続してください。

### ヒント

- 一部の  がついたスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

### 関連項目

- [PlayMemories Mobileについて](#)

- Androidスマートフォンやタブレットと接続する（SSID/PWを入力する場合）
- スマートフォンやタブレットをリモコンとして使う
- スマートフォン操作

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

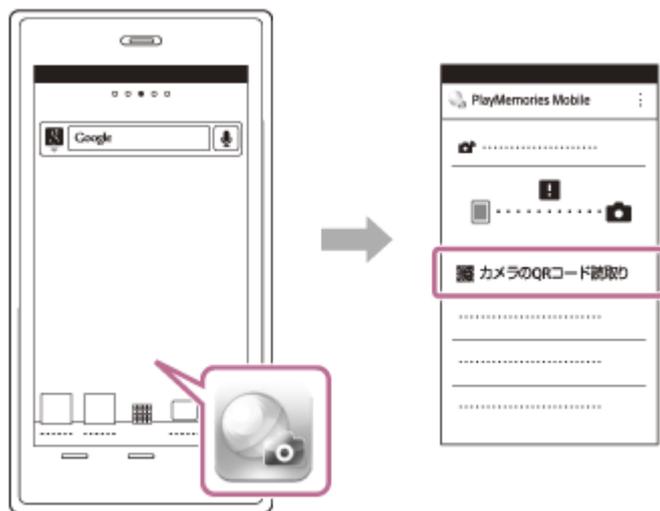
## QRコードを使ってスマートフォンやタブレットと接続する

スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取って簡単に本機と接続できます。

- 1 お使いのスマートフォンにPlayMemories Mobileをインストールする。
  - すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 2 MENUボタン →  (ネットワーク設定) → [スマートフォン操作] を選ぶ。
  - QRコード、SSID、パスワード、機器名称が表示されます。



- 3 PlayMemories Mobileを起動して、[カメラのQRコード読み取り] を選ぶ。



- 4 [OK] を選ぶ (メッセージが表示されたら再度 [OK] を選ぶ)。



5 本機のディスプレイに表示されているQRコードをスマートフォンで読み取る。

Androidのとき

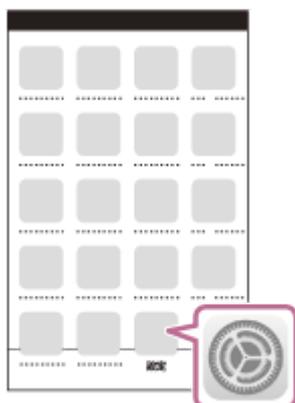
- 「カメラと接続しますか?」と表示されたら [接続] を選ぶ。

iPhone/iPadのとき

- 画面の指示に従ってプロファイル（設定情報）をインストールする。



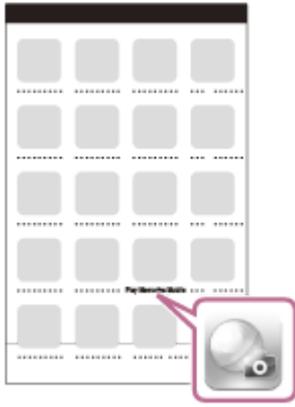
- ホームで [設定] → [Wi-Fi] を選ぶ。



- SSIDを選ぶ。



- ホームに戻り、PlayMemories Mobileを起動する。



### ご注意

- NFCやQRコードを使ってもスマートフォンとカメラを接続できない場合は、SSIDとパスワードを使って接続してください。

### ヒント

- QRコードを読み込むと、カメラのSSID（DIRECT-xxxx）とパスワードがスマートフォンに登録され、2回目以降のWi-Fi接続時にSSIDを選ぶだけでカメラとスマートフォンを接続できるようになります。

---

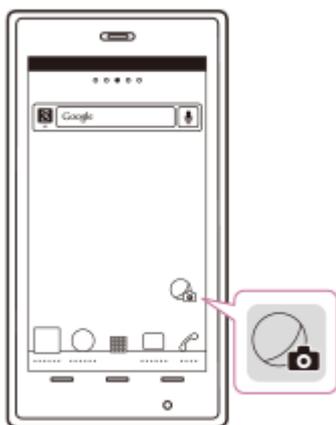
### 関連項目

- [Androidスマートフォンやタブレットと接続する（SSID/PWを入力する場合）](#)
- [iPhoneやiPadと接続する（SSID/PWを入力する場合）](#)
- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [スマートフォンやタブレットをリモコンとして使う](#)
- [スマートフォン操作](#)

## Androidスマートフォンやタブレットと接続する（SSID/PWを入力する場合）

Androidスマートフォンやタブレットと接続する方法を説明します。本機の [スマートフォン操作] でSSIDとパスワードを表示しておいてください。

- 1 PlayMemories Mobileを起動する。



- 2 本機に表示されているSSID（機器名称）をスマートフォンで選ぶ。



- 3 本機に表示されているパスワードをスマートフォンで入力する。



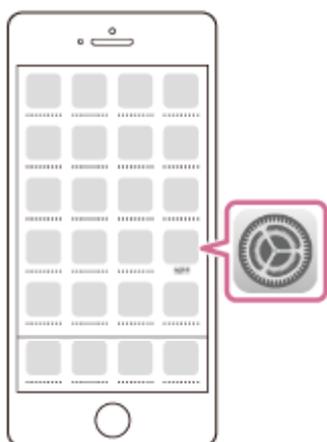
- PlayMemories Mobileについて
- スマートフォンやタブレットをリモコンとして使う
- スマートフォン操作

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

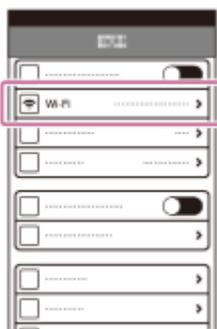
## iPhoneやiPadと接続する（SSID/PWを入力する場合）

iPhoneやiPadと接続する方法を説明します。本機の［スマートフォン操作］でSSIDとパスワードを表示しておいてください。

- 1 iPhoneの［設定］を起動する。



- 2 Wi-Fiの項目を選択する。



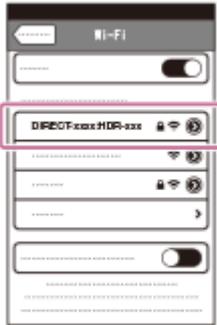
- 3 本機に表示されているSSID（機器名称）をiPhoneで選ぶ。



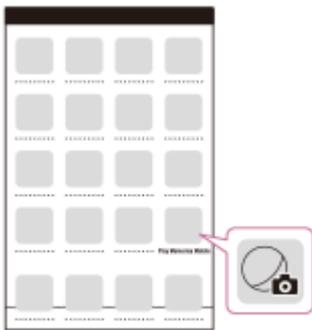
- 4 本機に表示されているパスワードをiPhoneで入力する。



- 5 本機に表示されているSSIDに接続したことを確認する。



- 6 ホームに戻り、PlayMemories Mobileを起動する。



#### 関連項目

- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [スマートフォンやタブレットをリモコンとして使う](#)
- [スマートフォン操作](#)

## スマートフォンやタブレットをリモコンとして使う

お使いのスマートフォンやタブレットをリモコンとして本機を操作します。

- 1 お使いのスマートフォンにPlayMemories Mobileをインストールする。
  - すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 2 MENUボタン →  (ネットワーク設定) → [スマートフォン操作] を選ぶ。
  - QRコード、SSID、パスワード、機器名称が表示され、本機がスマートフォンから接続できる状態になります。



- 3 PlayMemories Mobileを起動して、[カメラのQRコード読取り] → [OK] → [OK] →スマートフォンもしくはタブレットでQRコードを読み取る。
  - スマートフォンを操作して本機に接続します。
  - 接続方法の詳細はお使いのスマートフォンで接続可能な方法をページ最後の関連項目から選んでご覧ください。
- 4 スマートフォンで本機を操作する。

### ご注意

- 動画や静止画は本機に記録され、スマートフォンには保存されません。
- アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。
- このアプリケーションは、すべてのスマートフォン・タブレットで動作を保証するものではありません。

### ヒント

- 最新の対応OSについては、PlayMemories Mobileのダウンロードページでご確認ください。

### 関連項目

- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [NFC対応のAndroidスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [QRコードを使ってスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [Androidスマートフォンやタブレットと接続する \(SSID/PWを入力する場合\)](#)
- [iPhoneやiPadと接続する \(SSID/PWを入力する場合\)](#)
- [スマートフォン操作](#)



デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

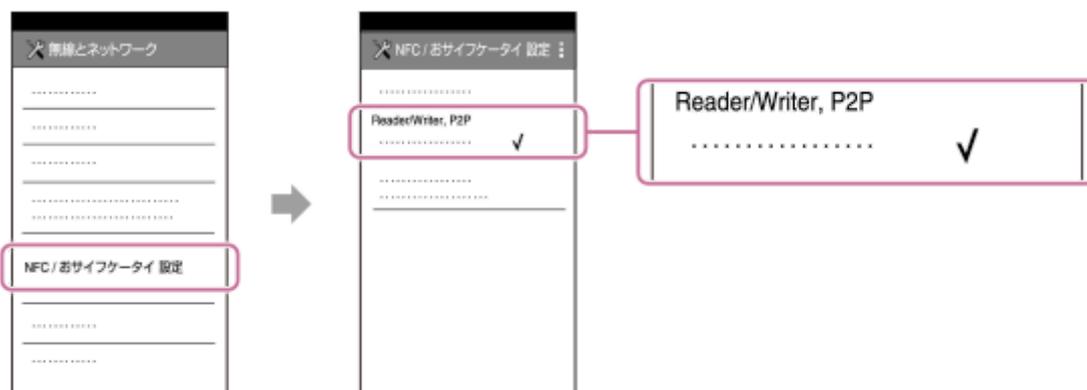
## NFCを使ってスマートフォンやタブレットをリモコンとして使う（NFCワンタッチリモート対応）

NFC対応のスマートフォンやタブレットをリモコンとして本機を操作します。

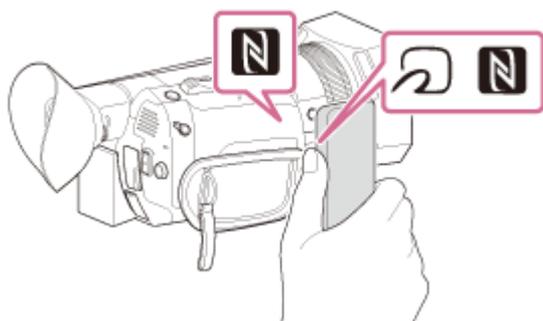
### ご注意

- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。

- 1 お使いのスマートフォンにPlayMemories Mobileをインストールする。
  - すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 2 スマートフォンの「設定」を起動して、「その他の設定」を選び、「NFC/おサイフケータイ設定」の「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる。



- 3 本機を撮影モードにして、本機の **N** とスマートフォンの **N** または **📲** をタッチする。



- カメラの画面に **N** が表示されていることを確認してください。
- スマートフォンでPlayMemories Mobileが起動するまで（1～2秒）動かさずにタッチし続けてください。

- 4 スマートフォンで本機を操作する。

### ご注意

- 動画や静止画は本機に記録され、スマートフォンには保存されません。
- アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。

- このアプリケーションは、すべてのスマートフォン・タブレットで動作を保証するものではありません。
- NFCでうまく接続できない場合は「[Androidスマートフォンやタブレットと接続する（SSID/PWを入力する場合）](#)」で接続してください。

## ヒント

- 最新の対応OSについては、PlayMemories Mobileのダウンロードページでご確認ください。
- 一部のがついたスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

---

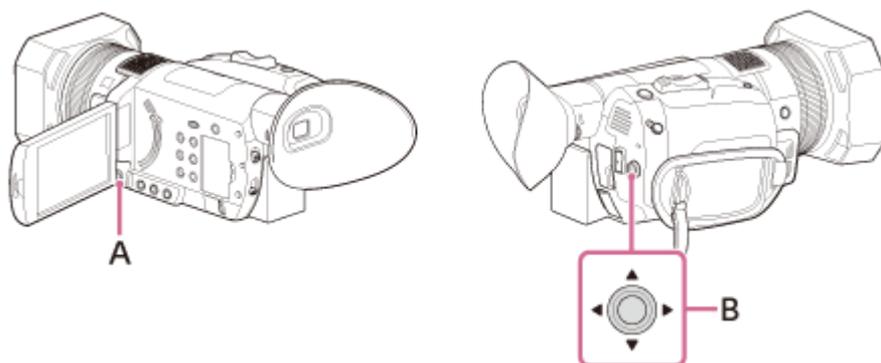
## 関連項目

- [PlayMemories Mobileについて](#)
- [NFC対応のAndroidスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [QRコードを使ってスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [Androidスマートフォンやタブレットと接続する（SSID/PWを入力する場合）](#)
- [スマートフォン操作](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## メニューを使う

画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。  
本機のメニューは大きく8つのカテゴリーに分類されており、その下にさまざまなメニュー項目があります。



A : MENU ボタン

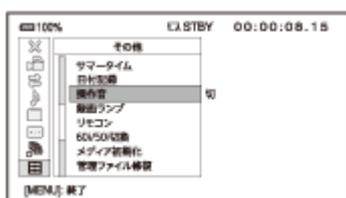
B : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 MENUボタンを押す。
  - メニュー画面が表示されます。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押してメニューアイコンを選び、押して決定する。

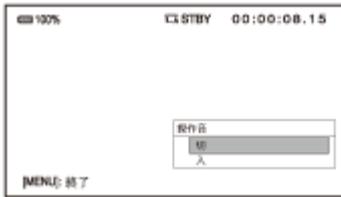


- カメラ設定 (撮影時のみ表示されます)
- 録画/出力設定
- 音声設定
- 表示設定
- 00:00 TC/UB 設定
- ネットワーク設定
- その他
- 編集
  - [編集]メニューは、サムネイル画面や、再生画面でMENUボタンを押すと表示されます。

- 3 ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して設定する項目を選び、押して決定する。



- ▲/▼/◀/▶/SETボタンを押して希望の設定を選び、押して決定する。



5 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

- [戻る] を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

#### ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- 撮影モード（動画モード、静止画モード）によって表示される項目が変わります。
- 他のメニューの設定状況によって選べない状態にある項目や設定値はグレー表示されます。

#### ヒント

- ASSIGNボタンにMENUボタンの機能を割り当てることができます。

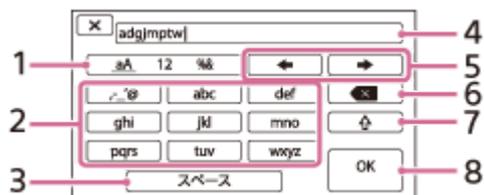
#### 関連項目

- [キーボードの使いかた](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## キーボードの使いかた

手動で文字入力が必要な場合は、キーボード画面が表示されます。



1. 文字種切り換え  
タッチするたびに、アルファベット/数字/記号に切り換わります。
2. キーボード  
タッチするたびに、表示されている文字が順番に表示されます。  
例：「abd」と入力したい場合  
「abc」のキーを1度タッチして「a」を表示→をタッチ→「abc」のキーを2度タッチして「b」を表示  
→「def」のキーを1度タッチして「d」を表示する。
3. スペース  
空白をあけます。
4. 入力ボックス  
入力した文字が表示されます。◀は文字数制限を表しています。
5. カーソル移動  
入力ボックス内のカーソルを左右に移動します。
6. 削除  
カーソルの直前の文字を削除します。
7.   
アルファベットの大文字/小文字を切り換えます。
8. 確定  
入力内容を確定します。

途中で入力をやめる場合は、を選んでください。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ISO/ゲイン切換

ISO/GAINボタンを押してISO感度やゲインを手動で調整するときに、ISO感度/ゲインの表示を切り換えます（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [ISO/ゲイン切換] を選ぶ。

### メニューの詳細

ISO :  
ISO感度を調整する。

ゲイン :  
ゲインを調整する。

#### ご注意

- ISO感度とゲインは別々の値で個別に保存されます。
- 静止画撮影モード中は表示されません。静止画撮影モード中にISO/GAINボタンを押した場合は、ISO感度のみ調整できます。

### 関連項目

- [ゲインを調節する](#)
- [ISO感度を調節する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## オートISOリミット

ISO感度自動調整時の上限値を設定します。

静止画撮影モード時にはISOのみ表示されます。

動画撮影モード時には [ISO/ゲイン切換] を [ISO] に設定すると、動画でもオートISOリミットを設定できます。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [オートISOリミット] を選ぶ。

### メニューの詳細

切、ISO200～ISO4000 :

ISO感度の上限値を選ぶ。

[切] にすると、上限値は設定されません。

#### ご注意

- ISO感度を手動調節していると効果はありません。
- ピクチャープロファイル1～10を選んだ場合、 [PICTURE PROFILE] の [ガンマ] の設定によって、オートISOリミットの範囲は以下のようになります。
  - スタンダード : ISO200～ISO4000
  - STILL : ISO200～ISO5000
  - CINE1 : ISO250～ISO5000
  - CINE2 : ISO200～ISO4000
  - CINE3 : ISO320～ISO6400
  - CINE4 : ISO400～ISO8000
  - ITU709 : ISO200～ISO4000
  - ITU709(800%) : ISO1600～ISO32000
  - S-LOG2 : ISO1600～ISO32000
  - S-LOG3 : ISO1600～ISO32000
  - HLG : ISO400～ISO8000
  - HLG1 : ISO200～ISO4000
  - HLG2 : ISO320～ISO6400
  - HLG3 : ISO400～ISO8000

### 関連項目

- [ISO感度を調節する](#)
- [ISO/ゲイン切換](#)
- [あらかじめ設定した画質で撮る \(ピクチャープロファイル\)](#)
- [ピクチャープロファイルの内容を変更する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## AGCリミット

AGC（オートゲインコントロール）の上限値を設定します。

AGCリミットは動画撮影モードでのみ表示されます。

動画撮影モードの場合、[ISO/ゲイン切換]でゲイン表示時には[AGCリミット]設定が表示され、ISO表示時は[オートISOリミット]設定が表示されます。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [AGCリミット] を選ぶ。

### メニューの詳細

切、24dB～0dB（3dB単位）：

AGCの上限値を選ぶ。

[切] にすると、上限値は設定されません。

#### ご注意

- ゲインを手動調節していると効果はありません。

### 関連項目

- [ゲインを調節する](#)
- [ISO/ゲイン切換](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## WBプリセット

ホワイトバランス設定時に選ぶことができるプリセットの設定をします。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [WBプリセット] を選ぶ。

### メニューの詳細

屋外：

- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下

[WB屋外レベル] でオフセットレベルを調節することができます。

屋内：

- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下
- ナトリウムランプや水銀灯の下

WB色温度：

[WB色温度設定] で選んだ色温度に設定する。  
2300K～15000Kの範囲でお好みの色温度を設定できます（お買い上げ時の設定は6500K）。

### ヒント

- WHITE BALANCEボタンでも切り換えることができます。
- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）](#)
- [メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させる](#)
- [WB屋外レベル](#)
- [WB色温度設定](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## WB屋外レベル

---

[WBプリセット] が [屋外] のときのオフセット量を設定します。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [WB屋外レベル] を選ぶ。

### メニューの詳細

-7~0~+7 :  
青め~標準~赤め

---

### 関連項目

- [自然な色合いに調節する \(ホワイトバランス\)](#)
- [WBプリセット](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## WB色温度設定

---

[WBプリセット] が [WB色温度] のときの色温度の値を設定します。  
色温度とは、太陽光や人工的な照明など、光源が発する光の色を表す尺度で、単位はケルビン（K）です。光源の温度や明るさには関係なく、色温度の単位（K）が低いほど暖色系の色、高いほど寒色系の色になります。なお太陽光は5000～6000Kになります。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [WB色温度設定] を選ぶ。

### メニューの詳細

2300K～15000K（100K単位）：  
色温度の値を選ぶ。

---

### 関連項目

- [自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）](#)
- [WBプリセット](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## WB SET

ホワイトバランス設定のメモリーAまたはBにホワイトバランスの調整値を記憶できます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

- 1 ホワイトバランス設定中に、マニュアルダイヤルを回して  Aまたは  Bを選び、MENUボタン →  (カメラ設定) → [WB SET] を選ぶ。
- 2 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱいに映す。
- 3 SETボタンを押す。  
 Aまたは  Bに調整値が記憶されます。取り込まれた色温度が3秒ほど表示されます。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [自然な色合いに調節する \(ホワイトバランス\)](#)
- [WBプリセット](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## AEシフト

露出をお好みに合わせて調節できます。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [AEシフト] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

入/切：

AEシフト機能の入/切を設定する。

- 入：設定した数値が表示される（例：-2.0EV）。
- 切：AEシフト機能を使わない。

レベル：

▲/▼/◀/▶/SETボタンで明るさを調節する。

- -2.0EV～0EV～+2.0EV： 暗い～標準～明るい

### ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ゲインのすべてを手動調節していると効果はありません。

### ヒント

- [入/切] をASSIGNボタンに割り当てることができます。
- 撮影待機画面から ▲/▼/◀/▶/SETボタンを使って直接設定変更することもできます（ダイレクトメニュー）。

### 関連項目

- [アイリスを調節する](#)
- [ゲインを調節する](#)
- [ISO感度を調節する](#)
- [シャッタースピードを調節する](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)
- [ダイレクトメニューで撮影時の調整を行う](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## デジタルエクステンダー

---

2倍に拡大して撮影します（XAVC S HD/AVCHD動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [デジタルエクステンダー] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
拡大しない。

入：  
2倍に拡大する

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

---

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ズーム設定

ズームレバー操作時の動作について設定します。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [ズーム設定] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

ズームタイプ：  
ズームのタイプを選ぶ。

- 光学ズームのみ：光学ズームのみ使用できる。  
12倍までズームできます。
- 入 [全画素超解像ズーム]：光学ズームに加え、全画素超解像ズームも使用できる。  
AVCHD、XAVC S HDの場合は光学ズーム12倍を含む24倍まで、XAVC S 4Kの場合は光学ズーム12倍を含む18倍までズームできます。
- 入 [デジタルズーム]：光学ズーム、全画素超解像ズームに加え、デジタルズームも使用できる。  
 が表示されている範囲は画質が劣化しますが、最大192倍までズームできます。

### 高速ズーム駆動：

ズームレバーのズーム駆動速度を速くするかを設定する。

- 切：高速ズーム駆動を使わない。
- 入：高速ズーム駆動を使う。

### ご注意

- 高速ズーム駆動を「入」に設定すると、ズームの駆動音が動画に記録されることがあります。
- デジタルズーム中は、以下の機能が無効になります。
  - 顔検出
  - フォーカスエリア
  - ロックオンAF

### ヒント

- 全画素超解像ズームとは、画質の劣化が少ない画像ズーム機能です。

### 関連項目

- [ズームレバーでズームする](#)
- [マニュアルレンズリングでズームする](#)
- [顔検出](#)
- [フォーカスエリア](#)
- [選んだ被写体を追尾してフォーカスを調節する \(ロックオンAF\)](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 手ブレ補正（動画）

手ブレを補正して動画を撮影できます。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） →  手ブレ補正 を選ぶ。

### メニューの詳細

スタンダード（）：  
比較的安定した状態での撮影時、手ブレ補正機能を使う。

アクティブ（）：  
強い手ブレ補正効果を得る。

切（）：  
手ブレ補正機能を使わない。  
三脚使用時は [切] にすることをおすすめします。

### ご注意

- [アクティブ] 設定時は、画角が1.08倍テレシフトします。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 手ブレ補正（静止画）

手ブレを補正して静止画を撮影できます。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [手ブレ補正] を選ぶ。

### メニューの詳細

入（）：  
手ブレ補正機能を使う。

切（）：  
手ブレ補正機能を使わない。  
三脚使用時は「切」にすることをおすすめします。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

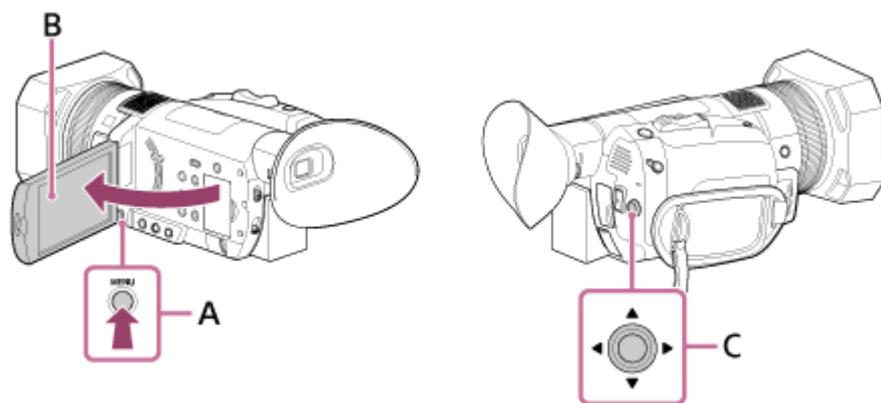
### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## フォーカスエリア

フォーカスが自動のときに、ピント合わせの位置を変更します（動画撮影モードのみ）。  
あらかじめ構図や被写体の動く範囲が決まっている場合や意図した被写体にピントが合いにくいときなどに使います。



A : MENUボタン  
B : モニター  
C : ▲/▼/◀/▶/SETボタン

- 1 MENUボタンを押す。
- 2 ▲/▼/◀/▶/SETボタンで、（カメラ設定）→ [フォーカスエリア] を選ぶ。

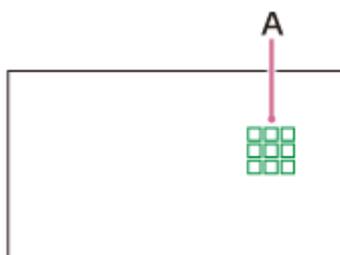
### メニューの詳細

ワイド :

モニター全体を基準に、自動ピント合わせをする。

位相差AF枠が表示されているときは、タッチでピントを合わせたい被写体を指定することができます。

- タッチ操作ができるのは、[ロックオンAF] が [切] の場合のみです。
- [顔検出] が [入] の場合はフォーカスエリア枠が表示されず、タッチ操作ができません。



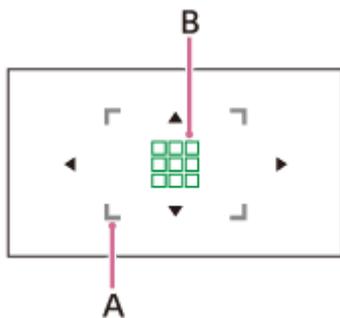
A : 位相差AF枠

ピントを合わせようとしているエリアが白色の枠で表示され、ピントが合うと緑色になります。

ゾーン :

エリア選択画面が表示されるので、タッチもしくは ▲/▼/◀/▶/SETボタンでピントを合わせたいゾーンの位置を選ぶと、その中で自動でピントを合わせる。

ゾーンは上下左右それぞれ3段階（9マス）に分けられています。



A : フォーカスエリア

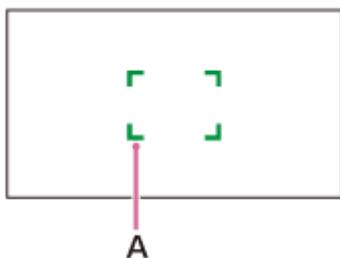
オートフォーカスが動作する範囲を示しています。

B : 位相差AF枠

ピントを合わせようとしているエリアが白色の枠で表示され、ピントが合うと緑色になります。

中央 :

モニター中央付近の被写体に自動ピント合わせをする。



A : フォーカス枠

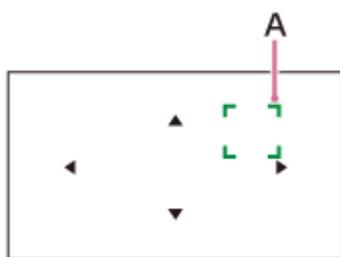
オートフォーカスが動作する範囲を示しています。

ピントを合わせようとしている場合はフォーカス枠が灰色の枠で表示され、ピントが合うと緑色の枠で表示されます。

フレキシブルスポット :

エリア選択画面が表示されるので、タッチもしくは▲/▼/◀/▶/SETボタンで好きなところにフォーカス枠を移動して自動でピントを合わせる。

小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせることができます。



A : フォーカス枠

オートフォーカスが動作する範囲を示しています。

ピントを合わせようとしている場合はフォーカス枠が灰色の枠で表示され、ピントが合うと緑色の枠で表示されます。

### ご注意

- 以下の場合、【フォーカスエリア】は【ワイド】に固定されます。
  - 全画素超解像度ズーム時、デジタルズーム時
  - 【オートモード設定】が【インテリジェントオート】または【シーンセレクション】設定時
  - ロックオンAF時
- SUPER SLOW MOTION撮影時は【フォーカスエリア】設定は無効になります。
- 光学ズーム以外のズーム使用時は、【フォーカスエリア】の設定は無効になり、フォーカスエリア枠は点線で表示されます。

### ヒント

- 動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせの速度を選べます。

- 動画撮影時、オートフォーカスの追従感度を選べます。
- [フォーカスエリア] は、ASSIGNボタンに割り当てることができます。
- [フォーカス位置] をASSIGNボタンに割り当てると、[フォーカスエリア] が [ゾーン] か [フレキシブルスポット] の場合は、ASSIGNボタンを押すだけでエリア選択画面を直接表示することができます。
- 位相差AFエリアや位相差AF枠の表示を入/切できます。

---

#### 関連項目

- [自動でフォーカスを調整する](#)
- [位相差AFについて](#)
- [AF駆動速度](#)
- [AF被写体追従設定](#)
- [位相差AF枠表示](#)
- [位相差AFエリア表示](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## AF駆動速度

動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせの速度を選べます。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [AF駆動速度] を選ぶ。

### メニューの詳細

1 (低速) ~ 7 (高速) :

オートフォーカスの駆動速度を設定する。

低速にするとフォーカスの過剰な移動を低減します。被写体の移り変わり時になめらかにピント送りし、印象的な映像表現が可能です。動きがほぼ一定、またはあまり動きのないシーンの撮影に効果的です。

高速にすると素早いAFが可能になり、動きの速い被写体を撮影するときにピントを合わせ続けます。スポーツの撮影など動きの速い被写体の撮影を行うときに効果的です。数値を大きく設定すると、ピントの追従がより素早くなります。

### ご注意

- 以下の機能を使用中、AF駆動速度設定は使用できません。
  - [NIGHTSHOT] が [入] のとき
  - [記録方式] が [XAVC S HD] で [録画フォーマット] が 120p/100p のとき
  - [S&Q MOTION] で [ハイフレームレート] を選択している場合
- SUPER SLOW MOTION撮影時はオートフォーカス機能が使えません。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

## AF被写体追従設定

動画撮影時、オートフォーカスの追従範囲や乗り移り感度を設定できます。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [AF被写体追従設定] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

#### AF追従範囲[奥行] :

奥行き方向への被写体を追従する範囲を設定する。

- 1 [狭い] ~5 [広い] : 奥行き方向に動きの大きな被写体を撮影するときは広く、動きの少ない被写体を撮影するときは狭く設定する。  
広く設定すると、撮影者からの距離が異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。設定を大きくすると異なる被写体により素早く反応します。  
狭く設定すると、撮影したい被写体の前を別の被写体が横切るような条件下で、希望の被写体にピントを合わせ続けることができます。狙った被写体を撮り続けるときなどに効果的です。

#### AF乗り移り感度 :

被写体が切り換わった場合や、フォーカスエリア外に外れて追従できなくなったときに、別の被写体にフォーカスを切り換える時間を設定する。

- 1 [粘る] ~5 [敏感] : 1つの被写体だけを撮影したいときは粘る側に、複数の被写体を撮影したいときは敏感側に設定する。  
敏感側に設定すると、被写体が切り換わったときに、他の被写体に次々にピントを合わせることができます。設定値を大きくすると、より素早く別の被写体に反応します。  
粘る側に設定すると、被写体を見失ってフォーカスエリアを外れることがあっても敏感に反応しないため、希望の被写体にピントを合わせ続けることができます。狙った被写体を撮り続けるときなどに効果的です。

### AF追従範囲[奥行]/AF乗り移り感度の設定例

- 鉄道/レース  
手前には何も存在せず、動きが規則的でスピードがある被写体を追従したいとき。  
AF追従範囲[奥行] : 4/AF乗り移り感度 : 5
- スポーツ/野生動物  
速くて不規則な動きの特定の被写体を粘り強く追いつけたいとき。  
AF追従範囲[奥行] : 4/AF乗り移り感度 : 2
- 風景/マクロ撮影  
被写体の動きは少ないがシーンチェンジが多く、次々テンポよく合わせたいとき。  
AF追従範囲[奥行] : 1/AF乗り移り感度 : 5
- パーティー/祭り  
手前に主要被写体でない人物が映っている場合や、動きの速くない、特定の被写体を粘り強く追いつけたいとき。  
AF追従範囲[奥行] : 1/AF乗り移り感度 : 1

### ご注意

- 以下の機能を使用中、AF被写体追従感度は使用できません。
  - [NIGHTSHOT] が [入] のとき
  - [記録方式] が [XAVC S HD] で [録画フォーマット] が 120p/100p のとき
  - [S&Q MOTION] で [ハイフレームレート] を選択している場合
- SUPER SLOW MOTION撮影時はオートフォーカス機能が使えません。

## ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

---

## 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ロックオンAF

---

画面をタッチして選んだ被写体を追尾して、フォーカスが調節されます。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [ロックオンAF] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：

ロックオンAF機能を無効にする。

入：

ロックオンAF機能を有効にする。

---

### 関連項目

- [選んだ被写体を追尾してフォーカスを調節する \(ロックオンAF\)](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 顔検出

---

人物の顔を検出して、その顔にピントを合わせられます。  
フォーカスが自動のときに使用できます。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [顔検出] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
顔検出を行わない。

入：  
顔検出を行う。  
顔を検出すると、枠が表示されます。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

---

### 関連項目

- [検出した顔にピントを合わせる \(顔検出\)](#)
- [自動でフォーカスを調整する](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## SLOW & QUI CK (S&Q MO TION)

再生フレームレートと異なるフレームレートで撮影することによって、通常で撮影した映像を低速再生、高速再生する場合よりも、滑らかなスローモーション、クイックモーション映像が得られます（XAVC S HD、XAVC S 4Kのみ）。

（その他）→ [60i/50i切換] の設定によって選べる設定値が変わります。

① MENUボタン → （カメラ設定）→ [SLOW & QUI CK] → [S&Q MO TION] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

実行：

スロー&クイック撮影画面を表示する。

ハイフレームレート：

60fpsより早い高速撮影方式を設定する（XAVC S HDのみ）。

設定によって [録画フォーマット]、[フレームレート] の設定値が変わります。

- 切：高速撮影を行わない。
- 入：高速撮影を行う。

録画フォーマット：

スロー&クイック撮影時の録画フォーマット（ビットレート、画サイズ、スキャン方式）を設定する。

[60i] を選んでいるとき：

- （録画/出力設定）→ [録画設定] → [記録方式] で [XAVC S 4K] を選んだ場合  
2160/30p 100Mbps、2160/30p 60Mbps、2160/24p 100Mbps、2160/24p 60Mbps
- （録画/出力設定）→ [録画設定] → [記録方式] で [XAVC S HD] を選んだ場合
  - [ハイフレームレート] が [切] のとき：1080/60p 50Mbps、1080/30p 50Mbps、1080/24p 50Mbps
  - [ハイフレームレート] が [入] のとき：1080/60p 50Mbps、1080/30p 25Mbps、1080/24p 25Mbps

[50i] を選んでいるとき：

- （録画/出力設定）→ [録画設定] → [記録方式] で [XAVC S 4K] を選んだ場合  
2160/25p 100Mbps、2160/25p 60Mbps
- （録画/出力設定）→ [録画設定] → [記録方式] で [XAVC S HD] を選んだ場合
  - [ハイフレームレート] が [切] のとき：1080/50p 50Mbps、1080/25p 50Mbps
  - [ハイフレームレート] が [入] のとき：1080/50p 50Mbps、1080/25p 25Mbps

フレームレート：  
スロー&クイック撮影時のフレームレートを設定する。

[60i] を選んでいるとき：

- [ハイフレームレート] が [切] のとき：1fps、2fps、4fps、8fps、15fps、30fps、60fps
- [ハイフレームレート] が [入] のとき：120fps

[50i] を選んでいるとき：

- [ハイフレームレート] が [切] のとき：1fps、2fps、3fps、6fps、12fps、25fps、50fps
- [ハイフレームレート] が [入] のとき：100fps

### ヒント

- [記録方式] がXAVC S 4Kの場合は、60fps/50fpsは選択できません。
- [記録方式] がXAVC S 4Kの場合は、[ハイフレームレート] は [切] になります。
- ASSIGN1/S&Qボタンでも設定することができます。
- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

スロー&クイックモーション時の [録画フォーマット] と [フレームレート] の設定による再生速度について

録画フォーマットとフレームレートの設定によって、再生速度は以下のようになります。

 (その他) → [60i/50i 切換] の設定によって再生速度が変わります。

-  (録画/出力設定) → [録画設定] → [記録方式] で [XAVC S 4K] を選んだ場合

[60i] が選ばれているとき

フレームレート	録画フォーマット	
	2160/24p	2160/30p
30fps	80%スロー	100% (標準)
15fps	160%クイック	200%クイック
8fps	300%クイック	375%クイック
4fps	600%クイック	750%クイック
2fps	1,200%クイック	1,500%クイック
1fps	2,400%クイック	3,000%クイック

[50i] が選ばれているとき

フレームレート	録画フォーマット
	2160/25p
50fps	50%スロー

25fps	100% (標準)
12fps	208%クイック
6fps	417%クイック
3fps	833%クイック
2fps	1,250%クイック
1fps	2,500%クイック

-  (録画/出力設定) → [録画設定] → [記録方式] で [XAVC S HD] を選んだ場合 [60i] が選ばれているとき

フレームレート	録画フォーマット		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
120fps	20%スロー	25%スロー	50%スロー
60fps	40%スロー	50%スロー	100% (標準)
30fps	80%スロー	100% (標準)	200%クイック
15fps	160%クイック	200%クイック	400%クイック
8fps	300%クイック	375%クイック	750%クイック
4fps	600%クイック	750%クイック	1,500%クイック
2fps	1,200%クイック	1,500%クイック	3,000%クイック
1fps	2,400%クイック	3,000%クイック	6,000%クイック

[50i] が選ばれているとき

フレームレート	録画フォーマット	
	1080/25p	1080/50p
100fps	25%スロー	50%スロー
50fps	50%スロー	100% (標準)
25fps	100% (標準)	200%クイック
12fps	208%クイック	417%クイック
6fps	417%クイック	833%クイック
3fps	833%クイック	1,667%クイック
2fps	1,250%クイック	2,500%クイック
1fps	2,500%クイック	5,000%クイック

---

---

#### 関連項目

- [スロー&クイックモーションで撮影する](#)
- [スーパースローモーションで撮影する](#)
- [SLOW & QUICK \(SUPER SLOW MOTION\)](#)
- [録画設定](#)
- [60i/50i切換](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## SLOW & QUI CK (SUPER SLOW MOTION)

S&Q MOTIONよりもよりスローな動画を撮影することができます。  
スーパースローモーション撮影は [XAVC S HD] のみに対応しています。  
☰ (その他) → [60i/50i切換] の設定によって選べる設定値が変わります。

- 1 MENUボタン →  (カメラ設定) → [SLOW & QUI CK] → [SUPER SLOW MOTION] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

実行：  
スーパースローモーション撮影画面を表示する。

録画フォーマット：  
スーパースローモーション撮影時の録画フォーマット (ビットレート、画サイズ、スキャン方式) を設定する。

[60i] を選んでいるとき：

- 1080/60p 50Mbps、1080/30p 50Mbps、1080/24p 50Mbps

[50i] を選んでいるとき：

- 1080/50p 50Mbps、1080/25p 50Mbps

フレームレート：  
スーパースローモーション撮影時のフレームレートを設定する。

[60i] を選んでいるとき：

- 240fps、480fps、960fps

[50i] を選んでいるとき：

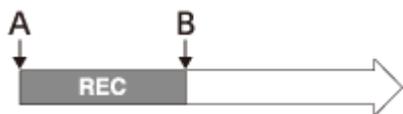
- 250fps、500fps、1000fps

録画タイミング：  
START/STOPボタンを押したときに録画するタイミングを選ぶ。

- スタートトリガー  
SUPER SLOW MOTION撮影画面表示後、START/STOPボタンを押すと撮影を開始/停止する。



- エンドトリガー  
SUPER SLOW MOTION撮影画面表示後、すぐに撮影を開始し、STAT/STOPボタンを押すと停止する。



- エンドトリガー ハーフ  
エンドトリガーと同じ操作で、録画時間が半分になる。



A : SUPER SLOW MOTION設定画面で [実行] を選ぶ  
 B : START/STOPボタンを押す  
 REC : 録画中

### ヒント

- ASSIGN1/S&Qボタンでも設定することができます。
- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

## スーパースローモーション時の [録画フォーマット] と [フレームレート] の設定による再生速度

録画フォーマットとフレームレートの設定によって、再生速度は以下ようになります。

☰ (その他) → [60i/50i 切換] の設定によって再生速度が変わります。

- [60i] が選ばれているとき

フレームレート	録画フォーマット		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
960fps	2.5%スロー	3.125%スロー	6.25%スロー
480fps	5%スロー	6.25%スロー	12.5%スロー
240fps	10%スロー	12.5%スロー	25%スロー

- [50i] が選ばれているとき

フレームレート	録画フォーマット	
	1080/25p	1080/50p
1000fps	2.5%スロー	5%スロー
500fps	5%スロー	10%スロー
250fps	10%スロー	20%スロー

スーパースローモーション時の [録画タイミング] と [フレームレート] の設定による記録時間  
 録画タイミングとフレームレートの設定によって、記録できる時間の目安は以下ようになります。

☰ (その他) → [60i/50i 切換] の設定によって時間が変わります。

- [60i] が選ばれているとき

フレームレート	録画タイミング		
	START TRIGGER	END TRIGGER	END TRIGGER HALF
960fps	3秒	3秒	1秒
480fps	4秒	4秒	2秒
240fps	5秒	5秒	2秒

- [50i] が選ばれているとき

フレームレート	録画タイミング		
	START TRIGGER	END TRIGGER	END TRIGGER HALF
1000fps	3秒	3秒	1秒
500fps	4秒	4秒	2秒
250fps	5秒	5秒	2秒

---

#### 関連項目

- [スーパースローモーションで撮影する](#)
- [スロー&クイックモーションで撮影する](#)
- [SLOW & QUICK \(S&Q MOTION\)](#)
- [録画設定](#)
- [60i/50i切換](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## オートモード設定

撮影するシーンに合わせて最適な設定で撮影できます（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [オートモード設定] を選ぶ。

### メニューの詳細

オート：

自動でシーンに合わせて最適な設定にする。

インテリジェントオート：

以下を認識し最適な設定にする。

- 顔：（人物）、（赤ちゃん）
- シーン：（逆光）、（風景）、（夜景）、（スポットライト）、（低照度）、（マクロ）
- 手ブレ：（歩き）、（三脚）

[手ブレ補正] が [アクティブ] に設定されるため、画角が1.08倍テレシフトします。

シーンセレクション：

[シーンセレクション設定] で選んだシーンに最適な設定にする。

### ヒント

- [録画設定] の [記録方式] が [XAVC S 4K] の場合 [オート] に固定されます。
- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [シーンセレクション設定](#)
- [手ブレ補正（動画）](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## シーンセレクション設定

[オートモード設定] で [シーンセレクション] を選んだときに設定します（動画撮影モード時のみ）。

1 MENUボタン → （カメラ設定） → [シーンセレクション] を選ぶ。

### メニューの詳細

 夜景：  
三脚（別売）を使用して、夜景に最適な露出で撮影できる。



 日の出&夕焼け：  
朝焼けや夕焼けの風景を色鮮やかに撮影する。



 打ち上げ花火：  
打ち上げ花火に最適な露出で撮影する。



 風景：  
遠景ではっきり撮影できる。  
ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになります。



 ポートレート：  
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。



 **スポットライト：**  
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。



 **ビーチ：**  
海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。



#### ご注意

- [シーンセレクション] を設定すると、以下の設定は解除されます。
  - ホワイトバランス
  - アイリス
  - シャッタースピード
  - ISO/ゲイン
- [シーンセレクション] を設定すると、フォーカスエリアは「ワイド」に固定されます。

#### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

---

#### 関連項目

- [オートモード設定](#)
- [フォーカスエリア](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## スポット測光フォーカス

画面でタッチした被写体に明るさとピントが自動調整されます。

- 1 AUTO/MANU ALスイッチを「MANU AL」にし、AF/MFボタンを押してフォーカスを手動（MF）に設定する。
  - が表示されます。
- 2 MENUボタン → （カメラ設定） → [スポット測光フォーカス] を選ぶ。
- 3 画面をタッチして被写体を選ぶ。
  - 選んだ被写体に明るさとピントが自動調整されます。
  - アイリス、ISO/ゲイン、シャッタースピード値の横が **A** から **E** に変わります。

### ご注意

- [スポット測光フォーカス] は、フォーカスが手動のときのみ行えます。

### ヒント

- SETボタンを押すとアイリス、ISO/ゲイン、シャッタースピード値の横が **E** から **A** に戻ります。
- 自動調整された明るさは、AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にすることで解除されます。
- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [各部のなまえ 右後側面/後面](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## スポット測光

タッチした被写体に明るさが自動調整されます。

- 1 AUTO/MANU ALスイッチを「MANU AL」にする。
- 2 MENUボタン →  (カメラ設定) → [スポット測光] を選ぶ。
- 3 画面をタッチして被写体を選ぶ。
  - 選んだ被写体に明るさが自動調整されます。
  - アイリス、ISO/ゲイン、シャッタースピード値の横が **A** から **E** に変わります。

### ヒント

- SETボタンを押すとアイリス、ISO/ゲイン、シャッタースピード値の横が **E** から **A** に戻ります。
- 自動調整された明るさは、AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にすることで解除されます。
- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [各部のなまえ 右後側面／後面](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## スポットフォーカス

タッチした被写体にピントが自動調整されます。

- 1 AUTO/MANU ALスイッチを「MANU AL」にし、AF/MFボタンを押してフォーカスを手動（MF）に設定する。
  - が表示されます。
- 2 MENUボタン → （カメラ設定） → [スポットフォーカス] を選ぶ。
- 3 画面をタッチして被写体を選ぶ。
  - 選んだ被写体にピントが自動調整されます。

### ご注意

- [スポットフォーカス] は、フォーカスが手動のときのみ行えます。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [各部のなまえ](#) 右後側面／後面
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## LOW LUX

ゲインとシャッタースピードを自動的に調整して、暗いところで明るくカラーで撮影できます（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [LOW LUX] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：

LOW LUX機能を使わない。

入：

LOW LUX機能を使う。

### ヒント

- AUTO/MANUALスイッチが「AUTO」で [オートモード設定] が [オート] の場合のみ利用できます。
- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 自動逆光補正

自動で逆光補正をします（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [自動逆光補正] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
逆光補正を行わない。

入：  
自動で逆光補正を行う。

### ご注意

- 以下の場合、[自動逆光補正] が [入] になります。
  - [オートモード設定] で [インテリジェントオート] が設定されている場合
  - [オートモード設定] で [シーンセレクション] が設定され、[シーンセレクション設定] で [打ち上げ花火] が設定されている場合
- 以下の場合、[自動逆光補正] は使えません。
  - [S&Q MOTION] で [ハイフレームレート] を「入」にして撮影する場合
  - [SUPER SLOW MOTION] で撮影する場合
  - [録画フォーマット] で120p/100pを選択している場合
  - PICTURE PROFILEを選び、[ガンマ] で [HLG] [HLG1] [HLG2] [HLG3] を設定している場合

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## NIGHTSHOT

NIGHTSHOT機能を設定します（動画撮影モード時のみ）。[入] の場合は画面が緑になります。

[NIGHTSHOTライト] を [切] にしている場合、撮影時に [NIGHTSHOT] メニューを [入] にしても赤外線ライトは点灯されません。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [NIGHTSHOT] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：

NIGHTSHOT機能が無効になる。

入：

NIGHTSHOT機能が有効になる。

### ご注意

- AUTO/MANUALスイッチが「AUTO」の場合のみ使用できます。
- NIGHTSHOT（ナイトショット）ライト発光部を指などで覆わないでください。
- レンズフードは、赤外線発光の妨げとなるため、取り外してください。
- ライトが届く範囲は、約3メートルです。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [各部のなまえ 左前側面／前面](#)
- [NIGHTSHOTライト](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## NIGHTSHOTライト

NIGHTSHOT撮影時に、NIGHTSHOT（ナイトショット）ライト発光部から赤外線ライトを点灯させます（動画撮影モード時のみ）。

よりはっきりとした画像を記録することができます。

〔NIGHTSHOTライト〕が〔切〕のときは点灯しません。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → 〔NIGHTSHOTライト〕を選ぶ。

### メニューの詳細

入：

赤外線ライトを発光する。

切：

赤外線ライトを発光しない。

### ご注意

- NIGHTSHOT（ナイトショット）ライト発光部を指などで覆わないでください。
- レンズフードは、赤外線発光の妨げとなるため、取り外してください。
- ライトが届く範囲は、約3メートルです。
- 〔記録方式〕が〔XAVC S 4K〕で〔4K記録中出力〕が〔外部出力〕のときは〔NIGHTSHOTライト〕は〔切〕に固定されます。

### 関連項目

- [各部のなまえ](#) [左前側面／前面](#)
- [NIGHTSHOT](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## カラーバー

カラーバー表示の設定をします（動画撮影モード時のみ）。  
本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。

- 1 MENUボタン → （カメラ設定） → [カラーバー] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

入/切：

カラーバー表示入/切の設定をする。

- 切：カラーバーを表示しない。
- 入：カラーバーを表示する。

トーン：

カラーバー表示中に、音声トーン信号を出力するかどうか設定する。

- 切：音声トーン信号を出力しない。
- 入：音声トーン信号を出力する。

### ご注意

- 以下の場合、[カラーバー]を使用できません。
  - [記録方式]が[XAVC S 4K]の場合
  - [録画フォーマット]が120p/100pの場合
  - [PROXY設定]が[入]の場合
  - S&Q MOTION撮影時
  - SUPER SLOW MOTION撮影時
- 録画フォーマットを切り換えたり、MENUによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、[入/切]は自動的に[切]になります。
- [カラーバー]の設定は、録画中、フォーカス拡大（FOCUS MAGNIFIER）中は変更することができません。

### ヒント

- カラーバー表示中は、常にITU709相当のガンマカーブが適用されます。
- [トーン]を[切]にしてカラーバーを記録した場合、マイクからの音声が記録されます。
- 音声トーン信号は1KHz：フルビット -10dBが出力されます。
- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## PICTURE PROFILE

[ガンマ] や [ディテール] など調節して好みの画質設定を作れます（動画撮影モード時のみ）。  
お買い上げ時は、**PP1** から **PP10** に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。お好みのピクチャープロファイルを選んで撮影できます。  
また、各ピクチャープロファイルについて、設定を変更することもできます。  
詳しくは「[ピクチャープロファイルの内容を変更する](#)」をご覧ください。

### メニューの詳細

切：  
ピクチャープロファイルを設定しない。

PP1～PP10：  
ピクチャープロファイルを選ぶ。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ピクチャープロファイルの内容を変更する](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 動画/静止画撮影モード

動画モードと静止画モードを切り換えます。  
撮影画面に選んだ撮影モードのアイコンが表示されます。

-  : 動画モード時
-  : 静止画モード時

① MENUボタン →  (録画/出力設定) → [ /  撮影モード] を選ぶ。

### メニューの詳細

動画：  
動画を撮影する。

静止画：  
静止画を撮影する。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [動画を撮る](#)
- [静止画を撮る](#)
- [画面表示一覧](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 録画設定

動画の記録方式、録画フォーマット、同時記録やリレー記録の設定を行います。

- 1 MENUボタン →  (録画/出力設定) → [録画設定] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

記録方式：

撮影時の記録方式を設定する。

- XAVC S 4K：XAVC S形式の4K画質で記録する。  
4Kテレビでの視聴に適しています。記録・再生両方が切り換わります。またフレームレートの設定値によって、再生できる動画が切り換わります。
- XAVC S HD：XAVC S形式のHD画質で記録する。  
HD（ハイビジョン）テレビでの視聴に適しています。記録・再生両方が切り換わります。
- AVCHD：AVCHD形式でHD画質で記録する。  
HDテレビでの視聴やブルーレイディスクへの記録に適しています。記録・再生両方が切り換わります。

録画フォーマット：

撮影時の録画フォーマット（ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式）を設定します。

（その他） → [60i/50i 切換] の設定によって選べる設定値が変わります。

[60i] を選んでいるとき：

- [記録方式] で [XAVC S 4K] を選んだ場合  
2160/30p 100Mbps、2160/30p 60Mbps、2160/24p 100Mbps、2160/24p 60Mbps
- [記録方式] で [XAVC S HD] を選んだ場合  
1080/120p 100Mbps、1080/120p 60Mbps、1080/60p 50Mbps、1080/60p 25Mbps、1080/30p 50Mbps、1080/30p 16Mbps、1080/24p 50Mbps
- [記録方式] で [AVCHD] を選んだ場合  
1080/60i FX、1080/60i FH、1080/60i LP

[50i] を選んでいるとき：

- [記録方式] で [XAVC S 4K] を選んだ場合  
2160/25p 100Mbps、2160/25p 60Mbps
- [記録方式] で [XAVC S HD] を選んだ場合  
1080/100p 100Mbps、1080/100p 60Mbps、1080/50p 50Mbps、1080/50p 25Mbps、1080/25p 50Mbps、1080/25p 16Mbps
- [記録方式] で [AVCHD] を選んだ場合  
1080/50i FX、1080/50i FH、1080/50i LP

同時/リレー記録：

同時記録またはリレー記録の設定をします。

- 切：同時記録またはリレー記録をしない。
- 同時記録：同時記録をする。  
メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。
- リレー記録：リレー記録をする。  
A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA（またはメモリーカード B）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り換わります。

PROXY設定：

XAVC S 4K、XAVC S HDで動画の記録時にMP4動画を同時に記録するかしないかを設定します。

MP4動画は動画共有サイトなどへアップロードする際に使用したり、動画の編集作業に使用できます。

- 入/切： [入] にするとMP4動画を同時に記録する。
- サイズ：画サイズを選ぶ（1280×720もしくは640×360）。

[録画フォーマット] の設定値について

設定値の値はビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式を表しています。

- ビットレート：100Mbps、60Mbps、50Mbps、25Mbps、16Mbps、FX（最大24Mbps）、FH（平均約17Mbps）、LP（平均約5Mbps）
- 画サイズ：2160（3,840×2,160）、1080（1,920×1,080）
- フレームレート：120、100、60、50、30、25、24のいずれか
- スキャン方式：i（インターレース）、p（プログレッシブ）

フレームレート表示について

画面に表示されるフレームレートは実際と異なります。

フレームレート表示	実際のフレームレート
24	23.98
30	29.97
60	59.94
120	119.88

### ご注意

- 以下の場合、PROXY機能は利用できません
  - [日付記録] が [入] の場合
  - [カラーバー] が [入] の場合
  - [同時/リレー記録] が [同時記録] もしくは [リレー記録] で [ビデオ出力] → [出力選択] → [4K記録中出力] が [外部出力] になっている場合
  - [録画フォーマット] が120p/100pの場合
- [S&Q MOTION]、[SUPER SLOW MOTION] の撮影時には [PROXY設定] は [切] になります。
- AVCHD動画はプロキシー記録に対応していません。
- 本機でプロキシーファイルの再生はできません。パソコンに取り込んでから閲覧や活用をしてください。

関連項目

- [スロー&クイックモーションで撮影する](#)

- スーパースローモーションで撮影する
- メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する（リレー記録）
- メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する（同時記録）
- パソコンへ画像を取り込んで活用する（PlayMemories Home）
- 60i/50i切換

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 画像サイズ

静止画の画像サイズを変更します。設定した画質によって撮影可能枚数が変わります。

- 1 MENUボタン →  (録画/出力設定) → [画像サイズ] を選ぶ。

### メニューの詳細

3:2(12.0M) :

縦横比3 : 2 (通常のプリントを行うのに適したサイズ) 、静止画時有効画素数 : 約1,200万画素

16:9(14.2M) :

縦横比16 : 9 (ハイビジョンテレビでの鑑賞に適したサイズ) 、静止画時有効画素数 : 約1,420万画素

### 関連項目

- [静止画を撮る](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ファイル番号

---

静止画のファイル番号の付けかたを選びます。

- 1 MENUボタン →  (録画/出力設定) → [ファイル番号] を選ぶ。

### メニューの詳細

連番：

静止画のファイル番号を連続して付ける。

撮影するたびに画像のファイル番号が大きくなります。

メモリーカードを取り換えた場合も、ファイル番号は連続して付きます。

リセット：

メモリーカードに存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。

メモリーカードを取り換えた場合は、メモリーカードごとにファイル番号が付きます。

---

### 関連項目

- [静止画を撮る](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ビデオ出力

映像の出力先や出力方法を選びます。

- 1 MENUボタン →  (録画/出力設定) → [ビデオ出力] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

出力選択：

4K記録中出力：

XAVC S 4Kで記録中の映像信号を本機ファインダー・液晶モニターまたは外部機器のどちらかに出力する。  
4K記録時に顔認識機能が使用できます。

- ファインダー/パネル：ファインダー・液晶モニターに出力する。
- 外部出力：外部機器に出力する。

HDMI：

HDMI端子からの出力信号の解像度を設定する。

 (その他) → [60i/50i 切換] の設定によって選べる設定値が変わります。

[60i] を選んでいるとき：

オート、2160p /1080p /480i、2160p /720p /480i、2160p /1080i /480i、1080p /480i、720p /480i、1080i /480i、480p、480i

[50i] を選んでいるとき：

オート、2160p /1080p /576i、2160p /720p /576i、2160p /1080i /576i、1080p /576i、720p /576i、1080i /576i、576p、576i

24p出力（[60i /50i切換] で60iを選んでいる場合のみ）：

[録画フォーマット] で、フレームレートの値が24でプログレッシブスキャン方式の設定値を選んでいるときの出力フォーマットを設定する。

- 24p：24pで出力する。
- 60p：60pで出力する。

ダウンコンバートタイプ：

映像信号出力形式を設定する。

16:9で撮影された動画や、静止画を出力する際に有効です。

- スクイーズ：画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。
- レターボックス(16:9)：垂直方向を圧縮することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。
- エッジクロップ：画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

HDMI TC出力：

HDMIを利用して、他の機器にタイムコードを出力するかどうかの設定をする。

- 切：タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せない。

- 入：タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せる。  
画面に出す映像としてではなく、デジタルデータとして伝送し、接続先機器がそのデータを参照することでタイムデータを知ることができます。  
24pときは、2-3PullDownを行って、その情報を自動付加して伝送します。

#### HDMI レックコントロール：

本機と外部レコーダーをつなぐと、本機の操作で外部レコーダーへ録画の開始/停止を行う。

- 切：本機の操作で録画を行わない。
- 入：本機の操作で録画を行う。

#### ご注意

- [4K記録中出力] の設定は、 (録画/出力設定) → [録画設定] → [記録方式] が [XAVC S 4K] のときのみ有効です。
- XAVC S 4Kで記録中、以下のうちいずれか1つの機能を使うことができます。
  - 記録中外部出力
  - 顔検出機能
  - プロキシ記録 (ただし、以下をすべて満たすときは使うことができません。)
    -  (録画/出力設定) → [録画設定] → [録画フォーマット] が100Mbps のとき
    -  (録画/出力設定) → [録画設定] → [同時/リレー記録] が [切] 以外のとき

#### 関連項目

- [録画設定](#)
- [60i/50i切換](#)
- [4Kテレビにつないで見る](#)
- [ハイビジョンテレビにつないで見る](#)
- [HDMIケーブルについて](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 音量

---

本機で再生中の音量を調節します。

1 MENUボタン→  (音声設定) → [音量] を選ぶ。

- ◀/▶ で音量を調節します。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

---

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## AVCHD録音フォーマット

---

AVCHD動画の記録音声フォーマットを切り換えます。

- 1 MENUボタン→  (音声設定) → [AVCHD録音フォーマット] を選ぶ。

### メニューの詳細

LINEAR PCM :  
LPCM方式で記録する。

DOLBY DIGITAL :  
ドルビーデジタル方式で記録する。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 録音レベル

内蔵マイクや外部マイク（別売）に対して、音声入力の録音レベルに関する設定をします。

- 1 MENUボタン → （音声設定） → [録音レベル] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

録音モード：  
録音モードを選ぶ。

- オート：自動で音量が調整される。
- マニュアル：[マニュアルレベル] で、1～31の範囲でお好みの録音感度を設定できる。

マニュアルレベル：  
録音モードが[マニュアル] のときの録音感度を設定する。

1～31：録音感度を選ぶ。

### ご注意

- ヘッドホンをつけて、レベルを確認しながら操作することをおすすめします。
- 連続した大きな音を撮影し続ける場合は、あらかじめレベルを低めに設定すると臨場感のある音声が記録できます。
- 録音レベルの設定に関わらず、リミッターは常に有効です。
- マルチインターフェースシューに装着した専用マイクを使用しているときは、録音レベルは調節できません。

### 関連項目

- [内蔵マイクで収録する](#)
- [マルチインターフェースシュー対応マイク（別売）で収録する](#)
- [外部マイク（別売）で収録する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## INT MI C風音低減

---

内蔵マイクで入力音声の低域音をカットして、風音低減をします。

- 1 MENUボタン →  (音声設定) → [INT MI C風音低減] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
風音低減を行わない。

入：  
風音低減を行う。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## マイク選択

---

収録する音声に使用するマイクを選びます。

- 1 MENUボタン →  (音声設定) → [マイク選択] を選ぶ。

### メニューの詳細

オート:

マイクの接続状態によって、収録する音声に使用するマイクを自動で選ぶ。

以下の優先順位で選びます。

MIC端子 (PLUG IN POWER) につないでいる外部マイク → マルチインターフェースシュー対応マイク → 内蔵マイク

INT MIC:

本体内蔵マイクを用いて、音声を収録する。

MI SHOE MIC:

マルチインターフェースシュー対応マイクを用いて、音声を収録する。

STEREO MINI MIC:

ステレオミニ端子につないでいるマイクを用いて、音声を収録する。

---

### 関連項目

- [内蔵マイクで収録する](#)
- [マルチインターフェースシュー対応マイク \(別売\) で収録する](#)
- [外部マイク \(別売\) で収録する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 音声出力タイミング

撮影時の音声出力タイミングを設定します。

- 1 MENUボタン →  (音声設定) → [音声出力タイミング] を選ぶ。

### メニューの詳細

ライブ :

撮影時の音声を遅延なしで出力する。

リップシンク :

撮影時の映像と音声を同期させて出力する。

### ご注意

- HDMI端子を使用して外部機器に記録する場合は、[リップシンク] を選びます。

### 関連項目

- [4Kテレビにつないで見る](#)
- [ハイビジョンテレビにつないで見る](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ヒストグラム

映像のレベル分布を示すヒストグラム表示の設定をします。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [ヒストグラム] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
ヒストグラムを表示しない。

入：  
ヒストグラムを表示する。  
100%の位置にラインが表示され、それ以上の背景色が変わります。



A : ヒストグラム

入[ゼブラポイント]：  
ヒストグラムにゼブラポイントが表示される。  
[ゼブラ] で設定されているレベルにラインが表示されます。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ゼブラ](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ゼブラ

ゼブラ機能に関する設定を行います。

ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。  
明るさ調節をするときの目安にすると便利です。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [ゼブラ] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

ゼブラセレクト：

ゼブラ表示の種類（ゼブラ1またはゼブラ2）を選ぶ。

- 切：ゼブラを表示しない。
- ゼブラ1： [ゼブラ1レベル] で設定した映像レベルを中心に [ゼブラ1アパーチャーレベル] で設定した範囲のエリアに対してゼブラを表示する。
- ゼブラ2： [ゼブラ2レベル] で設定したレベル以上の映像レベルに対してゼブラを表示する。

ゼブラ1レベル：

ゼブラ1を表示するレベルを設定する。

0%～109%： レベルを選ぶ。

ゼブラ1アパーチャーレベル：

[ゼブラ1レベル] で設定したレベルに対して、ゼブラを表示する範囲を設定する。

2%～20%： 範囲を選ぶ。

ゼブラ2レベル：

ゼブラ2を表示するレベルを設定する。

0%～109%： レベルを選ぶ。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ピーキング

ピーキング表示（画面上で画像の輪郭を強調して表示する）に関する設定を行います。  
フォーカス拡大（FOCUS MAGNIFIER）と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。

- 1 MENUボタン → （表示設定） → [ピーキング] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

入/切：

ピーキング表示の入/切を設定する。

- 切：ピーキングを表示しない。
- 入：画面上に画像の輪郭が強調して表示される。  
ピントが合わせやすくなります。

色：

ピーキングの色を選ぶ。

白、赤、黄

レベル：

ピーキング感度を選ぶ。

高、中、低

### ご注意

- 輪郭強調された画像はメモリーカードに記録されません。

### ヒント

- [入/切] をASSIGNボタンに割り当てることができます。

### 関連項目

- [拡大表示をしてピントを合わせる（フォーカス拡大）](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 位相差AF枠表示

オートフォーカスで動画撮影時、[フォーカスエリア] で [ワイド] または [ゾーン] を選んでいるとき位相差AF枠を表示するかしないかを設定します。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [位相差AF枠表示] を選ぶ。

### メニューの詳細

入：  
位相差AF枠を表示する。  
切：  
位相差AF枠を表示しない。

#### ご注意

- [フォーカスエリア] が以下の場合、ピントが合うと、エリアのフォーカス枠が緑色に点灯します。
  - － [中央]
  - － [フレキシブルスポット]
- [日付記録] が [入] のときは位相差AF枠は表示されません。

#### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [自動でフォーカスを調整する](#)
- [位相差AFについて](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

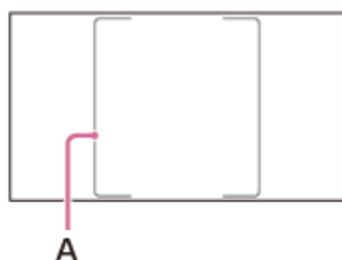
## 位相差AFエリア表示

オートフォーカスで動画撮影時に位相差AFのエリアを表示するかしないかを設定します。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [位相差AFエリア表示] を選ぶ。

### メニューの詳細

入：  
位相差AFのエリアを表示する。



A:位相差AFエリア

切：  
位相差AFのエリアを表示しない。

#### ご注意

- 位相差AFが無効な場合は、位相差エリアは表示されません。

### 関連項目

- [自動でフォーカスを調整する](#)
- [位相差AFについて](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## マーカー

画面上で撮影の目安になるマーカー表示の設定をします。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [マーカー] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

入/切：

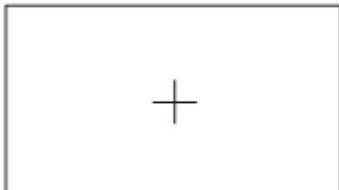
マーカー表示の入/切を設定する。

- 切：マーカーを表示しない。
- 入：マーカーを表示する。  
マーカーはメモリーカードに記録されません。

センター：

センターマーカー（画面の中心を示すマーカー）表示の入/切を設定する。

- 入：センターマーカーを表示する。
- 切：センターマーカーを表示しない。



アスペクト：

アスペクトマーカー表示の入/切を設定する。

- 切：アスペクトマーカーを表示しない。
- 4:3、13:9、14:9、15:9、1.66:1、1.85:1、2.35:1：アスペクト比位置にマーカーを表示する。



セーフティゾーン：

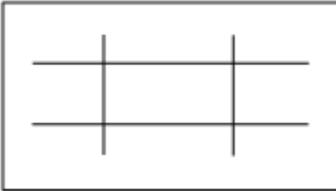
セーフティゾーンマーカー表示の入/切を設定する。

- 切：セーフティゾーンマーカーを表示しない。
- 80%、90%：一般的な家庭用テレビで受像できる範囲を選んでマーカーを表示する。



ガイドフレーム：  
ガイドフレーム表示を設定する。

- 切：ガイドフレームを表示しない。
- 入：ガイドフレームを表示する。



### ご注意

- マーカー表示中は、[画面表示出力] の設定を [全出力] にしていても、タイムコード以外は何も出力されません。
- フォーカス拡大 (FOCUS MAGNIFIER) 中は、マーカーを表示できません。
- マーカー表示は、外部に出力することはできません。

### ヒント

- すべてのマーカーを同時に表示できます。
- [ガイドフレーム] の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- [入/切] をASSIGNボタンに割り当てることができます。

---

### 関連項目

- [拡大表示をしてピントを合わせる \(フォーカス拡大\)](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)
- [画面表示出力](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## フォーカス拡大倍率

---

フォーカス拡大（FOCUS MAGNIFIER）の倍率を設定します。

- 1 MENUボタン → （表示設定） → [フォーカス拡大倍率] を選ぶ。

### メニューの詳細

×4.0 :  
4倍

×8.0 :  
8倍

×4.0/×8.0 :  
FOCUS MAGNIFIERボタンで倍率変更ができます。  
押すたびに4倍→8倍→切の順に切り換わります。

---

### 関連項目

- [拡大表示をしてピントを合わせる（フォーカス拡大）](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## カメラデータ表示

アイリス、ISO/ゲイン、シャッタースピード値の表示を設定します。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [カメラデータ表示] を選ぶ。

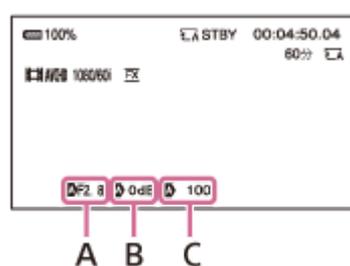
### メニューの詳細

切：

アイリス、ISO/ゲイン、シャッタースピードの値を表示しない。

入：

アイリス、ISO/ゲイン、シャッタースピードの値を常に表示する。



A : アイリス値

B : ゲイン値 (もしくはISO値)

C : シャッタースピード値

### ヒント

- カメラデータ表示の設定に関わらず、手動設定時は設定値が表示されます。
- **A** は自動設定されていることを示します。
- **E** は [スポット測光] もしくは [スポット測光フォーカス] を実行することによって、AEが固定されていることを示します。
- [日付/データ表示] 機能の [カメラデータ] とは異なります。
- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [スポット測光フォーカス](#)
- [スポット測光](#)
- [日付/データ表示](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

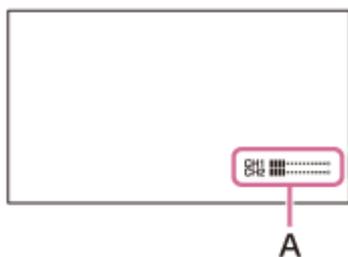
## 音声レベル表示

オーディオレベルメーター表示の設定をします（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → （表示設定） → [音声レベル表示] を選ぶ。

### メニューの詳細

入：  
音声レベルメーターを表示する。



A：音声レベルメーター

切：  
音声レベルメーターを表示しない。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ズーム表示

---

ズーム位置表示の設定をします。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [ズーム表示] を選ぶ。

### メニューの詳細

バー：  
ズーム位置をバーで表示する。

数値：  
ズーム位置を数値で表示する。

---

### 関連項目

- [ズームレバーでズームする](#)
- [マニュアルレンズリングでズームする](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## フォーカス表示

---

フォーカス距離表示の単位を設定します。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [フォーカス表示] を選ぶ。

### メニューの詳細

メートル：

フォーカス距離をメートルで表示する。

フィート：

フォーカス距離をフィートで表示する。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## シャッター表示

シャッタースピードの表示を設定します（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → （表示設定） → [シャッター表示] を選ぶ。

### メニューの詳細

秒：

シャッタースピードの表示を秒で表示する。

角度：

シャッタースピードの表示を角度で表示する。

本機がイメージセンサーから画像データを読み込む時間に等しいシャッタースピードを360°と定義します。この定義を元に角度は計算され、表示されます。

（その他） → [60i/50i切換] の設定によって選べる表示値が変わります。

[60i] を選んでいるとき：

- [録画フォーマット] でフレームレートの値が60の設定値を選んでいるときは、1/60で360°
- [録画フォーマット] でフレームレートの値が30の設定値を選んでいるときは、1/30で360°
- [録画フォーマット] でフレームレートの値が24の設定値を選んでいるときは、1/24で360°

[50i] を選んでいるとき：

- [録画フォーマット] でフレームレートの値が50の設定値を選んでいるときは、1/50で360°
- [録画フォーマット] でフレームレートの値が25の設定値を選んでいるときは、1/25で360°

### ご注意

- [日付/データ表示] 機能が割り当てられたASSIGNボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定に関わらず秒表示となります。

### ヒント

- 360°より長いシャッタースピードの場合、360°の整数倍（360°x2など）で表示します。

### 関連項目

- [シャッタースピードを調節する](#)
- [録画設定](#)
- [日付/データ表示](#)
- [60i/50i切換](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 日付/データ表示

---

再生時に表示する情報を選びます。

- 1 動画再生中にMENUボタン→  (表示設定) → [日付/データ表示] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
表示しない。

日付時刻データ：  
日付時刻を表示する。

カメラデータ：  
カメラデータを表示する。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

---

### 関連項目

- [カメラデータ表示](#)
- [再生時に情報を表示する \(日付/データ表示\)](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ガンマ表示アシスト

S-LOGやHLGを適用して撮影するときや再生するとき、ファインダーや液晶モニターに表示される画像を通常の動画の画質に変換して表示するかを設定します（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → （表示設定） → [ガンマ表示アシスト] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

入/切：

ガンマ表示アシストの入/切を設定する。

- 入：ガンマ表示アシストする。
- 切：ガンマ表示アシストしない。

タイプ：

変換のしかたを設定する。

- オート： [PICTURE PROFILE] で設定されたガンマが [S-LOG2] の場合は「S-LOG2→709(800%)」に。 [S-LOG3] の場合は [S-LOG3→709(800%)] に。ガンマが [HLG] [HLG1] [HLG2] [HLG3] でカラーモードが [709] の場合は [HLG(709)] に。ガンマが [HLG] [HLG1] [HLG2] [HLG3] でカラーモードが [BT.2020] の場合は [HLG(BT.2020)] に、表示モードが自動で切り替わる。
- S-LOG2→709(800%)： [S-LOG2] を [ITU709(800%)] 相当に変換して表示する。
- S-LOG3→709(800%)： [S-LOG3] を [ITU709(800%)] 相当に変換して表示する。
- HLG(709)： [HLG(709)] に対応したモニターで表示した時と近い画質となるように、本機のパネルやファインダーの画質を調整して表示する。
- HLG(BT.2020)： [HLG(BT.2020)] に対応したモニターで表示した時と近い画質となるように、本機のパネルやファインダーの画質を調整して表示する。

### ガンマ表示アシストについて

[S-LOG2] [S-LOG3] を適用した動画は撮影後の編集を前提としており、撮影時の画像は低コントラストとなります。

また [HLG] [HLG1] [HLG2] [HLG3] を適用した動画もHDRに対応していない通常のファインダーや液晶モニターに表示すると低コントラストとなり、[BT.2020] のカラーモードで撮影した場合は色も薄く表示されます。そのため、どちらの場合もそのままではモニタリングしにくくなります。

「ガンマ表示アシスト」を適用すると、通常の動画に近いコントラストと色再現が本機のファインダーと液晶モニターで実現でき、モニタリングしやすくなります。

本機能が適用されるのは、ファインダーや液晶モニターに表示されるモニタリング画像または再生画像のみで、記録画像や出力画像には適用されません。

#### ご注意

- 再生時に [オート] を選んでいる場合も、AVCHDおよびXAVC S動画で [HLG] 以外を適用したファイルは、その時に設定されている [PICTURE PROFILE] のガンマおよびカラーモードの設定に応じて変換された画像が表示されます。

#### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

---

---

## 関連項目

- [PICTURE PROFILE](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## パネル明るさ

---

液晶モニターの明るさを調節します。録画される画像に影響はありません。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [パネル明るさ] を選ぶ。

### メニューの詳細

ノーマル：  
通常の明るさで表示する。

明るい：  
明るく表示する。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ファインダー色温度

---

ファインダーの色温度を調節します。  
色温度が低いとファインダーは赤みを帯び、高いと青みを帯びます。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [ファインダー色温度] を選ぶ。
  - ◀/▶ でファインダーの色温度を調節します。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 画面表示出力

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

- 1 MENUボタン →  (表示設定) → [画面表示出力] を選ぶ。

### メニューの詳細

パネル：  
液晶モニターに出力する。

全出力：  
HDMI OUT/VIDEO OUT (マルチ/ マイクロUSB端子) の各端子と液晶モニターに出力する。  
ゼブラとピーキング、顔枠表示も出力されます。

### ご注意

- [マーカー] が [入] で画面に表示されているときは、タイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。
- 以下の場合、液晶モニターには何も表示されません。
  - 液晶パネルを180°回転させた状態の場合
  - アイセンサーが検出してファインダー表示になっている場合

### 関連項目

- [マーカー](#)
- [TC/UB表示](#)
- [ゼブラ](#)
- [ピーキング](#)
- [検出した顔にピントを合わせる \(顔検出\)](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## TC/UB表示

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。記録されたタイムデータの表示をタイムコードまたはユーザービットに切り換えます（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → **00:00** (TC/UB設定) → [T C/UB表示] を選ぶ。

### メニューの詳細

TC :  
タイムコードを表示する。

U-BIT :  
ユーザービットを表示する。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## TC PRESE T

映像に付随するタイムデータとして記録されるタイムコードを設定します（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → **00:00**（TC/UB設定） → [TC PRESE T] を選ぶ。

### メニューの詳細

プリセット：

▲/▼/◀/▶/SETボタンでタイムコードを入力し [決定] を選ぶ。

☰（その他） → [60i/50i切換] の設定によって選べる設定範囲が変わります。

[60i] 選択時：

00:00:00:00～23:59:59:29の範囲で設定する。

24p設定時は、末尾2桁を0～23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。

[中止] を選ぶと反映されずに元の画面に戻ります。

[50i] 選択時：

00:00:00:00～23:59:59:24の範囲で設定する。

リセット：

タイムコードをリセット（00:00:00:00）する。

### 関連項目

- [60i/50i切換](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## UB PRESE T

映像に付随するタイムデータとして記録されるユーザービットを設定します（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン →  (TC/UB設定) → [UB PRESE T] を選ぶ。

### メニューの詳細

プリセット：

▲/▼/◀/▶/SETボタンでユーザービットを入力し [決定] を選ぶ。

00 00 00 00～FF FF FF FFの範囲で設定します。

[中止] を選ぶと反映されずに元の画面に戻ります。

リセット：

ユーザービットをリセット (00 00 00 00) する。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## TC FORMA T

 (その他) → [60i/50i 切換] が [60i] のときにタイムコードの記録方式を選びます (動画撮影モード時のみ)。  
[50i] のときは、[NDF] に固定されます。

1 MENUボタン →  (TC/UB設定) → [T C FORMA T] を選ぶ。

### メニューの詳細

DF :  
タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF :  
タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

### ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。

ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

### ご注意

- [60i/50i切換] で [60i] を選んでいるときでも、[録画フォーマット] でフレームレートが24pの設定値を選んでいるときは、[NDF] に固定されます。

### 関連項目

- [録画設定](#)
- [60i/50i切換](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## TC RUN

---

タイムコードの歩進を選びます（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → **00:00**（TC/UB設定） → [TC RUN] を選ぶ。

### メニューの詳細

REC RUN :

記録中のみタイムコードが歩進する。

最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録します。

FREE RUN :

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

### ご注意

- [REC RUN] モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
  - 録画フォーマットを切り換えたとき
  - メモリーカードを取り外したとき

---

### 関連項目

- [録画設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## TC MAKE

---

タイムコードをメモリーカードに記録する方法を選びます（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → **00:00** (TC/UB設定) → [T C MAKE] を選ぶ。

### メニューの詳細

PRESET :

新たに設定したタイムコードをメモリーカードに記録する。

REGENERATE :

メモリーカードに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するように記録する。

[TC RUN] の設定に関係なく、タイムコードは [REC RUN] モードで歩進します。

---

### 関連項目

- [TC RUN](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## UB TIME REC

時刻をユーザービットコードとして記録する/しないを選びます（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → **00:00** (TC/UB設定) → [UB TIME REC] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
時刻をユーザービットコードとして記録しない。

入：  
時刻をユーザービットコードとして記録する。

#### ご注意

- [入] のときは、下位2桁は00に固定されます。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## スマートフォン操作

スマートフォンをリモコンとして本機を操作します。

- 1 MENUボタン→  (ネットワーク設定) → [スマートフォン操作] を選ぶ。
  - 接続可能な状態になると表示される画面の情報を使って、スマートフォンから本機につながります。つなぐための設定方法はスマートフォンによって異なります。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [NFC対応のAndroidスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [QRコードを使ってスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [Androidスマートフォンやタブレットと接続する \(SSID/PWを入力する場合\)](#)
- [iPhoneやiPadと接続する \(SSID/PWを入力する場合\)](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## Wi-Fi設定

---

Wi-Fiの設定、変更などを行います。

- 1 MENUボタン →  (ネットワーク設定) → [Wi-Fi設定] を選ぶ。

### メニューの詳細

機器名称変更：

本機の機器名称を変更する。

SSID・PWリセット：

スマートフォン操作のSSID、パスワードをリセットする。

### ご注意

- 接続情報のリセット後に再度本機とスマートフォンを接続する場合は、スマートフォンの再設定が必要です。

---

### 関連項目

- [NFC対応のAndroidスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [QRコードを使ってスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [Androidスマートフォンやタブレットと接続する \(SSID/PWを入力する場合\)](#)
- [iPhoneやiPadと接続する \(SSID/PWを入力する場合\)](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 飛行機モード

飛行機などに搭乗するとき、無線機器を使用する設定を一時的にすべて無効にします。

- 1 MENUボタン →  (ネットワーク設定) → [飛行機モード] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
飛行機モードを切にする。

入：  
飛行機モードを入にする。

### 関連項目

- [NFC対応のAndroidスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [QRコードを使ってスマートフォンやタブレットと接続する](#)
- [Androidスマートフォンやタブレットと接続する \(SSID/PWを入力する場合\)](#)
- [iPhoneやiPadと接続する \(SSID/PWを入力する場合\)](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ネットワークリセット

---

ネットワーク設定に関する、以下の設定をリセットします。

- スマートフォン操作のSSID/パスワード
- 機器名称

1 MENUボタン→  (ネットワーク設定) → [ネットワークリセット] → [OK] を選ぶ。

- ネットワーク設定がリセットされます。
- リセットを止める場合は、[キャンセル] を選びます。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## STATUS CHECK

---

カメラの設定がどのような設定値になっているかを確認できます。

1 MENUボタン →  (その他) → [STATUS CHECK] を選ぶ。

- ▲ / ▼ ボタンで項目を切り換えます。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

---

### 関連項目

- [本機の設定を確認する \(ステータスチェック\)](#)
- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## カメラプロファイル

カメラの設定内容をカメラプロファイルとしてメモリーカードに99個まで保存できます。

保存した設定を使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

また、本機を複数台同じ設定で使用したい場合に、設定値をメモリーカードに保存して、他のカメラで保存した設定値を読み出すことができます。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [カメラプロファイル] → 使用するメモリーカード ([メモリーカードA] または [メモリーカードB]) を選ぶ。

### メニューの詳細

読出：

カメラプロファイルを読み込んで、設定を実行する。

▲/▼/◀/▶/SETボタンで読み込むカメラプロファイルを選び、確認画面で [はい] を選びます。

いったん本機が再起動して、選んだカメラプロファイルが反映されます。

保存：

カメラプロファイルを保存する。

▲/▼/◀/▶/SETボタンで [新規ファイル]、または既存のプロファイル名を選び、確認画面で [はい] をぶと、カメラプロファイルが保存されます。

削除：

保存したカメラプロファイルを削除する。

▲/▼/◀/▶/SETボタンで削除するカメラプロファイルを選び、確認画面で [はい] を選びます。

### ご注意

- パソコンでファイル名を変えたり、生成途中で電源を切ったりしたときは、ファイルが正しく見えない場合があります。
- メモリーカードを初期化すると、保存したカメラプロファイルも削除されます。
- 異なる型名の機種で保存したカメラプロファイルやパソコンなどで編集したカメラプロファイルは読み込めません。

### ヒント

- カメラプロファイルで保存される項目は、メニュー、ピクチャープロファイル、ボタンなどの設定値です。これらの設定値をまとめてカメラプロファイルに保存します。
- [保存] で [新規ファイル] を選んだ場合、プロファイル名は [01] (初めて保存する場合) になります。
- 既存のカメラプロファイルを保存先に選んだ場合は、上書きされます。
- 保存した設定はパソコンで編集できません。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## S&Qボタン設定

---

S&Qボタンに割り当てる機能を設定できます（動画撮影モード時のみ）。

- 1 MENUボタン → （その他） → [S&Qボタン設定] を選ぶ。

### メニューの詳細

S&Q/SUPER SLOW :

S&Qボタンを押すたびに、スロー&クイックモーション → スーパースローモーション → 切、の順に切り換わる。

S&Q MOTION :

スロー&クイックモーションに設定する。

SUPER SLOW MOTION :

スーパースローモーションに設定する。

---

### 関連項目

- [スロー&クイックモーションで撮影する](#)
- [スーパースローモーションで撮影する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ASSIGNボタン登録

よく使う機能をASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [ASSIGNボタン登録] を選ぶ。
  - ▲/▼/◀/▶/SETボタンでASSIGNボタン (ASSIGN1～ASSIGN6) を選んで、割り当てたい機能を選びます。

### ASSIGN ボタンに割り当てられる機能

- — (機能なし)
- LOW LUX
- FOCUS MAGNIFIER (フォーカス拡大)
- ラストシーンレビュー
- WHITE BALANCE (ホワイトバランス)
- WBプリセット
- WB SET
- AEシフト
- デジタルエクステンダー
- 手ブレ補正
- フォーカスエリア
- フォーカス位置
- AF駆動速度
- AF追従範囲[奥行]
- AF乗り移り感度
- 顔検出
- S&Q MOTION
- オートモード設定
- シーンセレクション設定
- NIGHTSHOT
- IRIS PUSH AUTO
- スポット測光フォーカス
- スポット測光
- スポットフォーカス
- カラーバー
- ダイレクト
- MENU
- PICTURE PROFILE
- 音量
- ヒストグラム
- ゼブラ
- ピーキング
- 位相差AF枠表示
- マーカー
- カメラデータ表示
- 音声レベル表示
- 日付/データ表示
- ガンマ表示アシスト
- TC/UB表示
- スマートフォン接続
- STATUS CHECK
- 録画ランプ

- THUMBNAIL
  -  /  撮影モード
- 

#### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 日時合わせ

---

日時に関する設定をします。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [日時合わせ] → 設定したい項目を選ぶ。

### メニューの詳細

エリア設定：

本機を使用するエリアを選ぶ。

時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するときに現地時刻に合わせられます。

サマータイム：

サマータイムの設定をする。

- 切：サマータイムを設定しない。
- 入：サマータイムを設定する。

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。[サマータイム]を[入]にすると、本機の時計が1時間進みます。

日付：

日時を設定する。

▲/▼/◀/▶/SETボタンで日時を入力します。

---

### 関連項目

- [お買い上げ時の設定をする](#)
- [エリア設定](#)
- [サマータイム](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## エリア設定

---

本機を使用するエリアを選ぶことによって、時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するときに現地時刻に合わせられます。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [エリア設定] → エリアを選ぶ。
- 

### 関連項目

- [お買い上げ時の設定をする](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## サマータイム

---

サマータイムの設定をします。

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。[サマータイム]を[入]にすると、本機の時計が1時間進みます。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [サマータイム] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
サマータイムを設定しない。

入：  
サマータイムを設定する。

---

### 関連項目

- [お買い上げ時の設定をする](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 日付記録

撮影した日付と時刻を画像に直接記録するかどうかを選びます（〔録画設定〕の〔記録方式〕がAVCHDの場合のみ）。

- 1 MENUボタン → （その他） → 〔日付記録〕を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
日付と時刻を画像に直接記録しない。

入：  
撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

### ヒント

- 〔日付記録〕が〔入〕の場合、位相差AF枠は表示されません。
- ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻の文字も信号の影響を受けますが、録画される文字には影響ありません。

### 関連項目

- [録画設定](#)
- [ゼブラ](#)
- [ピーキング](#)
- [位相差AF枠表示](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 操作音

---

撮影のスタート/ストップ時や操作時にメロディを鳴らすか、鳴らさないかを設定します。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [操作音] を選ぶ。

### メニューの詳細

切：  
操作音を出さない。

入：  
撮影スタート/ストップの操作時や、警告表示時などにメロディが鳴る。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 録画ランプ

録画中に本体前面の録画ランプが点灯しないように設定できます。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [録画ランプ] を選ぶ。

### メニューの詳細

入：  
本体の録画ランプが点灯する。

切：  
本体の録画ランプが点灯しない。

### ヒント

- ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

### 関連項目

- [ASSIGNボタンに機能を割り当てる](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## リモコン

---

付属のワイヤレスリモコンを使用するかを設定します。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [リモコン] を選ぶ。

### メニューの詳細

入：

付属のワイヤレスリモコンを使う。

切：

リモコンを使わない。

他機のリモコンによる誤動作を防ぐことができます。

---

### 関連項目

- [各部のなまえ](#) [リモコン](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 60i /50i切換

本機をお使いになる国や地域のテレビ方式によって、設定を選びます。  
設定を変更すると、本機が自動的に再起動します。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [60i /50i切換] を選ぶ。

### メニューの詳細

はい :

60i (50i) に切り換えます。

いいえ :

60i (50i) への切り換えを中止します。

### ご注意

- 60iはテレビ方式がNTSCのときに、50iはテレビ方式がPALのときに選んでください。現在設定されているテレビ方式はメッセージ内に表示されます。
- 60i / (50i) でフォーマットや記録を行ったメモリーカードは、50i (60i) では記録・再生はできません。60i/50i切り換え後、[本機と異なるビデオ信号方式の映像が記録されています。動画の記録はできません。] というお知らせメッセージが表示された場合は、別のメモリーカードをお使いになるか、[メディア初期化] をしてください。
- [メディア初期化] を行うと、プロテクトされた動画も削除されます。

### 関連項目

- [メディア初期化](#)

## メディア初期化

初期化を行うとメモリーカード内の動画・静止画をすべて削除して、メモリーカードの容量を元に戻します。またメモリーカードは繰り返し使用すると“ごみ”データが蓄積し、保証された速度で書き込みができなくなることがあります。その結果、撮影中に記録が停止してしまう恐れがあります。すべてのデータを削除する【データ消去】を実行することで、撮影時のメモリーカード書き込みエラーを極力削減できます。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [メディア初期化] → 初期化もしくはデータ消去したいメモリーカードを選ぶ。

### メニューの詳細

OK :  
メモリーカードを初期化する。

データ消去 :  
メモリーカード内のデータをすべて削除する。  
【データ消去】を選んだあとに  を選ぶと、データ消去を実行します。

### ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと【データ消去】を選ばません。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。
- 大切な画像データはあらかじめパソコンなどに保存してからデータ消去を行ってください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。
- 【実行中】が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、メモリーカードやACアダプターを取り外したりしないでください（初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します）。

### 関連項目

- [コンセントの電源で使うには](#)
- [メモリーカードについて](#)
- [メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意](#)

## 管理ファイル修復

管理情報とメモリーカードの動画・静止画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [管理ファイル修復] → 管理ファイルを確認したいメモリーカードを選ぶ。
- 2  をタッチする。
  - 管理ファイルの確認が始まります。  
不整合が見つからなかった場合は、 をタッチして終了してください。
- 3  →  をタッチする。

### ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- [管理ファイル修復中] が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、管理ファイルを再度修復してください。

### 関連項目

- [コンセントの電源で使うには](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## USB接続

USBケーブルで本機と接続機器をつないでも、USB接続が開始されないときに使います。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [USB接続] を選ぶ。

### 関連項目

- [パソコンへ画像を取り込んで活用する \(PlayMemories Home\)](#)
- [PlayMemories Homeをインストールする](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## USB LUN設定

---

USB接続の機能を制限して互換性を高めます。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [USB LUN設定] を選ぶ。

### メニューの詳細

マルチ：

通常はマルチのまま使用する。

シングル：

どうしてもUSB接続できない場合のみ、こちらにする。

---

### 関連項目

- [パソコンへ画像を取り込んで活用する \(PlayMemories Home\)](#)
- [PlayMemories Homeをインストールする](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 通電時間

---

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示します。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [通電時間] を選ぶ。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## バージョン表示

---

本機のバージョンを表示します。  
本機のファームアップデートがリリースされたときなどに確認します。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [バージョン表示] を選ぶ。

### ご注意

- アップデートを行う場合は、ACアダプターを使用してください。

---

### 関連項目

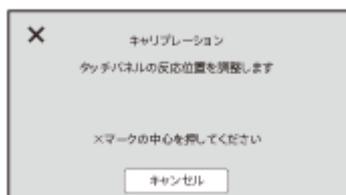
- [コンセントの電源で使うには](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## キャリブレーション

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じるときに調整します。

- 1 MENUボタン →  (その他) → [キャリブレーション] を選ぶ。
- 2 メモリーカードの角のような先の細いものを使って画面に表示される×マークを3回タッチする。



### ご注意

- キャリブレーションを行う場合は、ACアダプターを使用してください。

### 関連項目

- [コンセントの電源で使うには](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 設定リセット

設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 MENUボタン→  (その他) → [設定リセット] を選ぶ。
- 2 [決定] を選ぶ。
  - 設定がリセットされ、本機が再起動します。  
リセットを止める場合は、[中止] を選びます。

### ご注意

- ピクチャープロフィールで設定した内容は解除されません。

## プロテクト

動画・静止画を誤って削除しないように保護します。

① サムネイル画面または再生画面でMENUボタン→  (編集) → [プロテクト] を選ぶ。

② プロテクトしたい動画・静止画をタッチする。

- 画像に  マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。  で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

③  を押した後、画面の指示に従って  をタッチする。

### プロテクトを解除する

手順2でマークがついている動画・静止画をタッチして  マークを消します。

### 関連項目

- [動画・静止画を保護する \(プロテクト\)](#)

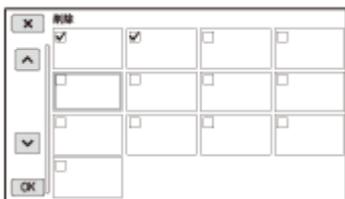
## 削除

不要な動画・静止画を削除します。

1 サムネイル画面または再生画面でMENUボタン→  (編集) → [削除] を選ぶ。

2 削除する動画・静止画をタッチする。

- 画像に  マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。  で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。
- プロテクトされている画像にはサムネイルの右上に  が表示されます。
- プロテクトされている画像にはチェックボックスは表示されません。

3  を押した後、画面の指示に従って  をタッチする。

### ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター、削除対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください。
- 大切な動画・静止画は、あらかじめパソコンなどに保存してください。

### ヒント

- メモリーカードに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します。

### 関連項目

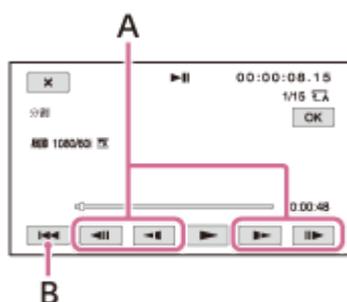
- [動画・静止画を保護する \(プロテクト\)](#)
- [動画・静止画を選んで削除する](#)
- [動画の保存方法](#)
- [メディア初期化](#)

## 分割

AVCHDで記録された動画のみ、指定した場面で動画を分割できます。

① 動画の再生中にMENUボタン→  (編集) → [分割] を選ぶ。

② 分割したい場面で  をタッチする。



A:  で場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする  
B: 選んだ動画の先頭に戻る

③  →  をタッチする。

### ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター、分割対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、 で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。
- XAVC S動画は分割できません。

### 関連項目

- [動画を再生する](#)
- [動画を分割する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 充電時間

---

使い切った電池を満充電したときのおおよその時間（分）です。

NP-FV70A（付属）：

170分

NP-FV100A：

275分

### ヒント

- 25℃で充電したときの時間です。10℃～30℃での充電をおすすめします。

---

### 関連項目

- [ACアダプターを使って充電する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## バッテリーの撮影可能時間の目安

ご使用のバッテリーで撮影が可能な時間の目安のお知らせです。

NP-FV70A（付属）：

190分

205分

NP-FV100A（別売）：

345分

365分

上段：

液晶モニターを開いているとき

下段：

液晶モニターを閉じてファインダーを使用するとき

### ヒント

- 下記のお買い上げ時の設定のときの連続撮影時間です。
  - － 【記録方式】が【XAVC S 4K】、【録画フォーマット】が【2160/30p 60Mbps】（60i）または【2160/25p 60Mbps】（50i）、【PROXY設定】が【切】のとき
- 25℃で使用したときの時間です。10℃～30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うなど、使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## バッテリーの再生可能時間の目安

---

満充電からのおおよその時間です。

NP-FV70A（付属）：

275分

300分

NP-FV100A（別売）：

485分

525分

上段：

液晶モニターを開いているとき

下段：

液晶モニターを閉じてファインダーを使用するとき

### ヒント

- 下記のお買い上げ時の設定のときで撮影した動画を連続再生した場合の時間です。
  - － [記録方式] が [XAVC S 4K]、[録画フォーマット] が [2160/30p 60Mbps] のとき
  - － [PROXY設定] が [切] のとき

## 記録時のご注意

記録時のご注意について説明します。

### ご注意

- 撮影可能時間は撮影環境や被写体の状態、[録画設定]によっても変わります。
- 動画の撮影可能シーン数は、XAVC S動画で最大600個、AVCHD動画で最大3,999個です。また、静止画を最大40,000個撮影できます。
- 1度の動画撮影で可能な連続撮影時間は、最大で約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節する VBR（Variable Bit Rate）方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなります。

## 動画の撮影可能時間の目安

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。記録時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

### XAVC S 4K

[60i/50i切換] で [60i] を選んでいる場合

録画フォーマット	プロキシー設定	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
2160/30p 100Mbps	入 (1280×720)	15分	35分	70分	145分	290分
	入 (640×360)	15分	35分	75分	150分	305分
	切	15分	35分	75分	155分	315分
2160/30p 60Mbps	入 (1280×720)	25分	50分	110分	220分	450分
	入 (640×360)	25分	55分	120分	240分	490分
	切	30分	60分	125分	255分	515分
2160/24p 100Mbps	入 (1280×720)	15分	35分	70分	145分	290分
	入 (640×360)	15分	35分	75分	150分	305分
	切	15分	35分	75分	155分	315分
2160/24p 60Mbps	入 (1280×720)	25分	50分	110分	220分	450分
	入 (640×360)	25分	55分	120分	240分	490分
	切	30分	60分	125分	255分	515分

[60i/50i切換] で [50i] を選んでいる場合

録画フォーマット	プロキシー設定	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
2160/25p 100Mbps	入 (1280×720)	15分	35分	70分	145分	290分
	入 (640×360)	15分	35分	75分	150分	305分
	切	15分	35分	75分	155分	315分
2160/25p 60Mbps	入 (1280×720)	25分	50分	110分	220分	450分
	入 (640×360)	25分	55分	120分	240分	490分
	切	30分	60分	125分	255分	515分

### XAVC S HD

[60i/50i切換] で [60i] を選んでいる場合

録画フォーマット	プロキシー設定	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
----------	---------	------	------	------	-------	-------

録画フォーマット	プロキシ設定	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
1080/120p 100Mbps	切	15分	35分	75分	155分	315分
1080/120p 60Mbps	切	30分	60分	125分	255分	515分
1080/60p 50Mbps	入 (1280×720)	30分	60分	130分	260分	530分
	入 (640×360)	30分	70分	145分	290分	585分
	切	35分	75分	150分	310分	625分
1080/60p 25Mbps	入 (1280×720)	50分	110分	220分	445分	900分
	入 (640×360)	60分	130分	265分	535分	1,080分
	切	70分	145分	300分	600分	1,210分
1080/30p 50Mbps	入 (1280×720)	30分	60分	130分	260分	530分
	入 (640×360)	30分	70分	145分	290分	585分
	切	35分	75分	150分	310分	625分
1080/30p 16Mbps	入 (1280×720)	70分	150分	300分	610分	1,230分
	入 (640×360)	90分	190分	390分	790分	1,585分
	切	110分	230分	465分	940分	1,885分
1080/24p 50Mbps	入 (1280×720)	30分	60分	130分	260分	530分
	入 (640×360)	30分	70分	145分	290分	585分
	切	35分	75分	150分	310分	625分

[60i/50i切換] で [50i] を選んでいる場合

録画フォーマット	プロキシ設定	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
1080/100p 100Mbps	切	15分	35分	75分	155分	315分
1080/100p 60Mbps	切	30分	60分	125分	255分	515分
1080/50p 50Mbps	入 (1280×720)	30分	60分	130分	260分	530分
	入 (640×360)	30分	70分	145分	290分	585分
	切	35分	75分	150分	310分	625分
1080/50p 25Mbps	入 (1280×720)	50分	110分	220分	445分	900分
	入 (640×360)	60分	130分	265分	535分	1,080分
	切	70分	145分	300分	600分	1,210分
1080/25p 50Mbps	入 (1280×720)	30分	60分	130分	260分	530分
	入 (640×360)	30分	70分	145分	290分	585分
	切	35分	75分	150分	310分	625分
1080/25p 16Mbps	入 (1280×720)	70分	150分	300分	610分	1,230分
	入 (640×360)	90分	190分	390分	790分	1,585分
	切	110分	230分	465分	940分	1,885分

## AVCHD

[60i/50i切換] で [60i] を選んでいる場合

録画フォーマット	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
1080/60i FX	85分	175分	360分	725分	1,455分
1080/60i FH	120分	245分	495分	995分	1,955分
1080/60i LP	375分	765分	1,540分	3,090分	6,200分

[60i/50i切換] で [50i] を選んでいる場合

録画フォーマット	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
1080/50i FX	85分	175分	360分	725分	1,455分
1080/50i FH	120分	245分	495分	995分	1,995分
1080/50i LP	375分	765分	1,540分	3,090分	6,200分

### ご注意

- 記載の時間は、当社製メモリーカード使用時の時間です。
- 1度の動画撮影で可能な連続撮影時間は、最大で約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなります。

### 関連項目

- [記録時のご注意](#)
- [60i/50i切換](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 静止画の撮影可能枚数の目安

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。

### 14.2Mを記録したときの枚数

メモリーカード容量	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
撮影可能枚数	1,750枚	3,550枚	7,100枚	14,000枚	28,500枚

### 12.0Mを記録したときの枚数

メモリーカード容量	16GB	32GB	64GB	128GB	256GB
撮影可能枚数	2,100枚	4,250枚	8,400枚	16,500枚	33,500枚

#### ご注意

- 記載の枚数は、当社製メモリーカード使用時の枚数です。
- メモリーカードの撮影可能枚数は本機での最大の画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の液晶モニター上でご確認ください。
- 静止画の記録可能枚数が9,999枚より多いときでも、「>9999」と表示されます。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

#### 関連項目

- [記録時のご注意](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 記録方式ごとの動画のビットレート

---

動画のビットレート（動画+音声など）、画素数およびアスペクト比を説明します。

XAVC S 4K:

〔録画フォーマット〕で100Mbpsのフォーマットを選んでいる場合：  
最大100Mbps 3,840×2,160画素/30p, 24p (60i)、25p (50i)、16:9

〔録画フォーマット〕で60Mbpsのフォーマットを選んでいる場合：  
最大60Mbps 3,840×2,160画素/30p, 24p (60i)、25p (50i)、16:9

XAVC S HD:

約100Mbps 1,920×1,080画素/120p (60i)、100p (50i)、16:9

約60Mbps 1,920×1,080画素/120p (60i)、100p (50i)、16:9

約50Mbps 1,920×1,080画素/60p, 30p, 24p (60i)、50p, 25p (50i)、16:9

約25Mbps 1,920×1,080画素/60p (60i)、50p (50i)、16:9

約16Mbps 1,920×1,080画素/30p (60i)、25p (50i)、16:9

AVCHD:

FX:

最大24Mbps 1,920×1,080画素/60i (60i)、50i (50i)、AVCHD 24M (FX)、16:9

FH:

平均約17Mbps 1,920×1,080画素/60i (60i)、50i (50i)、AVCHD 17M (FH)、16:9

LP:

平均約5Mbps 1,440×1,080画素/60i (60i)、50i (50i)、AVCHD 5M (LP)、16:9

---

関連項目

- [記録時のご注意](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## プロキシ記録の記録画素数とアスペクト比

---

プロキシ記録の画素数とアスペクト比を説明します。

1,280 x 720 ドット/16 : 9

640 x 360 ドット/16 : 9

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 静止画の記録画素数とアスペクト比

---

静止画の記録画素数とアスペクト比を説明します。

5,024x2,824ドット/16 : 9

4,240x2,824ドット/3 : 2

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## XAVC S規格について

---

XAVC S規格とは

4Kなどの高解像度の映像を、MPEG-4 AVC/H.264で高圧縮してMP4ファイル形式で記録するフォーマットです。データの容量を一定レベルに抑えながら高画質で記録することができます。

---

---

関連項目

- [録画設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## AVCHD規格について

---

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD（ハイビジョン）信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

### ヒント

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがありますが故障ではありません。

---

関連項目

- [録画設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## メモリーカードについて

- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）したメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み・書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償についてはご容赦ください。
  - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
  - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気が多い場所や腐食性のものがある場所

## 使用できるメモリーカードについて

- メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック PRO-HGデュオ、または標準の大きさのSDカードが使えます。
- 使用可能なメモリーカードの最新情報につきましてはホームページをご確認ください  
(<http://www.sony.jp/support/r/handycam/connect/>)。

## メモリーカードアダプターの使用について

- メモリースティックマイクロ、microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

## 画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、本機でフォーマットしてください。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT（\*）に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容がすべて失われます。

\* exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。

- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  - パソコンで加工した画像データ
  - 他機で撮影した画像データ

## メモリースティックについて

メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）：

記録・再生：－

メモリースティック PRO デュオ（Mark2）：

記録・再生：○

（XAVC S フォーマットではご使用できません）

メモリースティック PRO-HG デュオ：

記録・再生：○

（XAVC S フォーマットではご使用できません）

- 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、メモリースティック PRO デュオと同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。マジックゲートとは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機はインフォリチウムバッテリー（Vシリーズ）のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。インフォリチウムバッテリーVシリーズには  マークがついています。

### InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

- インフォリチウムバッテリーは、本機や別売のACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
- インフォリチウムバッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を%単位で表示します。

### 充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、POWER（電源）/CHG（充電）ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 次のとき、充電中のPOWER（電源）/CHG（充電）ランプが点滅することがあります。
  - バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - バッテリーが故障しているとき
  - バッテリーの温度が低いとき  
バッテリーを外して暖かいところに置いてください。
  - バッテリーの温度が高いとき  
バッテリーを外して涼しいところに置いてください。

### バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FV100A」（別売）を使う
- 液晶モニターの使用や再生・早送り・早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 本機で撮影や再生をしていないときは、こまめに液晶モニターを閉じるようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

### バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されません。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。
- バッテリー残量時間が約10%程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する  マークが点滅することがあります。

### バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにします。

## バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

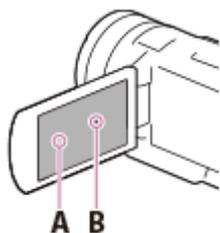
## 本機の取り扱いについて

### 録画・録音について

- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーやメモリーカードなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

### 液晶モニターについて

- 液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



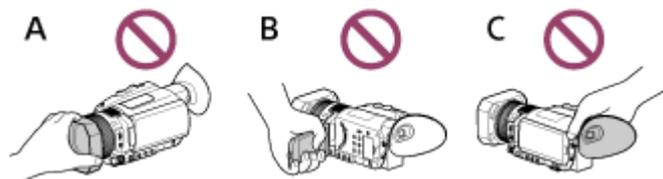
- A: 白や、赤、青、緑の点
- B: 黒い点

### ヘルプガイドの表記、イラスト、画面表示について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。また、本機のイラストや画面表示は、わかりやすくするために誇張、省略されています。
- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- ヘルプガイドでは、ハイビジョン画質（HD）で保存したDVDディスクを「AVCHD記録ディスク」と表現しています。

### 使用や保管場所について

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。
- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。故障や破損の原因になります。



- A: レンズフード
- B: 液晶モニター
- C: ファインダー

- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できません。
- 使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。
  - 異常に高温、低温または多湿になる場所

炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。

- 激しい振動や強力な磁気のある場所  
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所  
正しく撮影できないことがあります。
- テレビ、ラジオなどのチューナーの近く  
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜や砂ぼこりの多い場所  
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）  
液晶モニター内部やファインダーを傷めます。

#### 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

#### 本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶モニターおよびファインダーにメッセージが表示されます。

#### 液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押すと、モニターにムラが出る場合があります。また、液晶モニターの故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

#### マルチインターフェースシューについて

- 専用マイクやポータブルスピーカーを使うときには、これらの機器は本機の電源の入/切に連動して電源供給されません。
- お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。
- アクセサリーを取り付けるときは、押しながら前方へスライドさせて奥まで差し込み固定してください。取り外すときは、上から押しながら外してください。
- 別売のフラッシュを取り付けたまま動画の撮影をするときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 外部マイクをつなぐと、その音声の内蔵マイクよりも優先されます。

#### ZEISSレンズについて

- 本機はZEISSレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF (\*) 測定システムを用いてその品質を管理され、ZEISSレンズとしての品質を維持しています。
- さらに本機はT\*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

\*Modulation Transfer Functionの略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

#### 内蔵の充電式電池について

- 本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、2か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

##### 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、液晶モニターを閉じて24時間以上放置する。



デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## パソコンやアクセサリなどとの接続について

---

- パソコンから本機のメモリーカードをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。
- 本機の電源が入っている状態でUSB接続しているときに、パソコンの電源を切らないでください。記録した映像が失われる場合があります。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 別売りのアクセサリについて

---

- ソニー純正アクセサリの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

### 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

### 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スクールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

### 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 本機の廃棄・譲渡に関するご注意

---

本機のネットワーク関連情報は [ネットワークリセット] を行って接続情報をリセットしてください。

---

### 関連項目

- [ネットワークリセット](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による [メディア初期化] では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

### 関連項目

- [メディア初期化](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 液晶モニターのお手入れについて

- 手の脂、ハンドクリームなどが付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のゴミなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 有機ELパネルのお手入れについて

一般に、有機ELパネルは、その特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 本機表面のお手入れについて

---

- 本機表面についた汚れは、メガネ拭きやクリーニングクロス等の柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり、塗装がはげたり、レンズ表面を傷めたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## レンズのお手入れと保管について

---

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

## 海外で使うには

### 電源について

- 本機は、海外でも使えます。付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100 V ~ 240 V、50 Hz/60 Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

### 海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米	 主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

### 4K画質でみるには

- 4K画質で記録した画像を4K画質で見るには、4K対応のテレビ（またはモニター）とHDMIケーブル（別売）が必要です。本機で撮影した動画をテレビで見るには、あらかじめ「[60i/50i切換]」をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。それぞれの設定で見られる国と地域については「[60i/50i切換]」を「[60i]」に設定すると見られる国と地域」または「[60i/50i切換]」を「[50i]」に設定すると見られる国と地域」を参照してください。

### ハイビジョン画質（HD）で見るには

- ハイビジョン画質（HD）で記録した画像をハイビジョン画質（HD）で見るには、ハイビジョン対応のテレビ（またはモニター）とHDMIケーブル（別売）が必要です。本機で撮影した動画をテレビで見るには、あらかじめ「[60i/50i切換]」をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。それぞれの設定で見られる国と地域については「[60i/50i切換]」を「[60i]」に設定すると見られる国と地域」または「[60i/50i切換]」を「[50i]」に設定すると見られる国と地域」を参照してください。

### テレビと接続して見るには

- 本機とテレビを接続して見るには、テレビ（またはモニター）とHDMIケーブル（別売）やAVケーブル（別売）が必要です。本機で撮影した動画をテレビで見るには、あらかじめ「[60i/50i切換]」をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。それぞれの設定で見られる国と地域については「[60i/50i切換]」を「[60i]」に設定すると見られる国と地域」または「[60i/50i切換]」を「[50i]」に設定すると見られる国と地域」を参照してください。

#### 「[60i/50i切換]」を「[60i]」に設定すると見られる国と地域（五十音順）

- アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

#### 「[60i/50i切換]」を「[50i]」に設定すると見られる国と地域（五十音順）

- アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スウェーデン、スイス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、パラグアイ、ハンガリー、フィンランド、ブラジル、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

## 現地の時間に合わせるには

- 海外で使うときは、MENUボタン→ (その他) → [エリア設定] で時差を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます。

---

### 関連項目

- [4Kテレビにつないで見る](#)
- [ハイビジョンテレビにつないで見る](#)
- [ハイビジョン非対応のテレビにつないで見る](#)
- [60i/50i切換](#)
- [エリア設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 商標について

- ハンディカム、**HANDYCAM**はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- XAVC Sおよび**XAVC S**はソニー株式会社の登録商標です。
- PlayMemories Home、PlayMemories Homeロゴ、PlayMemories Online、PlayMemories Onlineロゴ、PlayMemories Mobile、PlayMemories Mobileロゴはソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick、メモリースティック、、メモリースティックデュオ、**MEMORY STICK DUO**、メモリースティック PROデュオ、**MEMORY STICK PRO DUO**、メモリースティック PRO-HG デュオ、**MEMORY STICK PRO-HG DUO**、マジックゲート、**MAGIC GATE**、MagicGate Memory Stick、マジックゲートメモリースティック、MagicGate Memory Stick Duo、マジックゲートメモリースティックデュオはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM (インフォリチウム) はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTEDSET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Facebook、"f"ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴは、Twitter, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、Rマークは明記していません。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、[MPEG LA, LLC.](#)のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

### GNU GPL/L GPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードする際には、次のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

「ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## ズーム倍率

---

光学ズーム： [ズームタイプ] が [光学ズームのみ] の場合 12倍

全画素超解像ズーム： [ズームタイプ] が [入 [全画素超解像ズーム] ] の場合 24倍（4Kの場合18倍）

デジタルズーム： [ズームタイプ] が [入 [デジタルズーム] ] の場合 192倍

---

### 関連項目

- [ズームレバーでズームする](#)
- [マニュアルレンズリングでズームする](#)
- [ズーム設定](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 久しぶりに使うときは

数カ月間に本機を使用しなかった場合は、次の確認をしてからご使用ください。

- 日付と時計が初期化されている場合は、MENUボタン→（その他）→ [日時合わせ] で設定しなおしてください。
- 使用する前に、必ずバッテリーを充電してください。詳しくは、「[ACアダプターを使って充電する](#)」をご覧ください。
- 過去に撮影した画像を見る場合は、動画フォーマットの切り換えが必要になる場合があります。詳しくは、「[動画を再生する](#)」をご覧ください。

### 関連項目

- [日時合わせ](#)
- [ACアダプターを使って充電する](#)
- [動画を再生する](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 困ったときにすること

下記の流れに従って対応してください。

- 1 「故障かな?と思ったら」の項目をチェックして、本機を点検する。
- 2 電源を取り外し、約1分後に再び取り付け、本機の電源を入れる。
- 3 [設定リセット] を行い、電源を入れる。  
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。
- 4 ハンディカムオフィシャルWEBサイトなどで確認する。  
<http://www.sony.co.jp/cam/>  
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。  
ハンディカムの最新サポート情報  
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)  
<http://www.sony.jp/support/handycam/>  
ソフトウェアのサポート情報  
<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>
- 5 相談窓口で電話で問い合わせる。

### 関連項目

- [設定リセット](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## 自己診断・警告表示

液晶モニターまたはファインダーに次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、相談窓口にお問い合わせください。CまたはEからはじまる数字すべてをお知らせください。



メッセージによっては表示されるときに警告音が鳴ります。

C: ( またはE:) □□:□□ (自己診断表示)

C:04:□□

指定以外のバッテリーが使われている。必ず指定のバッテリーを使う。  
ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ。

C:06:□□

バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

メモリーカードを一度取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

C:32:□□

電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

「[困ったときにすること](#)」の操作をお試しください。

 (バッテリー残量に関する警告)

バッテリー残量が少ない。

使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約10%程でも警告表示が点滅することがあります。

 (本機/バッテリーの温度に関する警告)

本機やバッテリーが高温になっている。本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったまま待つ。

 (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

撮影に必要な空き容量が少なくなっている。

メモリーカードが入っていない。

速い点滅

撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存（バックアップ）してから、メモリーカードをフォーマットする。

管理ファイルが壊れている。[管理ファイル修復]で、管理ファイルの状態をチェックする。

メモリーカードが壊れている。

[録画フォーマット]のビットレートが100Mbpsで記録する場合は、UHS-I U3以上のメモリーカードを使う。

### (メモリーカードのフォーマット関連の警告)

メモリーカードが壊れている。  
メモリーカードが正しくフォーマットされていない。

### (非対応メモリーカード関連の警告)

本機では使えないメモリーカードを入れた。

### (メモリーカード誤消去防止に関する警告)

メモリーカードの誤消去防止スイッチが書き込み禁止になっている。  
他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

### (手ブレ警告)

手ブレが起りやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

### NDフィルター警告

**ND1 ND2 ND3 NDoff** が点滅したときはNDフィルタースイッチの位置が正しく設定されているか確認する。

---

#### 関連項目

- [困ったときにすること](#)
- [メモリーカードを入れる](#)
- [メディア初期化](#)
- [InfoLITHIUM \(インフォリチウム\) バッテリーについて](#)
- [管理ファイル修復](#)
- [手ブレ補正 \(動画\)](#)
- [手ブレ補正 \(静止画\)](#)
- [光量を調節する \(NDフィルター\)](#)

デジタル4Kビデオカメラレコーダー  
FDR-AX700

## お知らせメッセージ

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

### データエラーが発生しました

- 本機に振動を与えつづけたときに、発生することがあります。
- 他機で撮影した動画は再生できないことがあります。

### 管理ファイルに不整合が見つかりました 修復しますか？

- 管理ファイルが破損しているため、動画・静止画撮影ができません。  を選んで修復する。

### バッファオーバー メディアへの書き込みが間に合いませんでした

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、本機でフォーマットし直す。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録時間に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください。

### データ修復中 しばらくおまちください

- 本機のメディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みます。

### データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のメディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

### メモリーカードを 入れなおしてください

- メモリーカードを2、3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるため交換してください。

### このメモリーカードは認識できません フォーマットしてからお使いください

- メモリーカードを本機でフォーマットする。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

### 静止画用フォルダが いっぱいです 静止画の記録はできません

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- フォーマットするか、パソコンで不要なフォルダを消去する。

### このメモリーカードは 動画を記録・再生できない 可能性があります

### このメモリーカードは 正常に記録・再生できない 可能性があります

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください。
- 相談窓口にお問い合わせください。

### 書き込み中に メモリーカードが抜かれました データが壊れた可能性があります

- メモリーカードをもう一度入れる。

### その他

#### 制限枚数を超過しています

- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。

- 画像の削除
- 画像のプロテクト、解除

このデータはプロテクトされています

- プロテクトされた動画・静止画を削除しようとした。プロテクトを解除する。

---

#### 関連項目

- [管理ファイル修復](#)
- [メディア初期化](#)
- [動画・静止画を保護する（プロテクト）](#)
- [動画・静止画を選んで削除する](#)

4-725-312-01(2) Copyright 2017 Sony Corporation